

序

1912055



全身衰弱病者を治療するや、これ
 強壯劑を投與せしめて先づ滋養品を食
 或は温暖なる鹽水に沐浴せしめ、或は皮膚
 曝らさしめ、或は散策を郊外に試ましめ、
 近なる旅行を企てしめ、時よ或は鐵劑を投
 萄酒を飲ましめ、漸次に健康を恢復せしむ
 るを常とせり。彼の吐嗟の間は成効を期せんとし、
 遽然急劇なる藥劑を投與し、却て病者の死を速く
 ものを抑も庸醫の技倆のみ。予も亦曾て我國農業
 社會の改良を討議して曰く、我農業社會を猶ほ全
 身衰弱病者の如し。これを改良する急劇なる方策
 を實施すべからず。須く複産物農家戸々毎に林檎

四五樹を植ゑ付け、六七羽の雞、一二頭の豚、蜜蜂を飼養し、田畑の畦畔に漆樹、胡桃などを植ふる事どもを云ふを培植し、其總併したる勢力を以て漸次の間、日本農業改良の目的を實施するにありと、獨り農業社會のみならず、我國生産社會の現状を宛然全身衰弱病者の如くなるを以て、これを治療するに宜しく着實穩當なる方策を以てせざるべからざり。坂牧勇助君の「金論」を著す、豈に全身衰弱せる我實業社會を漸次の間に恢復せんとするの深意にあらざるあさを得んや。乃ち喜んで此書を序すと云ふ。

明治廿一年十一月

志賀 重昂 識

自叙

一夜客窓ノ下熟々過日ものせる「金」ヲ見ルニ甚タ欠點アルヲ知リ又如何ニモ予ハ「金」第一章ニ於テ事業撰擇ノ大切ナル所以ヲ述ヘ第三章第四章第五章ニ於テ實業者商業家ノ特ニ心得置カサルベカラサル學問ヲ述ヘタレトモ一般少年ガ立身ノ手段處世ノ方法ヲハ述ベサルナリ殊ニ第六章以下ハ全ク相當ノ資本ヲ自ラ所有シテ獨立ニ其事業ヲ始ントスル商人向ノ言ニシテ資本モナク經驗モナク他人ノ支配ニ屬シテ働ントスル青年カ如何ナル心得ヲ以テ事業ヲ取り如何ニシテ信用ヲ博シ如何ニシテ社會ニ其名ヲ現ハサンカ等ノ點ニ至テハ論セサル所多ク僅々他人ニモ話サレザル程ノ收入ヲ以テ生計ヲ立ツルニハ如何スベキ貯金方法ハ如何其貯金ヲ増殖センニハ如何様ニスベキ遺産ノ始末ナドニハ少シモ論及セサルナリ要スルニ「金」ハ一部ニ偏シタルモノナリ商人ノミニカク倚リタルモノナリ殊ニ手ノ届カザル所ハ

一般ニ于スル家計ト貯蓄トノ事ヲ云ハサルニアリ事業ノ撰擇モ誤ラズ資本モ十分ニ社會ノ信用モ厚ク利益モ澤山アリタリトテ家政ノ管理其當ヲ得スンバ如何蟻穴能ク提防ヲ潰サシ其家繁昌ノ望ハ到底立タサルベシ抑金ヲ得ルハ人生最後ノ目的ニ非ルナリ金ヲ得テ吾人カ目的ヲ達セントスルナリ金ヲ以テ社會ノ上位ニ立テ他人ヲ支配スルノ要位ヲ占ムル千百ノ方便ヲ盡サントスルナリ如何ニ富ミタレハトテ社會ニ頭角ヲ現ハシ能ハズンハ如何年々歳々金ヲ抱テ藏番ヲ爲セハトテ人生果シテ何ノ愉快カアル資産者一己ノ爲ニ考フルモ社會ノ爲ニ謀ルモ單ニ金ヲ貯蓄スルノ不都合ニシテ之ヲ利用スルノ必要之ヲ貯ヘル所以ハ之ヲ用ント欲シ之ヲ集ルハ之ヲ散スル所以ナルハ又予ノ贅辨ヲ要セサル所ナルヘシ

予ガ本著ニ於テ述ブル所平生ノ心得生計ノ事遺産ノ諸問題何レモ凡庸ノ言ナルヘシ爲ニ或ハ云ハン

自

叙

「斯ル卑近ノ言何ニカアラン」ト

如何ニモ尤ナリ予亦此篇ヲ以テ揚々自得スルモノニアラサルナリ卑近通俗ナリトハ自信スルモノナリ然レトモ猶數萬ノ言ヲ重ル所以ノモノ大ニ其理由アリテ存ス予輩ハ元來各個人主義ヲ唱フルモノナリ社會多數ノ人ニ節儉ノ美風ヲ起サシメテ貧境ヲ脱シ社會ノ粒々分子ヲシテ健全ニ其結果國家ノ強固ヲ希望スルモノナリ歐米ノ其ノ國富強ニシテ東洋諸國ノ衰弱ナル所以ノ者亦此點ニアリテ存スル歟然ラバ如何ニセハ可ナル曰衣食足りテ禮節ヲ知ル先ヅ國民ヲシテ貧臭ヲ脱セラメ次ニ公共ノ思想ヲ起サシムルニアリ然レバ先ヅ平生ノ心得ヲ告テ消極ニハ破德ノ行ナカラシメ積極ニハ信用ヲ增加シ次ニ生計貯蓄ノ事ニ欠點ナカラシメテ富資ヲ増殖シ一方ニハ遺産ヲ作り一方ニハ社會頭角ヲ現ハシ公共ノ事業モ關係スル順序ヲ述ヘ退テハ一己人ヲ守リ資産ヲ作ルノ經濟策進ンテハ政治的運動ノ順序ヲ端緒ヲ知

自

叙

自

叙

ルハ今日吾人が住ル邦國ノ爲メ社會ノ爲メ痛ク其必要ヲ感シテ止マ
 サルナリ之レ予ガ特ニ通俗ノ言平易ノ文ヲ以テ此著ヲ筆シタル所以
 而シテ本著カ生計ノ事ニ精クシテ公共ノ事業ニ從事スル心得様ノ言
 少キハ抑亦故アルナリ蓋シ人トシテ其品行已ニ修リ獨力能ク一團ノ
 資産ヲ作り得ル上ハ餘リ道案内臭キ言ハ不用ナレバナリ此等ノ人ハ
 已ニ自ラ經驗ノ結果能ク其胸中ニ神妙ノ韜略存スルアレバナリ只爲
 ニ無形の概括ノ數言ヲ述フレハ足レリ即予カ社會ニ頭角ヲ現ハス手
 段ナル章下ニ於テ品行眞面目等數條ヲ陳シテ止ミタル所以ナリ
 已ニ前著カ欠クル所足ラサル點アリ且ツ一方ニ偏シタル事ナレハ社
 會一般普通人ノ爲メ殊ニ少年ガ社會ニ踏ミ出ントスルニ方リ先ツ履
 マサルヘガラサル順序都合平生ノ心得ヲ述ヘ貯蓄ヲ遺産スル大体ノ
 方針ヲ與ヘ以テ直接ニハ前著ガ不足ヲ補ヒ信用ヲ得ル方法社會ニ頭
 角ヲ現ハス手段ヲ論シテ間接ニハ人々家政ノ整頓ヨリ引テ國家ヲ思

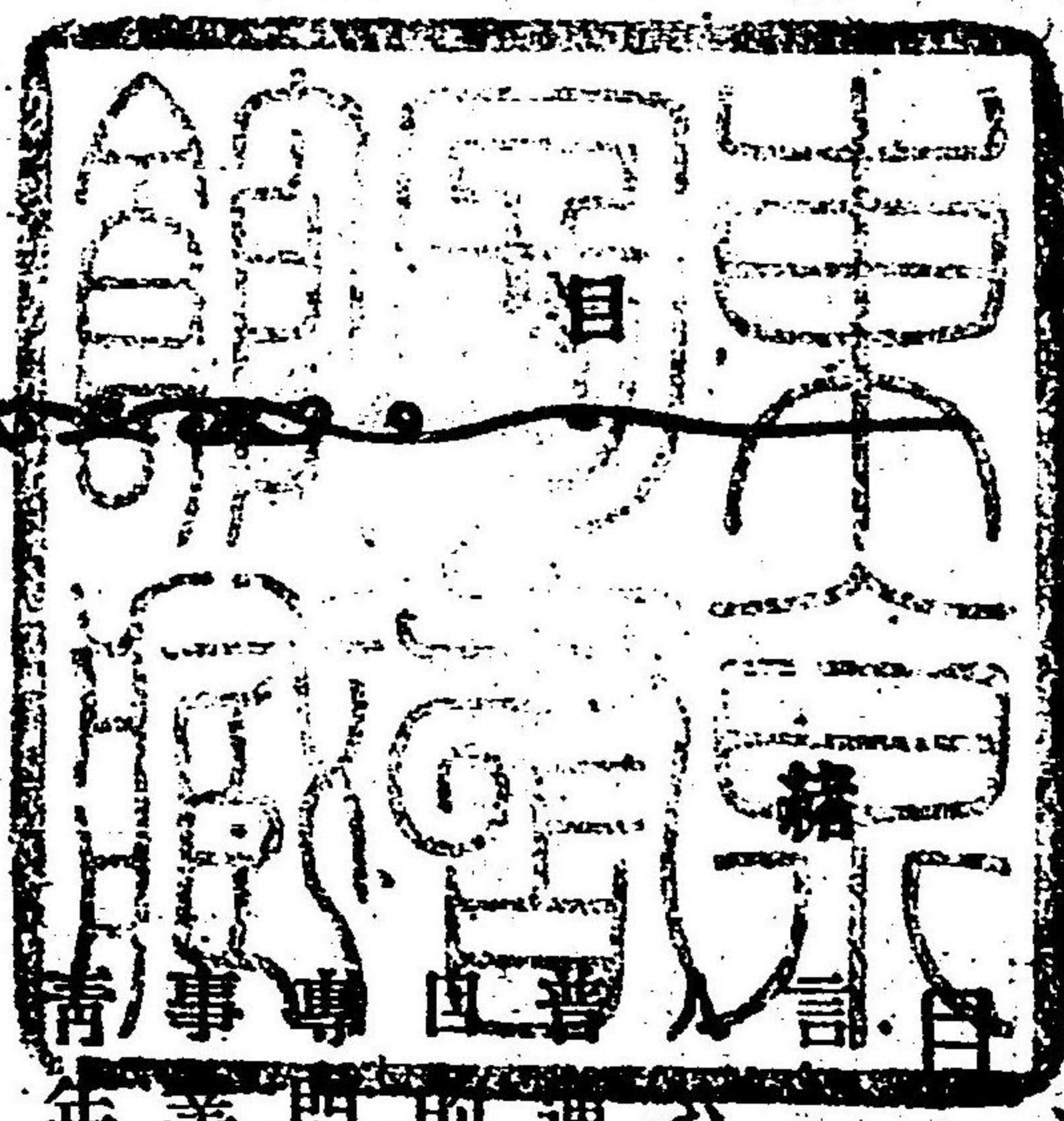
自

叙

フノ觀念ヲ起サシメ公共ノ事業ニ奔走スルノ素力餘裕アラシメント
 ハ是レツ本篇著作ノ大眼目予カ終局ノ希望ナリ讀者亦幸ニ此點ニ注
 意ヲ欠キ賜ハズ多少ノ得ル所アラバ著者ノ幸榮又加フヘキモノナシ

明治廿一年十一月

著者識



金續編

次

事業ニ從事セザルベカラス
 普通教育上ノ注意
 的ヲ定ムル方法九則
 専門教育ヲ受クル時ノ心得七條
 事業ニ從事スル口先ヲ定ル時ノ注意數件
 青年事業ニ從事スベキ相應ノ機會

第壹章 平生ノ心得

總論

思想ノ勢力

克己心

節制

正直

廉潔

塵積主義
 勉強
 細心
 守約
 固執
 談話
 他人ノ問ニ答フル法
 多言ノ不利
 虚禮追従
 長上ノ人ニ對スル敬禮
 遠クベキ人物近寄ルベカラザル場所
 第貳章 事業上ノ心得
 出過キタル考ヲ避クベシ
 義務ヲ盡スニハ正直ナルベシ
 事業ニ怠惰ナルベカラズ
 物品器械ヲ浪用スベカラズ

事業時間ヲハ違ヘサル
 注意
 鄭重
 事業取扱方法
 根氣ヨク勉ムベシ
 事物ハ十分ニ爲シ遂クベシ
 体裁許リノ働キ方ハ不都合ナリ
 規律正シカルベシ
 清潔ナルベシ
 第三章 社會ニ頭角ヲ現ハス手段
 社會ニ頭角ヲ現ハス手段ニアリ
 目
 實際ヲ擇ムベシ
 鶏口トナルモ牛後ト爲ル勿レ
 新發明ヲ爲シ新見識ヲ立ツベシ

安リニ財ヲ借ルベカラズ
 名ヲ爲シ易キ地方ニ行シ
 郷邑ニ名ヲ舉グルモ社會ニ頭角ヲ現ハスナリ
 奇策ヲ得ル根本

第四章 生計上ノ事

總論

自己ノ收入總額ヲ知ル必要
 收入ノ種類如何ニヨリテ家計ヲ異ニス
 生計費預算方法
 衣食費
 來客接待費
 上等社會交際費
 不用ノ物品
 虛飾ノ弊
 親金仕拂ノ利
 小賈ノ不利

買物ノ時機
 適當ノ價格
 買物ヲ爲ス時ノ心得
 受取証
 日記
 結算精確ナルベシ
 僕婢

第五章 日用簿記

日用簿記ノ必要
 日用簿記實例
 實例説明
 日記帳
 元金受拂帳
 家費部類帳
 年費表
 財産帳

第六章 邸宅

自家所有ノ損益
月賦購求ノ利否
家宅ノ場所
家宅ヲ求ムルニ付テノ諸心得
家屋ヲ修繕シ又建築スル場合ノ心得

第七章 貯蓄

貯蓄ノ要
友人ト貸借スベカラズ
自ラ受取ルベキ金
貯蓄スベキ時期
貯蓄スベキ場合
節儉ノ方法
節儉ノ度
時借ヲ爲スベカラズ

第八章 貯金利用法

貯金ハ利用シテ増殖スベシ
金錢活用ニ當リ第一ノ要
貯金運轉ノ迅速實例
貯金引出シノ難易何レカ尤利アリ
高利ヲ生ズル者ハ危儉ナリ
投機ニ關係スベカラズ
土地買入
公債証書
諸會社株券
貸金
地方ニヨリ貯金投入ノ法ヲ異ニス
爲換貯金局利息積算表

第九章 遺産

遺産者ノ種類ハ受産者ニ由テ變更ス
正金
貸付証文

諸會社株券
公債証書
生命保險 (附明治生命保險會社則書抄)
土地買入
地方ニヨリテ遺產ノ種類ヲ異ニス

結論
遺產配當假例

第十章 結論

社會ニ頭角ヲ現ハス手段ニ要スル費用ト貯蓄トノ關係

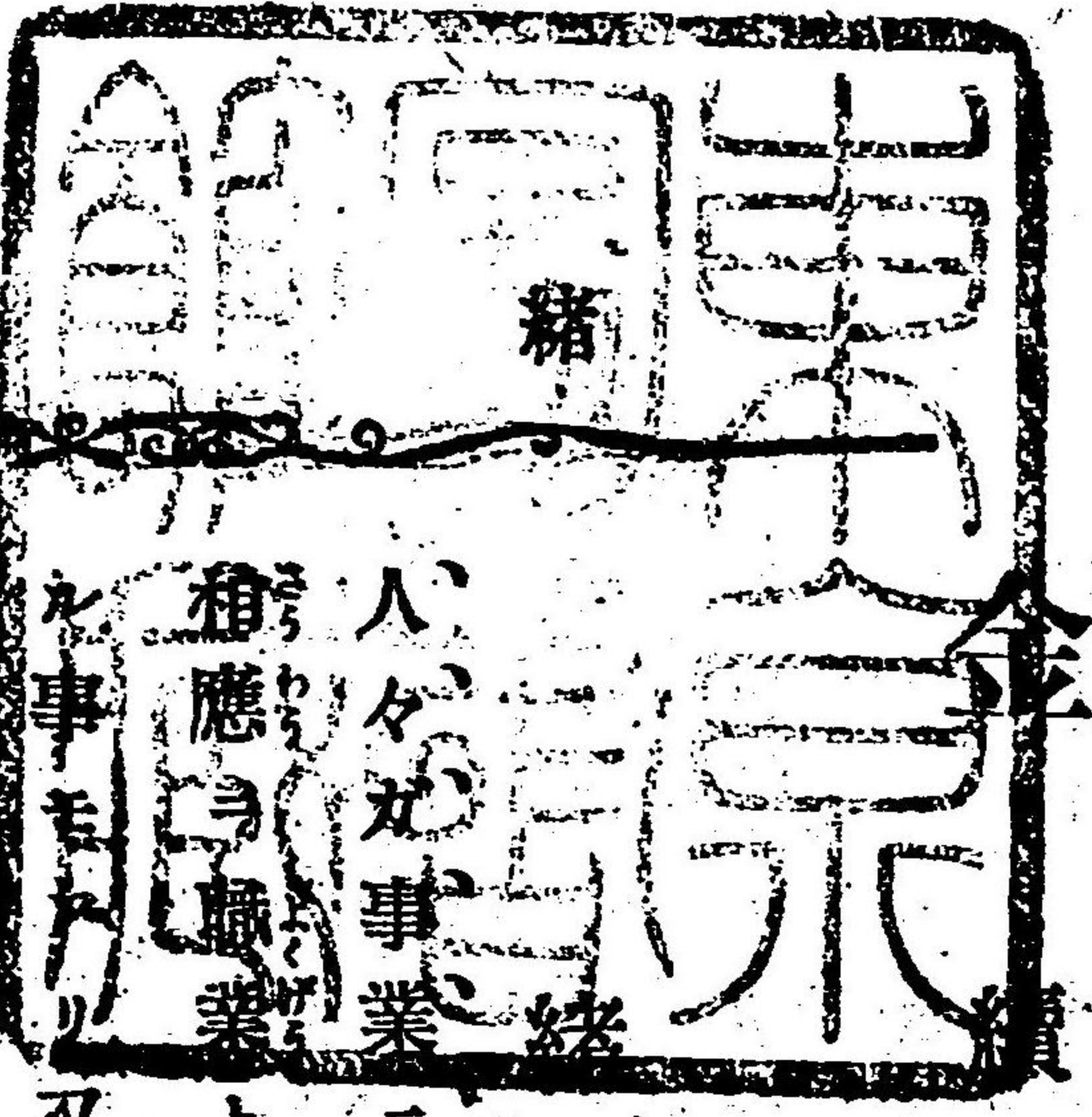
第十一章 確言

第十二章 傳記

米國鐵道王ジョージ・ゴードン氏自傳
日本起業者岩崎彌太郎氏傳

金續編目次畢

目次



編

坂 牧 勇 助 著

言

人々が事業ニ從事セサルベカラサル予カ言ヲ待タズ而シテ人ガ其レ
相應ニ職業トシテ取り居ル事柄ニハ其人幼少ヨリ希望シテ從事シタ
ル事モトリ又偶然衝キ當リテ不圖大利アルヲ知リ初テ其業ニ從事ス
ル事トナリタル者モアルベシ理論上ヨリ之ヲ推セハ從來希望シテ取
リタル事業ニ從フ人ハ大ニ榮ヘテ突然或事ニ從フ者ハ一ツまり「零落ス
ベキ筈ナレトモ是等ガ又人間ノ運命ナリ必スシモ然ルモノニアラズ
幼時ヨリ其事業ヲ學ヒ十分ノ資本ヲ以テ之ニ從事シ而シテ猶失敗ノ
淵ニ沈ムモノモアレハ突然或ル事ヲ試ミ半分ニ行ヒ大利ヲ獲ルモノ
モアリ神ナラヌ身ノ社會各個人ニ對スル夫々ノ運命ハ到底測知シ得

言

ヘキ者コアラサルナリ

然レトモ將來放蕩ノ人ハ多ク成功セズ勉強者ハ十全ノ成果ヲ得自己ニ不適合ナル事業ヲ取ル人ハ失敗シ相當ノ業務ニ逐フ人ノ成効ハ無識者無能力者ノ蹉跌才學經驗ニ富ミタル者ノ發達ハ普通ハ狀況自然ハ道理ナルベシ

予ガ過日ものせる金ニ於テハ事業家商人ガ成功ニ近キ方法ヲ論シタレド單ニ或部分ノ人ニ限ラレタル言ノミニテハ不完全ノ嫌ヲ免レサル也由テ予ハ本著ニ於テ遺產モノナク特別勢力アル人ニ縁故モノナク只少ク學識アリ天然ノ能力ニ於テ缺クルナキ普通人ガ腕一本腿一本孤立シテ事業ヲ初メ先ツ世間ノ人ニ嫌ハレヌト云フ消極的至極些少ナル注意ヨリ起論シ次ニ雇主ノ愛顧職業上ノ信用ヲ得ル事ヲ手始トシ一方ニハ生計ヲ立テ貯蓄シ遺產スルヲ論シ他方ニハ立派ニ交際シ運動シ社會公共ノ事業ニモ從ヒ相當ノ人望名譽ヲ集メ勢力ヲ振ヒ最

緒

言

緒

言

後ニハ一方ハ霸王タル所ニ論結セントス章ヲ重ヌル十有一小項目一百以上之ヲ熟讀シ敷延シ之ヲ實行スルニ於テ十分ノ勇氣ト忍耐トヲ以テ應用其宜ヲ失ハスノハ蓋シ世渡リニ於テ大失敗大蹉跌ナカルベク資本モ出來富貴トモ爲ラレ社會ニ有力ナル人トモナリ得ベシト信ス只金ナル書名ハ少ク不適合ノ嫌アラソ預メ謝シ置クベシ然レトモ本著ハ事業ニ從事シタル上平生ノ心得ヨリ起章シタレハ先ツ緒言ニ於テ自身ノ從事スベキ事業即目的ヲ定ル方法其目的事業ノ智識ヲ得ル時ノ注意事業ニありつく場合ノ心得等少ク述フル所ナカルベカラズ事業ニ從事シタル上如何ニ正直ニ熱心ニ謹慎深ク勞働シ其言行舉動一ニ本著ノ標外ニ出テサルトスルモ其從事シタル事業カ元來其人ニ適セス或ハ社會ガ其業ニ從フ人々ニ幸樂ヲ與ヘサル如キ狀況アリヲラフニハ如何其人ノ辛苦經營ハ全ク水泡トナリ畫餅ニ屬スベシ惜ミテモ猶餘リアル事ナリ即予カ緒言ニ於テ人カ事業ニ從事スル迄

ノ大体筋道ヲ陳フル必要アル所以ナリ如何ニ些少ナリトモ又取ルニ足ラサル論辨ナルニモセヨ聊モ述フル所ナクシテハ筆ヲ擱キ能ハサル所以ナリ
今序ヲ逐テ只箇條的ニ筋書セン

第一普通教育

其一完全ナル家庭教育

家庭教育ニ付テ心得ベキ條件ハ

体育

德育

ナリ身体羸弱ナレハ事業ヲ動作スルノ強力ナシ有形ニ其業ヲ破リ積的極ニ失敗ス品行修ラスンハ無形ニ其業ヲ破ル消極的ニ失敗セン即チ所謂裏切りサレタルト同一般ナリ

其二小學教育

此際ニ當リテノ條件ハ

体育

德育

智育

トナルベシ体育德育ノ必要ナル所以ハ前ニ述ヘタルト全ク同一ナリ智育ノ要ハ兒童カ之ヨリシテ百般有形物体ノ道理ヨリ引テ百般無形能力ノ發達ヲ誘導スベキ階梯ナレバナリ尤此等ノ必要ナル所以ハ誰レモ全知スル所ナルユヘ詳説スルニ及ハサル可シ

其三中學教育

此時代ニモ又智育体育德育ヲ注意スベキハ小學教

育ト同然ナリ只小學教育ノ高尚ナルモノナルノミ然レトモ此際已ニ自身ガ從事スベキ事業定リ居レハ其事業ニ干係アル學科目ヲハ尤勉強スベシ去リトテ他ノ科目ハ怠ルトモ可ナリト云フニアラズ尤ノ字斷味ズベシ

己ニ中學教育ヲ終レハ自身ノ目的ヲ定メ之ニ干スル智識ヲ得サルベ
カラス

第二目的ヲ定ムル方法

目的ヲ定ムルニ要旨アリ何ソヤ曰鄭重ナルベシトノ一言是レナリ
而シテ之ヲ分拆スレバ

目的ハ自己ノ心身ト一致スベシ
想像ヲ以テ判斷ヲ誤ルベカラズ

等ノ注意トナル

又目的ヲ定ムルニ其方法順序アリ

其一自身ノ思ヒ付

其二両親後見人等ノ教示

其三學校教師ノ注意

其四友人ノ勸告

等是レナリ

其五先進經驗多キ人ニ問フ

其六資金ノ多少ニヨリ目的ヲ斟酌スベシ

其七資金ヲ借ル人ノ斟酌

其八社會ノ狀況ヲ參酌シテ目的ヲ定ムベシ

其九身体ヲ參酌シテ目的ヲ定ムベシ

實ニ人々ノ事業ハ吾人百般苦樂ノ分ル、根原ナリ起因ナリ伏線ナリ

事業ニシテ成功スレハ吾人ノ幸福ハ異常ニ失敗セズ苦難重リ來ル其

大切ナル己ニ過日ノ金ニ於テモ述ベタル如ク生涯幸不幸ノ分レ目ト

モ云フベシ左レハ吾人カ從事スベキ事業ヲ定ルニハ尤鄭重ナラサル

ベカラズ尤熟考セザルベカラス固ヨリ一朝ノ談ニ非ルナリ

兎角事業ヲ定ムルニハ其序ヲ以テ大切ナリトス以上ハ予ガ頗ル熟考

シタルモノ讀書又輕視スベカラス要スルニ其一ヨリ其五迄ハ絶對的

ニ即チ事業學習ニ必要ナル諸條件ヲ離レテ只自身ニ適切ナル目的ヲ立テ事業ヲ發見スル方法ヲ述ヘタルナリ其六ヨリ其九迄ハ愈參酌シテ眞ニ自己ノ心身ニモ適シ社會ノ狀況トモつれ成功確實ナル目的順序ニ折衷スル手續ナリ

普通教育ヲ受ケ終リ目的モ定レハ次ニ目的ノ事業ニ必要ナル學術智識經驗ヲ獲得スル場合トナル

第三專門教育ヲ受クルルキノ注意

此際心得ベキ條件亦少カラシ尤專門ノ智識ヲ得ル方法ハ分レテ二トナル

其一學校ニアリ專門ノ學識ヲ學ブモノ

其二事業ヲ習ヒナカテ事業ノ結果ヲ報酬トシテ主人ニ呈スルモノ

即一ハ學生トナルナリ一ハ弟子入スルナリ

而シテ學校ニアル人ノ心得ヲ擧クレハ

其一學校ノ授業ニ怠ルベカラズ

其二博ク參考書ヲ見ルベシ

其三別ニ教師ヲ問フテ尋ル所アルベシ

其四或問題ヲ定メテ特別ノ調査ヲナスベシ

其五屢々經驗アル人ヲ訪フテ專門ノ學識ヲ拾フベシ

其六自家専門業ニ干スル新聞雜誌ヲ見テ其専門業ガ社會ニ於ル様子ヲ知ル事

其七専門業ノ場所ニ付テ實驗スベシ

等ニシテ

弟子入り爲メタルノ人ノ心得ハ

其一主人ニ教訓セラレル事業ヲ怠ルベカラズ

其二同前

其三機ヲ見テ師匠ニ毎日教ヘラレタル外ノ事ヲモ問フベシ

其四同前

其五同前

其六同前

其七同前

トナル要スルニ何レモ大差ナキモノナリ

尤日本今日ノ社會ニテハ普通高等教育ヲ受ケ經タル人ガ弟子入シテ

工藝技術ヲ習フナドノ事甚々少ク且ツ弟子入スル者ハ幼少ヨリ全ク

資本ナキ者カ其初ハ糊口ヲ濟シ得レハ可ナリト云フカ如キ望ヲ以テ

先ツ弟子トナル事ナレハ少シモ錢ノアル筈ナク從テ

其二法

其六法

其七法

等ハ行ヒ難カルベシ參考書ヲ見ントセハ參考書ヲ買ハサルベカラス

新聞雜誌ヲ讀ントスレハ新聞雜誌ヲ取ラサルベカラス專門業ノ場所

ニ行クニハ路費ヲ要スベシ一文無ニテハ如何ナル方法モ到底出來得

ルコトニ非ス從テ日本流ノ丁稚小僧諸弟子等ニハ望ミ得ベカラサル事

ナリ然レトモ之レハ其本人ノ心掛次第ナルベシ師匠ノ家ニモ專門ノ

書數種ハ之レアルベク友人ニ借ルモ可ナリ新聞トテモ亦然リ熱心ナ

レハ人モ憐ンテ貸ス事モアラン專門業ノ場所ニモ先ツ初ハ近隣路費

ヲ要セサル所ニ行テ實驗セハ可ナラン

「志アルハ方法モ亦存ス」予輩ハ如何ニ考フルモ錢ナケレハ此諸方

法ハ少モ實行シ難シトハ思ハサルナリ予ハ云ハントス「其人ノ熱心

如何ニ存スト」

第四事業ニ從事スル口先ヲ定ムル時ノ心得

已ニ専門ノ智識ヲ得終レハ愈事業ニ從事スル場合トナル又少ク此事

ニ關スル注意ヲ述ベシ

今日青年カ事業ニ從事スル口先ヲ定ムル手續ハ

- 其一官ノ採用ニ應ズ
 - 其二他人ノ紹介ヲ受ク
 - 其三廣告ニ應ス
 - 其四自ラ廣告ス
- 等ニ過キサルベシ
- 而シテ今何レノ手續カ尤可ナルト云ラハ一概ニ論定シ得ベカラス
- 社會ノ狀況ト其人ノ性質狀況其人前途ノ都合等ニアルベシ
- 要スルニ官海ニ入レハ収入モ確定シ仕事ノ時間數モ一定シテ少ク取
- ル事業モ同一ナリ然レトモ一騎當千ノ功ハ立テ難カルベシ一得一失
- 其歸着スル所ハ僅々數葉ノ能ク盡シ得ル限りニ非レハ茲ニハ云ハサ
- ルベシ
- 他人ノ紹介ニヨリ又ハ廣告ニ應シ自ラ廣告スル場合ナドニハ左ノ條

- 件ヲ心得居ルヲ宜シトス
- 其一先方ノ有様ヲ明知スベシ
 - 其二約束ハ明瞭ナルベシ
 - 其三約束ハ合法ナルベシ
 - 其四紹介者ノ言ノミヲ信スベカラズ
- 而シテ廣告ニ應スル場合其返書ニハ
- 其一自身ニテ書スベシ
 - 其二用紙ハ善良ニシテ清潔ナルベシ
 - 其三文面ハ簡單ナルベシ
 - 其四問ヒカケラレタル諸點チハ残りナク明答スベシ
- 等ノ條件ニ注意スベシ
- 履歷書ハ各種ノ手續ニ於テ必要ナリ其中ニハ
- 其一年齡

其二學術免狀等ノ寫
其三品行証書等ノ寫

ヲ記載スベシ

尤此廣告ニ于スル委曲ハ辨スル程ノ必要モナク價值ナカルベシ
最後ニ事業ノ口先ヲ定ムル場合實際ノ問題トシテ起リ來ル尤困難ナ
ルモノハ同時數人ニ口先ヲ依頼スルノ可否是レナリ
同時數人ニ依頼シテ甲者ニハ乙者ニ依頼シタルヲ隱シ乙者ニハ又
甲者ニ依頼シタルヲ告ケズンハ殆ント周旋者トハ欺ク如キ体裁ト
ナリ一人ニ全任シ數月事ノ定ルヲ待テ無効ナリシトテ再三他人ニ依
頼シ次第次第ニ遲延スレバ爲ニ一年ノ日子又間モナク未定未定ニテ
經過スベシ已ニ學校モ出テ早速事業ノ口先定ントスル學生ニ取リテ
ハ随分不便ノ限リナリ
予輩ハ此際ニ所シテ僅ニ宜キカ如キ一法ヲ得タリ先ツ同時數人ニ依

頼シテ後或ル一方ヲ成就シタレハ他方ニハ直ニ其由ヲ告ケ知人ヨリ
云々ノ申込ミアリタリ如何ニスベキ哉ト相談シ若シ自身ハ全ク其口
ニ入ラントテ希望スルヲナレハ其實ヲ告ケ其方ニ赴クモ足下ニ於テ
左迄不都合ナケレハ此旨御承知被下ト求メ見ルベシ周旋セントスル
先方ノ人トテモ固ヨリ本人ノ爲メ可ナラントテ思ヒ居ル事ナレハ本
人ノ望ミトアレハ左迄ニ押シ切リテ止メモセズ大概ハ其レニテ事濟
マン依頼者ハ此際勉テ周旋ニ着手シ居ラレタル人ノ心意ヲ害セサル
様敬禮ヲ盡シ親切ヲ謝シ後日又如何ナル事アリテ依頼スルモ再ヒ盡
力シクレル様体裁ヨク處分シ置クヲ要ス
記シ至テ最早筆ヲ擱モ惜ム所ナキガ如シ去レハ如何ト考一考シタル
所筆ノ走ル所猶ホ數言ヲ費スベシ何ツヤ
第五青年ガ事業ニ從事スベキ相應ノ機會ニ關スル事ナリ
其一自身カ從事スル事業ハ雇主ノ新ニ企テタルモノナルト

其二自身ノ從事スル事業大ニシテ年ヲ經ルニ從ヒ大ニ上進ノ望アルキ

其三雇主ノ活潑ニシテ改進黨ナルキ

其四會社ナレハ社風雇者ヲ拔擢累進スル仕組ナル所

其五自身ヲ引キ入ル、人ハ自身カ仕フル所ノ人ニ只關係アルンミ

ラス其人自ラ自身ヲ用ユル地位ニ當ルキ

其六位地宜ク給料多キキ

右等ハ即チ先ツ相應ノ機會トモ云フベキモノナラン

以上ノ大旨ヲ約スレハ吾人青年ハ社會ニ出ルノ初メ容易ニ思ハシキ

所モナク又多年辛勞ヲ積ミ上タル經驗家ニ比シテハ或ル事柄ニ干シ

テハ随分迂遠ナル風アレハ實業者カ吾人ニ上位ヲ與ヘザルハ無理ナ

ラス事ナルベシ左レハ只數年茲ニ蚊龍モ池中ニ潜伏スル時アリト我

慢シ後日昇進ノ望ミアル所アレハ入ルベク其レトモ初ヨリ地位宜ク

收入多キ所アレハ其レニ超ルコトハナシ然レトモ左様ニ甘キ事ハ少ケ
レハ前五條ノ要件ニ相當シタル所アレハ事業ニ從事シ拮据勉始終
一ノ如ク經營シテ後日ノ大成ヲ期スベシト云フニアリ以下章ヲ分テ
先ツ平生ノ心得品行ニ干スル條件等ヨリ生計貯蓄ノ事ニ論及セシ

第一章 平生ノ心得

愈事業ニ從事スレハ先ツ世渡リ社會ニ出テタルナリ從テ其心得ナカ
ルベカラズ貯ヘル時代ヨリ貯ヘタルモノヲ利用シ運轉セザルベカラ
ハル時代ニ轉シタルナリ從テ今迄ハ學窓ノ下ニ籠城シタレト今日ハ
最早「あつばれ」公舞臺ニ出テタルナリ從テ其覺悟ナカルベカラズ
其心得ハ今分テ

其一般ノ心得

其二事業上ノ心得

ト爲シ講究セントス

一般ノ心得ト云フハ即チ平生ノ心得ナリ常ニ知リ居ラサルヘカラサル條件ナリ事業上ノ心得ト云フハ即從事シタル事業ヲ爲ス場合ニ付テノ心得ナリ尤何レモ別離シタルモノニアラス頗ル密接ノ關係アリ殊ニ平生ノ心得ヲハ寧ロ平生ノ心得兼事業上ノ心得トシテ見ルヘキモノナリ即事業上ノ心得ハ平生ノ心得中ノ一部只事業ヲ爲ス場合ニ尤關係アル事ヲ述ヘタルナリ

世渡リノ初陣ニ於テ接シタル事業ハ始末結果ハ皆自身ハ價值ヲ他人ガ評定スル標準トナリ信用ハ基本トナリ名譽ハ本陣トナルモノナレハ十分注意シテ成效スル所ナカルベカラズ予輩ハ常ニ財モノナク經驗モナキ少年カ今日ノ社會ニ勢力ヲ得ンニハ只徹頭徹尾無形ノ信用ヲ得ルニアリテ信用ハ他人ニ愛セラル、ニ始リ愛セラル、ニハ品行方正ニシテ仕事ヲ爲スニ完全ニ學識アリ才能アリテ以テ之ヲ利用スル

ヨリ他法アルマジト信ズ

後章ニ於テ社會ニ頭角ヲ現ハス手段ヲ述フレトモ此章目ヲ實行シテ後該手段ニ移ルヘク先ツ細行修ラヌレハ信用何ニ由リテカ生シ來ラノ若シ平生ノ心得ヲ誤リテ只頭角ヲ現ハサント狂奔セハ階梯ノ用意ナシテ二階ニ登ラントスルカ如ク又繋ガサル船ノ如シ登ルヲ能ハサルナリ止ル所ヲ知ラサルナリ自家轉覆ハ日ナラズシテ至ルヘシサレハ人ハ先ツ平生ノ心得ニ於テ欠點ナキヲ務ムヘシ

●總論 年少者ハ之ヲ行フ余暇ノ少ニテモ有リタランニハ只學校ニテ得タル智識欠點ヲ補フニ止マラズシテ現ニ自身ノ頭上ニ掛レル責任及義務ヲ精シク觀察シテ完全ニ之ヲ盡ス様心掛クヘシ全体兩親後見人其他學校教師等ハ皆少年カ陥リ易キ危難ニモ際會シ失敗オモ踏ミタルヲナレハ其一言一句ハ年少者ニ取リテ大益アルヲ勿論ナレハ先進者ノ注意オハ能クヨク聽聞スヘシ

廿ク世ニ立タンコト付キ好都合ナ有スル少年ニシテ其都合ヲ利用セ
 ンコト固ヨリ正當ノ事ナレバ少年ハ斷然其好機ヲ利用スヘク猶絶ヘ
 ス色々ノ好機會ヲ自身ノ範圍内ニ引キ寄せンコト務ムヘシ
 少年ガ其幼時善良ナル行爲習慣規律正キコト時ヲ守ル等其他總テノ行
 儀ヲ備ヘタランニハ社會ニ出テタル際甚シキ直打ヲ現ハシ得ヘシ事
 業ノ初ニ於テ決定シタルコトハ妄リニ變更スベカラズ予ハ茲ニ事業上
 ノ進歩ヲ都合善クスル智識若クハ處世行爲ノ諸規則ハ如何ニ貴キモ
 ノナルヤナ少年ニ知ラシムルニ先ダナ少年諸氏世渡リノ入口ニ於テ
 其目前ニ横ハル心得ベキ條件ハ如何ナルモノナルヤナ述ブル所アラ
 ントス
 ●思想之勢力
 ●假令人々ニ身体ノ強弱精神ノ銳鈍アリトモ已ニ正不
 正ヲ判スルハ良心自由ノ意思ヲ與ヘラレタル上ハ造物主社會及自身
 ニ對シテ其レ相應ノ責任アルベク他人ノ身体財產ヲ害セントスルカ

如キ惡行又之ニ由テ禁制セサルベカラズ法律上ノ刑罰ハ全ク外形ノ
 束縛ニテ内心ヨリ惡ヲ爲サントスル惡念ヲ禁スル能ハサルナリ故ニ
 年少者ガ自己ノ心中動カスベカラサル勇氣ヲ以テ私情ノ誘惑ヲ拂ヒ
 失望落膽ノ境遇ニ陥ラサル様心掛クルハ實ニ敬スベキ事ナリ人性ノ
 常トシテ惡事却テ爲シ易キモノナレハ幼時ヨリカ、ル氣象ヲ養成ス
 ベシ一旦此良習慣ヲ得タランニハ別段之レト云フ才能モナク富資モ
 ナク且事業ノ成功ヲサマデニ渴望セズトモ幸運到來シテ世ニ要用ナ
 ル人トナリ兼テ名譽アル生活ヲ送り得ベキナリ
 下等社會上等社會トニ論ナク如何ナル狀態ヲ以テ世ニ立タン人モ社
 會ニ對スル責任ナキモノハナク又如何ニ賤キ位地ナリトテ責任ヲ避
 ケ得ベキ理モアラシ今其一ニ事擧ンニ
 一言行ハ皆一致シテ正直ナルベシ
 二事ヲ行フニ怠惰ナルベカラズ

得 心 ノ 生 平

三事ヲ爲サシニハ其事ヲ行ヒ得ル方法中尤都合ヨキ方法ヲ取ルベシ

四事ヲ行フニハ沈着ニシテ忠實ナルヘシ
五他人ノ財産器械物品ハ極メテ大切ニ取リ扱フベシ

以上ハ只事業ヲ爲スルノ心得トシテ粗雑ナル數例ヲ取り安リニ書キ立テタルニ過キズ其他

一吾人ハ凡百ノ辛苦ヲ厭ハス身体ヲ哺育シ智識ヲ與ヘラレタル兩親ニ大ナル責任アリ

二吾人ハ吾人ヲ信任シタル他人ニ對シ責任アリ
三吾人ハ雇主ニ對シ責任アリ

等又心得ベキ條件ナラン

克己心 年少者ガ百般運動ノ根底基本トシテ無カルベカラサルモノハ克己心ナリ百般善良ノ性質モ此心アリテ始テ行ハルベシ若シ万

得 心 ノ 生 平

行ノ原ナル此心ナクハ如何ナル好機會モ成功ヲ助ケサルハ愚カ却テ危難不幸ノ濫觴トナラン己ニ學校ヲ出テ世渡リノ初旅ニ出立シタラシニハ教師ノ教訓モナク父母ノ監督モ受ケサレハ愈自己ノ情慾青年ノ狂奔妄想ヲ制スル克己心ヲ實行セサルベカラズ
人ハ社會ニ出ルノ始メ諸方ニサマヨヘル數多キ淫聲奸色總テ吾人ヲ誘惑スル事物ヲ見ルナラン若シ少年ニシテ良心ニ背キ非行ヲ願ミサル人ト交際セハ忽チ此等不良ノ誘惑ハ近寄り來ルベシ妄ニ外貌ヲ飾ラントスルカ如キ心ニ欠點弱所アルモノハ身分不相應ノ裝飾ヲ事トシ財産ノ許サザルヲモ遠慮ナク企ツベシ飲食ノ快樂ニ沈溺スルハ又戒ムベキ事ニシテ格別飲酒ノ快樂ハ大ナル危険不幸ヲ引起スニ至ラン總テ私情ノ誘惑ニ對シテ保護スル者ハ宗教上ノ制裁ヲ除キテハ克己心ヲ措テ他ニ求ムベクモアラシク己心ヨシ實ニ心中非常ニ紛雜危險ナル紛爭盤根錯節ニ打勝タル結果ニシテ人が勝チ能フ事物

得 心 ノ 生 平

中ニテ自己ハ情慾ニ打勝ツ程廣大ナル勝利ハアラシ
 少年ガ其初メ世ニ出ルヤ餘暇モ多ク錢モアリ別段今迄ノ如ク父母ノ
 膝下ニアリテ制限セラル、コナク朋友ヲ擇ムニモ甚ク自由ニ且ツ年
 モ長ケ事業モ進ムニ從テ自ラ爲スベキ事ハ次第ニ増加シ克己心ノ必
 要愈大ナラサルヲ得ズカクテ後他人ノ家ヲ去リ自ラ一業ヲ始ムルニ
 至レハ又一層其必要ヲ感セン
 學校ニアリテハ評判好カリシ少年中世間ニ出テ、却テ種々ナル誘惑
 ノ爲ニ身ヲ持テ崩シタル者モアリ主人ノ下ニ從テハ正義ノ道筋ヲ離
 レ主人ヲ去リ自ラ一業ヲ爲シテハ忽チ憐レハカナキ有様ニ墮落スル
 モノモ多シ世海ノ難波ヲ渡リ得タル各人ハ
 「人ハ自身躬ヲスル程人ヲ誤ル強敵ハナシト」
 云フコトヲ悟リタランガ此語ノ意味ヲ敷延スレハ即他人ノ監督下ニア
 ラサル人ハ自分一己ノ了見次第ニテ甚ク悪キ者トモ善キ者トモナリ

得 心 ノ 生 平

得ベシト云フ事ナルヲ知ラン
 平生節制ヲ事トシ浪費ヲ節減スル習慣ヲ作クレハ貯蓄ハ結果アルハ
 ミナラス自省克己ノ念ヲ養成スルヲ得ベシ而シテ其價ハ貯ヘタル金
 高ニ優ルモノアラン元來克己ノ精神タル何業ヲ問ハズ其事ヲ成就セ
 ノト欲スルニ必ス無ルベカラサルモノニシテ實ニ自己ノ入費ヲ節ス
 ル能ハサルハ此精神ヲキニヨラズンバアラズ夫ノ用度ヲ節シテ餘財
 ヲ貯フルヲ能ハス一業ヲ起シテ成效ヲ見ル能ハズ中途ニ之ヲ廢絶ス
 ルカ如キハ克己自治ノ法ヲ知ラサルヲ以テノ故ナリ
 某幼ナル時頗ル喫烟スルヲ嗜メリ後斷然之ヲ禁止ス以爲ラシ此絶チ
 難キハ欲ヲ絶チ堅ク此念ヲ維持シテ克己ノ慣習ヲ養成セハ必ス大ニ
 我身ハ利益トナラント「遂ニ之ヲ實行スル久ク克己ノ効顯然トシテ現
 ハレ大業ノ成效ヲ見ルニ至レリ
 凡ソ機ニ投シ大利ヲ占メト欲スルノ妄念ト雖モ常ニ克己シテ之ヲ制

平生ノ心得

歴スルノ慣習アルモノハ必ス危ヲ蹈ミ險ニ陥ルノ患ナシ蓋シ己ニ勝
 ツモノハ又能ク人ニ勝チ得ルモノニシテ如何ニ廣大ナル事業モ透徹
 シ得ベキナリ前ニ述ヘタル某ノ之ニ由リテ利スルモノ獨リ財ノミニ
 アラズ其業ヲ起ス一唯ニ非リシモ未ダ曾テ失敗スルヲナカリシハ
 克己ノ精神ヨリ人ヲ駕御シ時運ヲ轉回スルヲ得タルヲ以テナリ此ノ
 事ヲ企ツル必ス其因ヲ原チ其理ヲ究メ終ニ違フベカラサルノ方式ヲ
 得テ後之ヲ爲セシト云フ此ノ如キハ即克己ノ念之レカ基ヲ爲シタレ
 ハナリ
 蓋シ事業ヲ成就スルハ堅忍不拔ノ精神ナリ此精神ノ源泉ハ即克己心
 ナリ奔逸スル惰心慢心之ヲ制スルノ勇氣ナクンハ何ソソ大業ヲ爲シ
 遂ク得ン此精神ナクンハ何ソ有益ノ業ヲ起スチ得ン此精神ナク
 ンハ俊偉ノ才ト雖モ事ニ臨ンテ失敗ヲ取ラサルナキチ得ンヤ此精神
 アレバコソ中才ノ人ニシテ深遠ノ理ヲ究メテ偉大ノ名譽ヲ博スルヲ

平生ノ心得

往々之アリ史ヲ繙カバ吾人ハ歴々此類ノ人ニ接スルヲ見ン今一二ノ
 例ヲ示サンカ
 「サ、アイサツク、ニエートン」氏ハ固ヨリ將來非常ニ發明ナル人英敏ナ
 ル人ニ非ルナリ然レトモ能ク引力ノ大理ヲ發明シテ有形學上大功ヲ
 建テタルニ非ズヤ
 「ジョーシ、ワシントン」ハ其初メ區々ノ一人タリ然レトモ能ク數千ノ
 農兵ヲ以テ草昧ノ地ニ起リ召募訓練其法ヲ得糧食器械完備シタル英
 軍ト相角スル七年屈セス撓マズ遂ニ敗亡ノ禍ヲ運ラシ壓制ノ苦ヲ轉
 シテ獨立自由ノ福ト爲シタリ
 其他此克己心ヤヨク「ヤング、ピット」「英國ノ大政治家」チシテ那翁ノ豪傑
 ナ折キ名ヲ萬世ニ傳フルノ大政事家タラシメ
 「フランクリン」チシテ卑賤ナル小民ヨリ起リ遠ク海外ニ周遊シ外交政
 事ニ執掌シ華盛頓ヲ援ケテ絶代ノ偉業ヲ爲サシメ

得 心 ノ 生 平

「アストル」スチユアルト「シラルド」クーバル」チシテ無一物腕一本腿一本ノ境遇ヨリ積財爲山ノ位地ニ至ラシメタリ
 其勢力又偉大ナラズヤ
 若シ吾人ニシテ克己ハ勇氣ナク喜怒哀樂ハ諸情ヲ制スル能ハス只劣等ナル内情ハ爲ニ左右セラレンカ是レ吾身ヲ護スル甲冑ニ損所アリ現世人事ハ競争社會ハ戦争ニ適セサルモノナリ吾身ヲ護スル骨トモ皮トモ頼ムベキ甲冑ニシテ己ニ破損センカ其危険極リナク容易ニ生活ノ戦争ヲ爲シ終ランハ望ミ得ベクモアラサルナリ
 然レトモ之ヲ修復スル亦爲シ得ヘカラサル事ニ非ス元來人ハ慣習ノ集合体ニシテ慣習ハ固ヨリ天授ニ非ス生レ付ニアラサルナリ平生ノ注意惡ケレバ不都合ナル慣習ヲ拾ヒ注意宜ケレハ上等ナル人ト爲リ得ルナリ慣習ハ吾人ノ意ヲ以テ變更シ得ルモノナリ凡テ何事ヲ爲スニモ匪勉セサルベカラズ目的ノ事物ヲ爲シ遂ンニハ如何ナル差支故

得 心 ノ 生 平

障アルニ如何ナル時ニテモ之ヲ實行スルノ勇氣徹頭徹尾之ヲ遣リ通スノ精神ナカル可ラズ克己ノ慣習ヲ作ルモ亦之ニ同シ萬般ノ事ニ接シ我欲ナル情意ヲ抑制シ造次顛沛ニ吾發情ヲ省察シ吾慾念ヲ壓抑シ意馬心猿ヲハ全ク束縛シテ奔逸セシメス其間ノ不快ハ拋擲シ辛苦ヲ耐忍シテ一意此習慣ヲ作ルニ熱心注目スベシ左スレハ日ナラズシテ其正鵠ニ達スルヲ得ン
 或ハ曰ハン吾人ノ發情ヲハ常ニ抑制シテ自由ナラシメサルハ結局苦ヲ以テ社會ヲ送クルモノナリト
 嗚呼何ゾ誤レルノ甚シキ今日ノ苦ハ將來ノ樂ナリ今日辛酸ヲ嘗メルハ明日のどかナル春天ニ際會セシテ欲スレバナリ一時ノ慾ヲ縱ニスレハ其時ハ如何ニモ樂シカラシ然レトモ後日嚙臍ノ悔アルベシ積年辛勞ノ結果此慣習愈成リテ我堅城鉄壁トナリ爲シテ成ラサル事ナク企テ、敗ルル事ナク向フ所敵ナシト云フ狀況ニ至リ下等ナル情慾

ハ露程モ吾人が精神ヲ苦メズト云フ有様ニ至ラハ其快如何ツヤ到底
 通常人想像ノ及フ所ニ非スシテ此快樂ハ自ラ血涙ハ苦ヲ嘗テ樂園ニ
 到着シタルモノハ自由自治ハ春ニ邂逅シタル人ニ非レハ共ニ語ル能ハ
 カルナリ戦争ハ快樂ハ生命ヲ賭シテ彈丸兩飛ハ間ニ死戰シタル者ニ
 非レハ語ル能ハサルナリ一度死シテ再ヒ蘇生シタル者ニ非レハ想像
 シ得ベカラサルナリ
 予ハ次章ニ於テ社會ニ頭角ヲ現ハス手段ヲ述フルノ初メ品行ノ事ヲ
 掲ケタレトモ此克己ナル勇氣ナクシテ品行方正ト云フ事ハ出來得ベ
 カラサルナリ
 人ノ病ハ節制ハ足ラサルヨリ起ル世ニ病者ト稱スルモノ之ヲ統計ニ
 ヨリテ仔細ニ點檢セバ十中ノ九迄ハ必ス自業自得所謂不養生ヨリ來
 リタルモノナラン過食暴飲其他肉情ノ發動ニ任セテ我意ヲ逞クシタ
 ルヨリ起リタルモノナラン有爲活潑ノ人モ天然ノ能力卓越シテ後來

大ニ望ミアル人モ情慾節制ノ足ラサルヨリ身体ヲ破リ事業未成途中
 ニ彷徨スル人蓋シ幾何ナラサルヲ知ルベシ
 事業ノ遂功ヲ妨クルモノ身体ノ續カサル點ノ外又一アリテ存ス即一
 度定メタル事業ヲ拮据經營セサルノ之レナリ永久追從セサルノ之レ
 ナリ之レハ已ニ前述ヘタル所ナルガ事業ニ從事シテ久シカラズ忽ニ
 厭倦ヲ來シ之ヲ取り代ヘントスルハ即克己ノ足ラサルヨリ起ルナリ
 從テ事業遂切ノ曉天愉快ナル樂園ニ達スル能ハサルナリ
 左レハ克己心カ吾人ノ事業ヲ成功スルニ大關係アル骨髓トモ精神ト
 モ頼ムベキ條件ナルヲハ已ニ明ナルベシ此心ナクシテハ身体ヲ傷シ事
 業何ニ由テカ成功スルヲ得ン此心ナクシテハ事業中廢ス事業何ニ由
 テカ成功スルヲ得ン此心ナクシテハ品行方正ナラズ名譽集ラズ吾人何
 ニ依テカ運動ヲ爲シ勢力ヲ振ヒ何ヲ恃ミトシテ社會ニ頭角ヲ現ハシ
 得ル少年ニシテ此心ナキモノハ最早はねのけナリ共ニ談スルニ足ラ

ナルナリ

●**節制** ヲハ唯飲食ノミナラズ総テ五官ノ感動シテ私情ノ激昂シ思
 立タル儘ニ行ハントスル情慾ヲ制スルヲ云フ今日普通ノ罪人若ク
 ハ法律ニ觸レズトモ不善ナル行爲ヲ爲ス者十中八九ハ此節制ノ定ラ
 サルニ起因シ節制ノ足ラサルハ克己心ノ強盛テラサルニ始マル望ミ
 多キ少年モ此ヨリシテ青雲ノ志ヲ達スル能ハサルニ至ルベシ酒ヲ飲
 マハ其量ヲ竭サントハ實ニ卑劣ナル諺ニシテ少年モ斯クナリテハ到
 底望ミナシ

今不節制ノ重ナル弊害ヲ擧ンニ

- 其一、飲酒狂乱シタル腦髓ハ十分責任ヲ尽シ得ス
- 其二、飲食ニ節制ナキ人ハ遂ニ不良ナル社會ニ陥ル
- 其三、乱飲暴食ハ實ニ不經濟ナリ

一夜ノ飲酒モ節儉セハ一週間ヲ支フルニ足ラン再三ノ贅澤遊山ハ上

平 生 又 心 得

平 生 ノ 心 得

等ナル呉服一揃ヲ作り得ベシ此レヲ以テ書籍其他高尚ナル愉快ヲ與
 フル器械物品ヲ求メタランニハ自身ノ幸福家人ノ喜ハ如何ナラン
 要スルニ飲食ヲ節制シ得サル者ハ其身体ヲ害シ併テ家族的ノ幸福ヲ
 減シツマリ一家破滅ノ基トナルアルベシ
 譬へハ煙草ヲ喫スルカ如キ之レナリ本來煙草ハ衛生ニ合ハス殊ニ身
 体ノ未タ發達中ニアルモノニハ其影響甚シク斯ク有害無益ナル者ニ
 錢ヲ投センハ實ニ不經濟ニモアリ又之ヲ用ヒザル人若クハ婦人ノ前
 ナドニテ喫煙スレハ甚々非禮ナリ又喫煙ハ無用ナル談話ヲ長引キス
 ル媒介物ナレハ時間ヲ貴重スル精神ニモ戾ルベシ煙草ヲ吸フ者ノ僻
 トシテ早朝禱ニアリナガラ喫煙スレトモ此レハ身体ヲ害スル一層甚
 シキモノナリ此等ノヲハ人ノ皆知ル所ナレトモ一度用ヒ始ムレハ容
 易ニ止マザルハ即克己心ノ不足シテ節制ノ届カザレハナリ元來此習
 慣ハ一度生スレハ容易ニ改メ難クハ少年ハ極メテ注意シテ之ヲ避

得 心 ノ 生 平

正直しやうじき ナラサレハ信用ナク他人ノ嫌忌けんきスル所トナリテ交際こうさいモ始はじラズ萬事不都合ナリ尤此事ノ必用ナル實じつニ三尺ノ童兒モ亦知ル所ナレトモ經世中尤モ毅然トシテ確守スベキ要點ナリ

廉潔れんけつ 俗しやくニ「いさぎよし」ト云フ事ナリ已ニ毎々述ヘタル如ク吾人ハ智識ハ大半ヲ交際ニ博シ吾人ハ運動ハ全ク他人トハ關係ニヨリテ成リ立ツモノナレハ社會ニ地位ヲ占メ漸ク運動ヲ始メトスル少年ハ返ヘスノモ他人ノ心意ヲ害シ他人トノ交際ヲ不調和ナラシムルヲハ避テサルベカラズ

兎角人間ノ交際ハ微こゝろニ始リ微こゝろニ破ル、モノナリ金錢ノ事ニ干シテハ尤然リ社交上吾人ハナルベク他人殊ニ親友トハ金錢ノ關係ヲ生セサル様心掛クベシ若シ生シタレハ早速明瞭ニ其關係ヲ濟シ少シモ曖昧ノ點混雜ノ廉ナド之レ無キ様爲シ置クベシ

得 心 ノ 生 平

一度金錢ノ關係ヲ生シテ時々或ハ貸シ或ハ借り其もつれノ結局自ラ取り分多キヤ借方ノ位地ニ立ツヤ相方其精細ヲ知ラス各自臆算シテ取り分アルモノト信シ初ノ内ハ遠慮シテ別ニ口ニモ出サレトモ終ニハ催促がましき言ヲ吐はくニ至リ云ヒ掛ケラレタル者ハ寧ロ自身ハ取分アルニ其レヲモ知ラデ「あつかましき」と立腹シ假令之ヲ出スモ不快面ニ現ハレ受取ル人モ氣持變ニ感シ或ハ其場ニ於テ何レガ果シテ借り分アルカ彼此抗辨スルノ際一言ノ下相方「つまはぢき」シテ其末交際疎遠トナリ若クハ斷絶スルヲナキヲ保セス去リトテハ實ニ策ノ得タル者ニアラス馬鹿ばかシキ事ノ限リナラスヤ之レト云フモ又金錢ノ關係ヲ生シ剩ヘ早速之ヲ結了セテ何レノ方ニカ「いさぎよからざる事」アルヨリ起ル事ナリ痛ク誠ムベキ事ニコソ

止ムヲ得ス常ニ金錢ノ關係アル人トハ之ヲ精確ニシ且ツ常ニ廉潔ノ心持ヲ以テ間違アレハ自ラ讓リ自ラ損スルトモ交際ヲ全フシ他人

ト圓滑ナル間柄ヲ保ツベシ僅々數錢ニハ替ヘラレサル利益ノ存スルノ疑ナキ事ナリ

其他何事ニ付キ廉潔ナラサルハ見苦シキモノナリ賤キモノナリ交際ヲ全フセントセハ須ク廉潔ニシテ人ニ讓ル氣風ナカルベカラズ我欲ヲ抑制シテ卑劣ナル事ナハ之ヲ思フダコ爲スベカラズコハ實ニ大切ナル條件ナリ

塵積主義 人ハ性急ナルベカラス何事ヲ爲スニモ急ニ之ヲ爲シ遂

ント思フベカラズ急ニ爲サントスルハ忍耐心ノ足ラサルナリ熱心ノ足ラサルナリ何事ニモ急切ナレハ必ス蹉跌失敗ヲ受ン好シ幸ニ出來

上リタルモ其事物ノ不完全ハ云フ迄モナキ事ナルベシ

事物ニヨリテハ手間取リテ巧ミナルヨリ速ニシテ拙キ方却テ宜シキモアルベシ然レトモ他人ノ事ヲ爲シテ非常ニ取リ急キ其成功不完全ナルキ之ヲ先方ニ示シテ餘リ急キタレハ斯ク不完全ナリ急カサレ

得心ノ生平

得心ノ生平

ハ今少シ体裁ヨク出來ル筈ナリト云ヒ譯シタリトテ先方ノ目ヨリ見レハ如何ニモ不細工若クハ不注意ナル者ノ如ク急速ナリ時間少ケレハ尤ナリトノ斟酌ハ少シモ之レナク出來上ルトモ如斯若シ餘リ急キテ事物ノ中途ニ失敗シタレハ如何ナド其粗忽性急ヲ答メテ愈不信用ナルベシ決シテ事物ヲ取リ急クベカラズ

全体餘リ急成ヲ要スルハハ受合ハサルハ宜シトス頼ム所ニハ速ニ爲シク致シ方ハ不完全ニテモ可ナリト云フモ出來上リテ之ヲ示サ

ハ以前依頼シタル時ノ言モ亦時間ノ短急ナルヲモ忘レテ其拙ナルヲ答ムベク或ハ現ニ公言セサルモ心中ニハ不注意ナルモノ哉ト嘲弄

輕蔑シテ不信用トナリ後々ハ事業ヲ依頼セサルヲトナルベシ故ニ止ムヲ得ズ急成ノ依頼ヲ受レハ必ス念押シテ後引受ケ且ツ些少ノ遅延ヲハ忍ンテ之ヲ完全ニ爲ス様心掛クベシ遅クナリシハ忘レテ只事業ノ完全ナルヲ喜ヒ爲ニ信用モ厚クナリ再三依頼アルニ至ルベシ

得 心 ノ 生 平

以上ハ一事一物ニ付テノ議論ナリ然レトモ之レハ移シテ以テ社會世
 渡リノ要訣ト爲スベシ急ニ人望ヲ集メ名譽ヲ得大功ヲ立ント思フベ
 カラズ急ケハ必ス跌ク急ケハ廻ル序々ニ其歩ヲ高ムベク一度得タル
 地位ハ確守決シテ失フベカラズ得タル物ヲハ決シテ失ハサル事トス
 レハ一度大ニ得テ蹉跌一敗地ニ塗レ一朝ニ之ヲ全失スルモノヨリ寧
 ロ永久ニハ大勝ヲ制スベキナリ月ヲ重テ年ヲ經ルニ從ヒ遂ニハ最高
 ノ位地ニ達スベシ
 殊ニ一度失敗シテ其破綻ヲ社會ニ示スハ世人ハ容易ニ再ヒ信用セ
 ズ、濫テ數年ハ蟄居スルヨリ他法ナカルベシ世渡リニ要訣アリ即一粒
 ノ砂礫モ之ヲ失ハス次第ニ積ミ上テ大山ヲ作ラントノ心掛ナリ稱シ
 テ塵積主義トモ云フベキカ要スルニ始終一ノ如ク馬ノ如ク急ナラズ
 トモ牛ノ如ク徐々ニ歩ミテ休ムヲナク遂ニ遠方ニ達スルモノナリ
 東照公ノ遺訓ニモ

人ノ一生ハ重荷ヲ負フテ遠キ道ヲ行クガ如シ急クベカラズ不自由
 ナ常ト思ヘハ不足ナク心ニ望起ラハ困窮シタル時ヲ思ヒ出スベシ
 堪忍ハ無事長久ノ基ヒ怒ハ敵ト思ヘ勝ツ事許リ知リテ負ル事ヲ知
 ラサレハ害其身ニ至ル已ヲ責メテ人ヲ責ムル勿レ及ハサルハ過キ
 タルニ勝レリ

怠らず行かば千里の外も見ん

牛の歩行のよし遅くとも

ト見ヘタリ

至極少年カ規戒トナスニハ價値アル言ナルベシ

勉強

細心

守約

固執

得 心 ノ 生 平

以上ハ人々平生ノ心得ニ於テ又頗ル必要ナルモノナリ然レトモ之レハ「金前編」ニ於テ述ヘタレハ再ビ此處ニ贅セズ讀者宜ク參照スル所アルヘシ

談話ノ方法

吾人ハ交際ノ動物ナリ他人ト日々接見スルモノナリ

從テ談話セサルベカラズ談話ニ於テ吾人ハ宜ク心得居ル所ナカルベカラズ

「口舌」ヲ嚴重ニ慎メ「ト」ハ少年ニハ尤必要ナル訓戒ナルベシ考ヘ無キ雜

話ト取り留ラヌ他人ノ評説トハ往々意外ナル不都合ヲ生スベシ人ノ

私事ヲ云フベカラズ譏ルベカラズ自由ニ特別ノ關係モナク必要モナ

キニ他人ノ非ヲ訶クハ宜キ事ニ非ス

古代ノ賢王「ソロモン」ハ談話ニ付テ左ノ教訓ヲ爲シタリ

「就業中ニハ職業ノ事ヲ話セ」ト曰フ「是レナリ芝居ノ話狂言ノ評競馬

ノ勝負ナド職業ニモ關係ナキ利益モナキ事ヲハ就業中ニハ決シテ談

スベカラズ新聞雜誌等ヲ隱シ見ニスルナド又甚々不都合ナリ不体裁ナリ

用アリ人ヲ訪ハハ挨拶終リ次第用事ヲ談スベシ無用ノ浮世話ヲハ爲

スベカラズ先方ノ耳ヲ傾クル様熱心ニ用向ノ話ヲ爲シ敬ヲ失フベカ

ラズ話ハ簡略ナル方宜シケレトモ餘リ短シテ周到セサレハ不都合

ナリ誤解ナキ様明瞭ニ述ヘ明答ヲ得タレハ敬謝シテ去ルベシ他人ヲ

訪フタルキ永居シテ迷惑ヲ掛ケ後日再訪ノ節嫌忌セラル、等ノ事ヲ

ハ一切爲スベカラス殊ニ今日ハ日進文明ノ世ノ中多忙極マル時代ナ

レハ用ナキニ訪ヒ用終リテ止マリ他人ノ來訪アルモ猶去ラズ用ノ起

リ來リテ主人ハ外出セサルベカラサルニ自身ハ猶去ラサル「アルナ

ド何レモ非禮ナリ先方ノ氣ヲ害スベク愛顧セラルル所以ニアラサル

ナリ

先方談話ノ途中ニ横鎗ヲ入ルベカラズ其說誤リタリト知ルモ先方ヲ

ハ嚴ク攻撃スベカラズ只先方ノ一説トシテ聞キ置カハ可ナラン參考ノ爲トシテ聞クモ亦利アラン餘リ頓首スルニモ及ハサレトモ他人ノ談話ヲハ謹聽スベシ

他人ノ問ニ答フル法 之レハ明瞭ナルベシ精確ナルベシ疑ハシキ事ヲハ露程モ述フベカラズ若シ之ヲ云ハハ如此理由アルカ故ニ此疑點存ス如何ナル者ニヤ御參考迄ト丁寧反復シテ念ヲ押シ述ベ置クベシ其レニテモ又先方ハ其疑點ナリシト告ケラレタル事ヲハ忘レ其言ヲ標準トシテ事ヲ行ヒ或ハ他人ト談シ誤リタランコハ彼レハ詐ハレリ彼レハ未熟者智識不十分ナリナド擯斥スル感情ヲ起スヘシ左レハ先ツ述ヘザルチ宜シトス危ニ近ヅカザルハ安全ナリ

他人ニ調査ヲ托セラレタル事ハ文書ヲ以テ答フヘシ尤注意スル所ナアルヘカラズ此場合ニハ疑點ヲ述ブルモ可ナラン己ニ筆ニ現ハシアルコナレハ別ニ其事カ眞ニ誤リタリトテ此方コテモ確實ナル眞理ナ

リト告クル譯ニアラチハ不都合ナカルヘシ

多言ノ不利 多言ノ不利一ニシテ足ラス多言ナレバ云ヒ損ヒハ免レザルヘク爲ニ自己ノ直打ヲ損スヘシ又餘リ辨スレハ他人ハ其レ程ニ辨スルナレハ自己ハ如何ナルモノソト多言シタル人ノ言行ニ嚴ク注目シテ批評雜言交々下リ非常ニ刺撃セラルヘシ

多言スレハ其間ニハ必ス他人ノ惡口等ヲ爲シ爲ニ譏ヲ來シ且ツ故ナシ他人ニ不都合ノ來ル如キ言ヲ爲シ實際他人ニ迷惑ヲ掛ケ後來交際上ニ於テ多分ノ利ヲ享有シ得ヘキ人ニモ遂ニハ疎セラレ「のまり」多言者ノ不利トナル又多言ノ弊トシテ間違ヒタル事ヲ話シ易ク甚シキハ「うそつき」ノ誹謗ヲ受クルニ至ルヘシ

多言ハ一般ニ人ノ威嚴ヲ損フモノナリ其云フ語ニ重ミナク又毎々多言スレハ如何ニ名説ヲ吐クモ他人ハ之ニ親狎シテ其「わりがたき」ヲ知ラス毎度同様ノ事ナリトテ少シモ感セザルヘク人ヲ譴責スルニ際シ

テモ其功能ハ少カルヘシ事業ハ言ヲ以テナルモノニアラス多言ニシテ成効シ得ルモノニアラサルナリ用事ハ一言ニシテ足レリ餘リ多言スレハ自ラ言聞シタルト百般ノ智識一切洩レ殘リテ自己ノ心中ニ何タル智識モ存留セズ辨スヘキノ時論スヘキ必要ノ際平生辨シ盡シタルレハ別ニ他人ヲ感服セシムル程ノ事ナク再三同一ノ言ヲ述フルニ至リ其實然ラサルモ一見如何ニモ直打ナキモノ、如ク見ヘ思ハレ大ニ割合上損ナルヘシ

虚禮退從 禮儀ハ大切ナルモノナリ人ト接シテ禮ナクシハ大ニ人ノ厭フ所トナリテ談話モ成リ立タズ從テ信用ヲモ得ラレマシ

左レハ禮儀ハ必要ナリ吾人處世ノ旅中欠クヘカラサルハ條件ナリ然レトモ妄ニ其人ノ前ニ言ヲ飾リ恐惶頓首シテ他方ニ唾スルカ如キ虚禮ヲ行ヒ眞ニ禮儀深カラサルハ甚タ不都合ナル事ナリ若シ斯ル忌ムヘキ行爲ノ一朝些少ニテモ先方ニ認メラレタラシハ大ニ嫌疑セラ

レ信用ハ愚カ聞ク事モ謀ル事件モ一切心ヲ盡シテ教ヘラレス到底交際ノ結縁ハ結ビ難カルヘシ

殊ニ追從他人ニ阿諛スル者ハ獨立心ナキモノナリ卑屈ナルモノナリ先進者ハ其非禮ト卑劣ト責テ取り合ハサルヘシ又取り合ヒタリトテ「うわべ」ノ事ナリ皮相ノ交際ナリ何タル利益ノ之ヨリシテ得ラルベキヲ只止ムヲ得スシテ冷遇セラル、程後進少年ニ取リテ「つらく」悲シキ事ハナシ去リトテ皆自業自得ノ結果ナリ痛ク誠ムル所ナカルヘカラス

長上ノ人ニ對スル敬禮 長者ヲハ尤モ敬禮セサルヘカラス元來老年者社會ニ地位アル人ハ吾人ヨリ先ニ生レテ吾人ヨリ辛苦ヲ嘗ル、トモ多ク社會ノ爲ニモ多ク働キ直接間接ニ吾人ノ爲ニモ勞力ヲ尽シタル人ナレハ之ヲ敬禮セサルヘカラサルハ勿論ナルベシ

殊ニ此等ノ人ニ付テ教訓ヲ受ケ智識經驗ヲ拾ハシハ十分敬禮スル

平 生 ノ 心 得

所ナカルヘカラス元來年モ老テ且ツ多年辛酸ヲ經タル人ハ品行モ正
 グ世ニモ大ニ尊敬セラレ居ルヲナレバ少年カ禮儀モナク突然闖入シ
 タラシハ一見其非禮ニ驚キ直ニ胸間一種ノ障壁ヲ築キ爲ニ教訓注
 意ヲ受クヘカラサルハ勿論屢々面會スルヲダニ成リ立タス其不利又
 茲ニ述フル所ニ止マラサルヘシ
 殊ニ長者上位ヲ占ムル人ノ言ハ一言一句大ニ世間ニハ勢力アル者ナ
 レハ若シ此等ノ人ニ嫌ハレ其上輕蔑セラレテ一言自身ノ上ニ及ヒタ
 ル談話ヲ世間ニ傳ヘラレタラシハ亦カ大事ナルヘシ十分警誠
 スル所ナカルヘカラス
 遠ザクヘキ人物近ヨルヘカラス場所 少年ハ殊ニ交友ヲ擇マサ
 ルヘカラス友ヲ見テ其本人ヲ知ル其友ヲ示カハ彼人ハ人ト爲リテ告
 ン等ノ語ハ友ヲ擇ムルノ大切ナルヲ示シタルモノナルヘシ
 世間ニ評判悪キモノ失敗ノモノヲハ遠ク名譽アリ信用アリ後來進

平 生 ノ 心 得

歩ノ望ミアル者ト交際スヘシ自身モ亦從テ進歩セシ上流ノ人ト交ル
 ヘシ下流ノ人ト狎ルレハ惡風ニ染ミ易カラシ
 又宜シカラサル場所ニ行クヘカラス餘リ繁ク料理屋玉突場其他總テ
 遊戯場ニ入レハ或不評判ヲ來スアルヘシ且ツ如此場ニ多ク出入
 スレハ遂ニハ「みだら」ナル遊戯場慰ミ所ニモ至ルヲトナリ其結果品行
 ノ不良身ノ持チ崩シトナリテ人ニ捨ラルヘシ至ラシ
 交際上止ムヲ得サルヲモアラシカナレハ不正ノ遊戯等ハ斷然斷ルヘ
 シ賭ヲ爲ス者ト交ルヘカラス總テ品行方正ナル人ト交際シ從テ其朋
 友カ行カサル場所ニハ行カサルヲトセヨ品行宜キ人ト出入進退ヲ共
 ニスレバ自身モ亦品行正キ人トナリ得ヘシ
 其他肝要ニシテ記スヘキノ條件一ニシテ足ラザレドモ到底記述シ得
 へキ限リニアラス理由ハ次章ノ終結ニ於テ述フル所アルヘシ要スル
 ニ前ニモ述フル如ク次章ト關係シ並ニ行ハレテ其功初テ現ハル、モ

第二章 事業上ノ心得

少年カ世渡リノ始ニ於ル心得ハ一般ニ論シタレハ歩ヲ轉シテ事業上ノ心得ニ移ルヘシ
 出過キタル考ヲ避クヘシ 兎角學窓ニアリテ社會ヲ見下シタル許リノ新武者ハ思想粗末ニシテ事業ノ如何ニ困難ナルヤヲ知ラズ一見「これしき」ノモノハト許リ飲ミ込ミ易ク何事モ鄭重ニ思ハズ寧ろ輕蔑ナルハ傾アレハ事業ヲハ遣リ損ヒ勝ニシテ從テ使役者ノ信用ヲ害スルヲ少カラズ

其社會ニ入ラヌノハ其社會ノ事ハ知リ難シ日夜只書籍ニノミ目ヲ曝シタル學生カ吞舟ノ魚ヲ漏ス如キ思想ヲ以テ實業社會ヲ見渡シタレバトテ「おどか」適當ノ推考成リ立ツヘキ其社會ニ生レ其社會ニ吸ヒ其

得 心 ノ 上 業 事

得 心 ノ 上 業 事

社會ニ考想ヲ集タル者スラ歩ニ難ム況ンヤ他ノ社會ヨリ架空ノ想像ヲ以テ闖入シタルモノヲヤ至極困難ナルヘシ

少年ハ事業社會ニ入ルノ始メ先ツ務テ空想的ノ出過キタル考ヲ去リ總テ預算ハナルヘク小ク積リ堅固ニ堅固ヲ加ヘ一敗地ニ塗ルカ如キ失策ナキヲ要ス

義務ヲ尽スニハ正直ナルヘシ 後日發見ノ憂ヲ恐レテ種々ノ惡事

ヲ働キ得ヘキ機會ニ打勝チタル者ニハ金錢ヲ委託スルモ左マテ不都合ナル事ニアラス主人ニ對シ正直ナルモノハマサカニ金錢ノ「ゴマカシ」ヲハ爲ササルヘシ去レテ單ニ金錢ニ正直ナルノミナラス自家ノ責

任トシテ可働各事業ヲ完全ニ爲シ遂クル者ニ至テハ甚ダ少カルヘシ「自身ノ責任ヲ完全ニ爲サンニハ先ツ人ノ爲ニ働ヘキ時ヲハ自分ノ用ニ供スルヲナキ様心掛ケサルヘカラス被雇者ニシテ其仕事ヲ爲ス時

間ニ不規則朝遅ク夕方早ク歸リ出席時間中爲サザルヘカラサルヲオ

モ成ルヘク等閑ニ付シタランニハ被雇者ノ懶惰ナルヲハ明ナリ
事業ニ怠惰ナルヘカラス 事業時間ニ能ク沈着ナラス輕卒勝ナル
モ亦不正直ノ結果ニシテ實ニ可耻事ナリ

此場合ニハ自ラ業ヲ執ルニ不熱心ナレハ其業務ニ熟練スルノ利益ハ
何時迄經過スルトモ得ル事ナク又自身ノ不正直ハ其害自己一人ニ止
マラサルヘシ

ハムレット(書名)ニ載スル「ボロニアス」ノ格言ニモ

「汝自ラ欺クナカレ晝間ト夜間ト人ノ見ル所ト見ザル所タルトテ問

ハズ正實ナルヘシ左レハ決シテゆわれなく害ヲ他人ニ掛ルコトハ
毫末モ之レナカルヘシ」云々

少年ハ自家直接ノ業務ヲ終リシ後モ自身ノ勞苦ヲ厭ハザレハ將來必
要ナル高等ノ智識經驗ヲ知り得ラルヘキ機會來リシキ十分注意シテ
學ブハ此等ノ機會ハ自身ノ専ラ從事スル事業ノ外其周圍ニ爲シ居

ル他人ノ業務中ニモ數多ク存スヘシ若シ自身ノ仕事中他人トノ關係
モアリテ能ク解シ得ヘカラサル事アラハ先ツ了解センヲ務メ若シ
千思万考ノ後知レサレハ他人ニ問フヘシ禮儀正ク又教ヘ得ヘキ余暇
アル節ヲ見計フテ問ヒタランニハ教ヘサル人モアルマシ若シ之ニ反
シ心身共ナルヘク苦勞ヲ少シク自身ノ責任ニ限レル事ノミ務メ居テ
退席時間ノ來ルヲ只待ツノミナランニハ自身ニテ自身ノ出精ヲ妨ケ
且主人ニ對スル信用ヲ破壊シテツマリ其家ニ居ルヲモ出來サルニ至
ラン
物品器械ヲ浪用スヘカラス 被雇者カ使用スル財産器械ハ全ク主
人ノ信用ニ由テ委託セラレタル者ト知ルヘク只主人ノ金錢ヲ浪費セ
ザルノミカ重テ一切日用ノ筆墨紙等ニ至ル迄注意スヘシ自身ノ財
産ナリトモ浪費セシハ實ニ非難スヘキ事ナルニ况ンヤ他ノ財産オヤ
若シ浪用セシハ實ニ不正直ニシテ他人ノ信用ヲ濫用シタル者ト云

得 心 ノ 上 業 事

フヘシ如何ナル物件ト雖モ總テ自身ノ囊中ヨリ拂ヒ出ス者ト知レ少年カ働ク利益ヨリ多額ノ損失ヲ主人ニ與フルトハ世人ノ能ク知ル所ナリ

主人ノ目ヲ偷ムヘカラス 少年中教ヘテ受ケラルヘキ機會器物ヲ浪用セサルヲ時間規律アルコトヲ以テ左程大切ニ思ハサル者アラシナレ此此等ハ決シテ長者主人ノ目ニ知レサル者ト思フヘカラスヨシ此等諸欠點ハ時ニ主人ノ眼底ニ映射セサルコトモアラシ去リトテ主人ハ自己ノ過失怠惰ヲモ知ラス性質ニ付テ録々ノ計算ヲモ爲シ得サラン者ト思フハ全ク誤リナリ此等種々ノ條件ハ序ヲ以テ觀察セラレ遂ニハ某ハ上位ニ進ムヘキカ舊位地ニ置クヘキカ等地位ノ進退ニ干スル一切ノ標準モ亦之ニ由リテ生スヘシ

前述ノ如キ小事ニ干シテモ細密ナル誠實正直ハ遂ニ百物ニ干スル誠實正直ヲ引起シ尤僅カナル事物ニスラ誠實ナル者ハ其他百般ニ干シ

得 心 ノ 上 業 事

テ誠實ナリトノ古言ニモ適合スルニ至ラン

事業時間ヲ違ヘザルベシ 事業ニ干スル時間ヲ違ヘサルハ先注意スヘキ事ナリ此等ハ小事ノ如クナレモ事物ニ精密ナル習慣ヲ作り約テ重ナルハ氣風ヲ養フ重ナル方法ニシテ少年カ社會ニ立ツノ始メ先ツ信用ヲ得ンニハ尤重大ノ干係アル事ナリナレトモ如何ンセハ時間ヲ違ヘサル様人心ヲ獎勵シ得ルカ曰ク決斷ト勉強トニアリ自身ノ務ムヘキ業ヲ完全ニ爲セバ數多ノ利アリ第一ニ主人ヨリ別ニ非難ヲ受クル恐レナキハ勿論大概ハ賞賛セラレ且後日推薦ノ都合ニモナリ併テ如此良習慣アル人ハ其心持モ爽快ニ獨立ノ氣象獨尊ノ勇氣アルヘシ

專心注意 手技ニ干スル事業ニハ注意ヲ一所ニ集ムト尤必要ナリ事業ヲ完全ニ爲サント欲セバ先ツ注意ヲ諸點ニ散乱セサル様一心不乱其事ニ從ハサルヘカラス事業ヲ爲ス傍ラ文字ヲ讀ミ若クハ談話ス

得心ノ上業事

ヘカラス心身ノ精力全ク業務中ニ集メラレテコソ美妙ナル器物モ造
 リ得ヘク人ノ意表ニ出ル手際物モ成ラン
 鄭重コハ只有形物取扱ニ干スル浪用ノ反對ノミニアラス手代輩
 カ日々百般ノ事務ヲ完全ニ爲シ遂ニハ最大必要ナル一徳ナリ常ニ謹
 慎深クアリタランニハ如何ナル仕事ヲモ愉快ニ爲シ得ヘク又不注意
 ヲリ起ル不都合ヲ後ヨリ救正スルノ煩ナシ自身ノ勢力モ増サレ且注
 意深キヨリ出来上リタル仕事ハ利益多シ故ニ如此人ハ世間ノ需用モ
 多ク永久ノ主人ヲ探出シ併テ高給ヲ得ンモ左程六ヶ敷カラズ都合
 ニヨリ他ニ轉スルトモ入口ニハ困ラサルベシ茲ニ一々明言セストモ
 其結果トシテ種々ノ都合宜キ事現ハレ來ラン
 事業取扱方法 正當ニ整頓セラレタル方法ニヨリテ働カハ事業ノ
 完全ニシテ且迅速ニ成功スルハ明白ニ混雜ヲ減シ秩序ヲ高ムヘク
 百般事業ヲ單一ノ状態ニ引キ直シ廣大ニシテ且複雑ナル事業モ割合

得心ノ上業事

ニ平易ニ爲シ終ルヲ得事業ノ拙取ランハ勿論ナルベシ
 去レドモ事業取扱ノ方法豈雇者ノミニ限ランヤ主人ニモ亦主人ガ事
 務全昧ニ干スル方法アルベケレバ主人モ宜ク此點ニ注意ヲ拂フベシ
 世間ニハ余リ此事ヲ重ンゼサル人アレドモ一旦此習慣ヲ得タル人ハ
 常ニ此點ニ抜目ナケレハ事毎ニ此方法ヲ用ヒ用ユルニ從テ愈秩序ヲ
 立ツル事ニ熟練シ他人ノ二三時間ヲ費ス一モ一時間位ニテ爲シ得ル
 ノ利アリ故ニ此點ニ注意深ク熟練シタル者ト然ラサル者トハ雇主ニ
 取リテ非常ノ影響アルナレハ少年觀察ノ條件ニ入レ置クベク少年
 ハ又之ニ由テ大ニ信用ヲ得サルベカラズ
 根氣ヨリ勉ムベシ 己ニ自身定式ノ仕事及仕事ニ干スル方法ヲ知
 リタランニハ被雇者ハ之ヨリ進ンテ就業時間少シモ休ムトナク出来
 得ル丈多クノ仕事ヲ爲スヲ務ムベシ周章狼狽突進妄リニ早ク仕事
 ナ爲サントスルハ少年ノ陥リ易キ所ナレドモハ嚴ク戒メ置カサルベ

得心ノ上業事

一、**勉強**ハ人ガ心身ノ**健否**如何ニアルモノ如何ニ**勉強**セントスレバトテ**体力**繼カザレバ**覺**東ナカルベシ尤時間ヲ定メテ或ハ一定ノ**事業**ヲ爲スコソ**勉強**ヲ**獎勵**スル好方法ナルハ各人ノ**經驗**上能ク知ル所ナリ

少年ハ宜ク**記憶**セヨ 〔**事業**ニ**勉強**スル人ハ大臣大將ト爲リテ王前ニ座スルヲ得ベシトノ**確言**ヲ**記憶**セヨ

事物ハ十分ニ爲シ遂クベシ コハ**事業**ヲ爲サレベキ筈ノ所迄ハ少モ抜目ナク其一部分タリトモ不完全ニ又「片ちんば」ナル所ナク如何ニ精密ナル吟味ニ遭フトモ**視出**サルベキ**欠點**ヲキコチ云フ此事タル少年ニハ**仲々**大切ナル事ニテ如此ナランコハ事物ヲ爲スニ「しつかり」トシテ且**忍耐**間斷ナク從事セサルベカラズ

斯クナレハ只好評判ヲ得ルノミナラズ仕事ニ有リ付クニモ容易ナラ

得心ノ上業事

ノ其他又亦々**事業**ノ完全ニ成功シテ其結果モ「見ばへ」ヨキヲアレハ其人ノ心持自カラ愉快ニ自家ニ歸リテ一家**團樂**ノ快樂モ自カラ多カルベシ

●**体裁**許リノ**働**キ方ハ不都合ナリ 主人ノ輕卒無經驗無判斷及社會習慣上ニ於テ被雇者取縮法ヲ知ラサルヲ利トシテ成ルベク勞セサラシトチ務メ尤僅少ナル仕事ヲ爲シテ給料ヲ多ク取ラントスル程卑劣非難スベキ事ハアラフ如此少年ハ只主人ノ目ニ當リテ責メ付ラレサルヲ度トシ給料拂渡期日ノミヲ待チ構フルノ外仕事ニ付テ少シモ考へテ置カサルナリ

元來主人ガ雇者ニ某地位ヲ與ヘタルハ即**誠實**ナル信用ヲ置キタルモノニシテ假令陽ニ盟文ヲ書セズトモ**隱然**誓約シタルニ同ク少シタリトモ其信用ニ背キタランニハ主人ノ信用ヲ押領シタル道德上ノ罪人ナリト云フベシ或ハ給料少キ故ニ十分ニ働カズト云ハソコハ甚ダ不

都合ナル申分ナリ或給料ヲ満足シテ委託ヲ受ケタル上ニ不十分ナル
仕事ヲ爲シ之ヲ以テ給料ノ多少ニ托言スルヲ得ンヤ
其他事業ノ一部ヲ取り扱フ少年ハ他ノ部分ト唇齒輔更ノ干係アレハ
自己一人ノ不注意ハ引テ他人ニ及シ事業ノ全体ヲ害スルヲ知リ居
ルベキ責任アリ

英國有名ノ海軍大將「ネルソン」氏ハ嘗テ戦争ノ夜軍兵ニ告ケテ曰

「英國ハ只各人が各自ノ責任ヲ完全ニ爲サンヲ望ムノミト
實ニ至言ナリト云フベシ

各自ノ責任ヲ盡サンヲ望ム豈銃砲相挑ム戦争ノ時ノミナランヤ社
會生活百般ノ戦争中総テ此覺悟ナカルヘカラス世ニ存セン其間ハ此
心ナシテハ叶ハシ

規律正シカルヘシ 規律正シカラサル人ハ心モ不正ナリ事物ノ順
序整頓方法ニ心ヲ用ヒサルモノ、成功シタル實例ナシ二人ノ就業ヲ

求ムル者アルキ其他ノ状態總テ同一ナランニハ事業家ハ規律正キ習
慣アル者ヲ取ルヘシ全体不規律ノ習慣ハ各人ハ甚タ陥リ易キ所多シ
ハ懶惰ナルヨリ此惡習慣ヲ生スルナリ例ヘハ一寸書籍若クハ紙チ一
時ノ用ニテ取りタリトセシモ用事終リテ以前ノ場所ニ置カサルハ即
不規律ノ始メナラン千百混雜ノ中要件ヲ記シタル紙若クハ書類筆墨
類ヲ求メントスルモ容易ニ得サルヘク心モセキ時ヲ空クスルハ勿論
或ハ數時間後到底見出シ得ス大ニ不便ヲ感スルヲアラン又他人ト同
様ニ仕事ヲ爲シ得サルヲアルヘシ

「インク」ヲ付タル「ペン」墨ノ付キタル筆ハ机上書物ノ上若クハ紙ノ上ニ
置クヘカラス此不注意ヨリ書物モ汚レ帳簿モ見苦ルシカルヘシ又筆
チ耳ノ間ニ狭ムヘカラス見苦シク且危険ナリ
譯者曰「ペン」ヲ筆筒ニ指スヘカラス夜間急ニ室内ニ入り机前ニ坐シ
若クハ引出チ探カントシタル節光明ナキキハ誤リテ面部ヲ衝ク

ナキヲ保セス若シ目ニテモ傷ヒタランニハ大事ナルヘシ
 如此注意ハ時間ノ節減トナルハ勿論爲ニ煩擾ヲ欠キ且日常ノ費用モ
 間接ニハ減スヘシ主人ノ炯眼又此點ヲ見逃スモノニアラサレハ大ニ
 注意スヘク後日昇進ノ助トモナラン
 清潔ナルヘシ 被雇者ハ殊ニ商家ノ手代番頭輩ハ手ヲ汚サ、ルハ
 勿論指ニ墨ヲ付クルヲ嫌フ程ナリ容貌衣服店ノ体裁總テ美麗ナラ
 シヲ事務ムルモ亦甚可ナル事ナリ人カ不潔物ヲ見レハ遠サカル如ク
 奇麗ナレハ人氣ノ集リモヨク商賣繁榮ノ始メナルヘクカクテハ主人
 ニモ満足ヲ與ヘ主人モ亦雇者ヲ重シスヘシ不潔ヲ厭ハサルハ全ク感
 覺ノ鈍キヨリ來ルトハ世人ノ云フ所ナレモ或ハ然ラン何ニ致セ自身
 ノ愉快ヲ求メ并セテ他人ノ快樂ヲ害セサランヲ事務ル者ハ能ク
 此美德ヲ守ルヘシ
 此外大切ニシテ記スベキノ條件少カラサレトモ人々ガ平生ノ心得ト

事業上ノ心得トハ記シ至リテ容易ニ盡キサルナリ其委曲ハ宜ク勸善
 訓蒙西國立志編等道德品行ノ事ヲ述説シタル書ニ付テ見ルヘシ存分
 ニ云ヘハ道德ニ于スル條件品行ニ于スル注意悉皆必要ナルナリ爲ニ
 數卷ノ紙面ヲ用スベシ茲ニハ只尤他人ニ關係多ク從テ之ヲ欠カハ大
 ニ不信用ヲ來スベシト思ハルル要件ノ二三ヲ舉タルノミ讀者之ヲ以
 テ已ニ足ルモノト思フベカラズ他ノ要件ハ捨ツルモ可ナリト思ヒ賜
 フベカラズ且ツ人ハ常ニ事業ニ從事スルモノ如何ニ平生ノ心得可ナ
 レバトテ事業上ノ注意足ラサレハ又信用ヲ得難カルベシ平生ノ心得
 ト事業上ノ注意トハ決シテ分離シタルモノニ非ルナリ只特ニ事業上
 ニ於テ必要ナル條件ヲ摘拔シタルニ過キサルナリ其他吾人ノ良心カ
 吾人ニ告タル訓誡ハ總テ吾人が處世交際ニ於テ必要ナルモノナリ吾
 人言行ノ標準ハ宜ク吾人カ正直ナル判斷ノ指示ス所ニ取ルベシ左ス
 レハ大間違ハ決シテ起リ來ラサルベシ

第三章 社會ニ頭角ヲ現ハス手段

平生ノ心得萬事備ハレバ愈社會ニ頭角ヲ現ハス手段ヲ論スル必要ニ際ス

抑吾人カ最後ノ目的ハ金ヲ得ルニモ單ニ快樂ヲ貪ルニモアラサルナリ社會ニ大業ヲシテ當代ノ輿望ヲ集メ名ヲ不朽ニ傳ヘント欲スルニアリ從テ吾人少年ハ先ツ社會ニ頭角ヲ現ハス手段ヲ知ラサルベカラズ

社會ニ頭角ヲ現ハス手段ニアリ 事業ヲ爲シ遂テ社會ノ信用ヲ得勢力ヲ振ハンニハ其兵法蓋シニ途ニ分ルベシ

曰正
曰奇

正ハ云ヘハ即普通ノ順序ナリ奇ト云ヘハ變体ナリ鬼神出沒不可測ノ政略ヲ行フモノナリ然レモ奇策ニ至テハ固ヨリ之レ各人ノ腦中ニ鬱積スル一種ノ奇怪力ガ演スル所ノ活劇ニシテ予輩淺學ノ揣摩シ得ル所ニ非ス又論外ナルベシ予ハ只茲ニ第一策ヲ述ベシ

社會ニ頭角ヲ現ハスト云フモ其方法ニ至テハ驚クベキ程ノ事ニ非ズ信用ヲ得ルナリ名譽ヲ集ムルナリ社會ニ上位ヲ占メ勢力ヲ振フノ手段ニシテ先ツ此處ニハ他人ニ信用セラレテ其名漸ク擴張スル順序中尤大切ナルモノヲ最初ニ次ニ大切ナルモノヲ次ニ列記セントス讀者幸ニ先後ノ序ヲ違フナカレ

品行ハ百事ノ根源ナリ信用ハ基本ナリ名譽ハ起因ナリ万業成功ノ土臺ナリ英雄不顧小事大禮不謹細行ナド云フハ實ニ東洋流野蠻時代ノ思想ナリ奇ト狂トノ投合ナレハいざ知ラズ之ヲ普通ニ考フレハ品行程大切ナルモノハナク信用モ名譽モ之ニ由テ集メ得ルナリ

今日ハ日進文明ノ世ノ中秩序的ノ時代ナレバ口ニ如何ナル金言ヲ吐
クモ其身持全カラズ身ニ蔽襁袍ヲ纏フテ路頭ニ轉々シテハ誰レ人モ
狂人トヨリ外ハ思ハサルベシ況ンヤ之ヲ擧テ自己ノ使用ニ供セント
スルナヤ思ヒモヨラヌ事どもナリ
殊ニ品行ハ生涯完全ナルベシ其初ニ注意シタリトテ後ニ乱レノニハ
決シテ以前ノ善行ヲ以テ償フ者ニ非ズ其大切ナルハ實ニ始終同一ニ
シテ徹頭徹尾完全ナラサルベカラザルナリ
世間其初ニ信用ヲ得テ後ニ失敗スルモノ其人ニ乏シカラズ蓋シ其初
ハ大切ナレバトテ其人々モ大ニ謹慎シタルモノナルベシ然レトモ一
時假作ノ謹慎ハ永久持續スルモノニアラズ一度少ク調子宜ク信用ノ
出來タランニハ忽チ氣弛ミニテモ生スルモノニヤ打テ變リテ不規律
不作法トナリ遂ニ折角積ミ上タル信用モ名譽モ全然崩レ去ルモノア
リ惜ムベキノ至リト云フベシ

之ヲ造ルニ大切ナル力ハ之ヲ維持スルニモ緊要ナルナリ最初ニ必要
ナルモノハ後日ニモ大切ナリ故ニ社會ニ頭角ヲ現ハズ手段トシテ品
行ノ大切ナルヲ論スルハ言少ク陳腐ニ屬スルノ嫌ナキニアラサレモ
少ク考ヘラルル人ハ強チ其非ナラサルヲ知ラン世ノ青年諸氏先ツ社
會ノ初陳ニ於テ此目ノ注意ヲハ完全ニ拂ハサルベカラズ
眞面目 何事ヲ行フニモ眞面目ナルベシ眞面目ナラサレハ確實ナ
ラズ確實ナラサレハ信用成リ立タズ名譽集マラズ名譽ナカリセハ人
望ナク勢力ナク人ニ擠排セラルルトモ推撰セラルルトナシ如何ソ能
ク社會ニ頭角ヲ現ハズトテ得ル
抑事業ヲ爲スニ眞面目ナラサルハ即熱心ナラサルノ証ニシテ熱心ナ
ラサレハ事ノ成就スベキ様ナク眞面目ナラサレハ事業撻取ラズ出來
上ラズ出來上リタリトテ不完全ニ欠點多シ人ノ依頼ニモ背キ人ノ企
圖ヲモ妨ケ從テ不信用ナルハ自然ノ事實ナリ

兎角世ノ中ハ皮相外觀ヲ以テ推察シ預想シ判斷スルモノナレハ眞面目ナラサル者モ一時ハごまかし半分相當ニ信用モ得ラレ勢力モアルベシ然レトモ詐謀ハ永久持續スル者ニ非ズ必ズ久シカラズシテ破綻ヲ現ハス曉天ニ際會シ一度眞面目ナラサルノ人ナリト云ヒ噓サルルニ至レハ急ニ心配シテ信用ノ引キ戻シニ盡力シタリトテ左様コ人形ヲ扱フカ如ク人心ヲハ引キ直シ得ルモノニアラズ所謂九俛ノ功チ一箕ニ欠キタルモノ再ヒ前日ノ好況ニ立チ還ラシニハ其困難當初之ヲ積上ケタル時ノ比ニ非ルヘシ
交際ヲ擇ムヘシ友ヲ見テ本人ヲ知レトハ隨分信ヲ置クヘキノ言ナルヘシ吾人ハ實ニ餘リ賢キ人ニ東西モ明ナラサル友ヲ見ズ又活潑ナル人ニ數月一事件ノ判斷ニ苦ムカ如キ友ヲ見サルナリ同氣相求同類相倚蓋シ賢ハ賢ヲ以テ集リ愚ハ愚ヲ以テ引クモノナルベシ水ハ方圓ノ器ニ從フ麻中ノ蓬ハ自ラ直シトハ實ニ人性ノ眞相ヲ穿チタル言

ナリ
吾人ノ志想状態ハ其友ニ由テ陶冶セラレ周邊ノ狀況ニ由テ左右セラレベシ交ル所ノ人品行嚴正社會ニ信用モアリ勢力モアル人ナラシニハ自身モ亦勢ヒ品行方正ナラサルベカラズ從テ信用モ得ラルベシ若シ然サラレハ地位高シ社會ニ信用アル人ト永ク交際セシムルハ覺束ナク自身ノ聲價ハ消ヘ去リテ地位ノ改良等ハ愈六ヶ敷次第々々ニ塵界ニ墮落シ去ルベシ
青年ガ特ニ慎ムヘキハ社會ニ出テタル其初ニアリ當初自身ノ地位高カラサルノ際地位高尙ナル人ト交際センハ甚タ困難ナレトモ又社會ニ地位ナキ人トハ交際セサル様大ニ擇ム所ナカルベカラズ總テ事物ハ其初メコソ大切ニシテ後日ノ階梯トナルモノナルガ友ニ於テモ亦然リ若シ社會ニ出タルノ當初劣等ナル人ト交際シタラシニハ地位高キ人ハ劣等ノ人ト交際スル者ハ又劣等ナラント塗抹視去リテ顧ミサ

大將ノ功ハ其實大將ノ功ニ非ザルナリ數萬ノ兵卒カ刀折レ矢盡キ首
足處ヲ異ニシ死屍山ヲ爲シタレバナリ流血川ヲ爲シタレバナリ一私
卒功勞ノ結果ナリ兵卒ノ死能ク大將ノ名ヲ爲スナリ然シテ歴史ハ大
書シテ

何年何月某將軍大ニ賊ヲ某所ニ破ルト

云ヒ人ハ異口同音ニ

何將軍ハ實ニ國家ノ干城ナリト

稱ス兵士粒々ノ辛勞血ハ涙ニハ餘リ思ヒ付カサルナリ又據ン所ナキ
事ト云フベク使ハルル者ノ地位又悲シカラズヤ憐レナラズヤ

然レハ吾人ハ他人ヲ使フノ人タルヘシ他人ニ使役セララル者命令支
配セララル人タルヘカラズ被役者ノ血涙ハ悉皆使役者ノ人ニ賞メラ
ルル花トモナリ實トモナルヘシ辛勞ノ結果ヲハ他人ノ名ヲ爲ス材料
トシテ捧呈スルノ地位ニ立ツヘカラズ獨立ノ地位ヲ保ツヘシ首領主

權者タルヘシ

然レトモ予輩ハ今日少年カ事業社會ニ入ルノ始メ決シテ他人ヲ使役
スルノ位地ニ立テ難キヲ知ル他人ノ名譽ヲ作ル爲メ盡力セサルヘカ
ラサルヲ知ル吾人ハ思ヒ進ンテ茲ニ至ル毎ニ慨歎セスンバアラス然
レ凡物ニハ一々其順序アリ一躍九天ニ昇リ得ル者ニ非ス只以上ニ述
ヘタル所ハ原則大主義トシテ心ノ本尊ト爲シ精神ノ標準ト爲シ一時
變ニ處スルノ權道ニヨリ人ノ下風ニモ立タサルヘカラズ須ク之レハ
社會ニ頭角ヲ現ハスニ當リ一度通過セサルヘカラサル關門階段トシ
テ只速ニ經過シ去ランヲ務ムヘシ一時人ノ尾ニ付シタリトテ心底
ニ卓落汚レサルノ獨立心アレバ又何ノ差シ障リカアラン
新發明ヲ爲シ新見識ヲ立ツベシ 雞口トナルモ牛後トナル勿レト
ハ消極的ノ注意ナリ牛後トナリ人ノ後ニつき廻ル勿レト云フニ過キ
サルナリ今進ンテ積極的ノ注意ヲ述フベシ新發明ヲ爲シ新見識ヲ立

段手スハ現ヲ角頭ニ會社

ツルハ之レナリ、
 前ニモ屢々陳ヘタル如ク社會ニ頭角ヲ現ハスト云フハ社會多數人ノ
 望ヲ集ルナリ社會ノ多人數ニ何ノ某ナル者ハ何事ヲ爲スモノナリヤ
 如何ナル思考ヲ抱クモノナルヤチ知ラシムルナリ左レハ工藝技術家
 タル者新發明ヲ爲サハ其名四方ニ傳播シテ功積不朽ニ垂ルベク政治
 家法律家經濟家タル者新見識ヲ立ツルレハ輿望愈高クシテ勢力益増
 加セシ。
 兎角人ハ奇チ好ムモノナリ外觀ニ迷フモノナリ新チ爭フモノナリ如
 何ニ其說可ナレハトテ從來社會ニ知レ渡リタル議論ハ人ノ集リ宜カ
 ラス餘リ感心スベキ說ニハアラズトモ其名新ク聞ユル所又少ク珍ラ
 シケレハ大ニ一般ノ人氣ヲ撼起シテ忽チ一方ノ霸タラン
 此事ハ予ノ茲ニ喋々弁スルヲ待タズシテ讀者ノ十分知ラルル所ナラ
 ノ近來ニシテ新シキ雜誌ヲ起シテ其名一時ニ聞ヘタル先生方モ新主

段手スハ現ヲ角頭ニ會社

義ト云フ程ノ新主義ニモ新文字ニモアラサレトモ兎ニ角一風變リタ
 ル議論文字ヲ突然荷ヒ出テ振り廻ハシテ世上ヲ騷シ多人數ノ注意ヲ
 惹起シタレハ斯クハ「もてはや」サルハトナリタルナルベシ又商工業
 ノ如キモ新工夫ヲナシ他人ノ意外ニ出デ先鞭ヲ付ケタルモノハ既ニ
 社會ニ利益ノ平準シタル事業ニ比スレバ其利益ノ割合非常ニ多カル
 ベシ新シキモノノ功能亦大ナラスヤ
 妄リニ財ヲ借ルベカラズ 財即權ノ世ノ中財アレハ茲ニ人望集リ
 信用成リ勢力ヲ振フヲ得ン財ナクハ唾キセントスル程ニ嫌フ人
 ニモ顧着セサルヲ得ス實ニ財ナキ者ハ蛟龍雲雨ヲ得ズ空ク泥中ニ潜
 伏スルト云フ姿ニテ憐レ至極ノ事ト云フベシ
 實ニ財ハ之レ百般ノ便利物品ヲ供給シ得ル原素ニシテ仁義モ慈悲モ
 之レ無クハ行フニ由ナク不体裁ナリ卑劣ナリ不義者ナリトノ譏モ
 亦之ニ由リテ生シ來ルベシ之チ欠カハ吾人ハ一日モ生活スヘカラサ

ル有様ナリ然ルニ今マ斯ク大切ナル緊急ノ性質ヲ有スルモノヲ借ル
トセハ其容易ナラサル事ナルハ又明ラカナルヘシ借ル物ノ直打如何
ニ由リテ借リタル人ノ恩謝モ伸縮スヘク直打愈多ケレハ恩義ヲ受ク
ル愈大ナリト云ハサルベカラズ
第一妄リニ財ヲ借ルハ獨立心ヲ欠クヨリ起ルコナリ勇氣耐忍ノ性質
ナキヨリ來ルコナリ平生ノ注意預備ヲ怠リ先見ノ明乏シキヨリ生ス
ルナリ一言ニシテ之ヲ盡サハ妄リニ財ヲ他人ヨリ借ラサルベカラサ
ル様ニ立チ至ル人ハ身ヲ所スル万般ノ行爲ニ抜日多キ人ナレハ社會
ニ頭角ヲ現ハスナド云フコハ覺束ナキ方ナリト云フモ差支ナカルベ
シ
然レモ人生何人カ急變ナカラサ如何ニ用意シアレハトテ如何ニ
先見アレハトテ未來ノ出來事ハ神ナラヌ身ノ一々知ルベクモアラズ
間々他人ノ財ヲ借ル必要ニ際會スルハ實ニ免レ難キコナルベシ只財

カ貸ス人ノ氣風地位ト借ルモノトノ關係如何ニアリ若シ自身ニ財ヲ
貸ス人ハ平生ノ知己ニシテ餘リ人ヲ蔑スルノ氣風モナク且ツ不意ノ
出來事ニヨリテ借ルトノ事ナランコハ別ニ不都合ナカルベシ然レト
モ借リタル者ハ勢ヒ恩ヲ負フタル者ナリ貸方ハ恩人ナリ主位ニ立ツ
モノナレハ借方ハ之ヲ尊奉セサラントスルモ能ハザルベク云ハント
欲スルコモ其人ノ前ニハ先ツ口ヲ閉チ行ハントスル事モ其人ニ關係
アレハ先ツ見合ストトナリ要スルニ自家ノ思想モ恩人ニ對シテハ幾
何カ束縛シ置カサルベカラサル有様萬般ノ不都合少カラサルベシ
若シ貸方ニシテ平生ノ知己若クハ性質宜キ人ナラズ一朝少シ其恩
ヲ背ニ負フテ自身ニ臨ミ自家ノ頭上ヲ壓セントセハ如何其迷惑ハ實
ニ想像ノ外ナルベシ其人ノ餘リ惡意ナキモ借方ハ從位ニ立ツテ運動
ノ不便ナルコ前ニ述ヘタルカ如シ況ンヤ之ヲ恩トシテ豪慢ナル舉動
ヲ爲シ若クハ自身ノ進路ヲ妨ケ或ハ自己ノ名譽ヲ害セントスルモノ

チヤ一種奇妙ナル思想ヲ帶フル人チヤ若シ斯ル人ヨリ再三恩ヲ受タ
ランコハ終ニハ其人ニ對シテ頭ノ上ヲサルハ勿論其人ハ又如何ナル
言チ社會ニ蒔キ散ラサンモ圖リ難ク其云ヒ事ニヨリ從來信用ヲ受ケ
居タル人ニモ嫌ハルルコトナリ如何ナル事情ノ起リテ斯ク金ヲ借ル
ニ至ツタルヤ其委細ハ知ラテ只左様ニ借金スル者ハ獨立心ノ乏シキ
者ナラント一抹非難シ去ルヘシ
殊ニ他人ヨリ金ヲ借ルルハ何レ自身ハ大ニ困却シタル時ナラナレ
凡如何ニ困却シタレハトテ左様ニ困却シタル様チハ説クヘカラス其
實狀ヲ陳フレハ或ハ容易ニ貸ササル人モ遂ニ貸スアラン然レトモ
餘リ因却シテ借ルルハ其金ノ多少ニ拘ハラズ大ニ恩義ヲ受タル有様
トナリ其人チハ一層尊敬セサルヘカラス社會ニ頭角ヲ現ハスニハ愈
困難ナルヘシ故ニ大概ナレハ只金ヲ貸シ下サレト簡單ニ述ヘ置クヘ
クナリ困却仕リ候ナド云フテ歎願スヘカラス若シ然ランニハ不見識

ノ限リナリ
已ニ學業ノ資金ヲ借ル場合ニモ述ヘタル如ク金ヲ借ルニハ成ルヘク
一人ヨリ借り置クヘシ三人五人十數人ト次第ニ恩人ヲ増セハ愈勢力
ヲ伸ハスニハ不都合ナルヘク一方ノ恩人ハ寛ナルモ一方ノ恩人ハ酷
ニ一方ノ貸方ニ或敬禮ヲ施セハ他ノ貸主ニモ同様頓首セサルヲ得ス
四方八方皆之レ吾人ノ頭上ヲ自然ニ壓スルノ人々ノミニシテ其困難
云ハソ方ナケレハ金ヲ借ル人ハナルヘク少キヲ要ス如何ニ少額ナレ
ハトテ借金ハ借金ナリ恩ヲ受タル點ニ於テハ大差ナカルヘシ大同小
異ト云フヘシ
名ヲ爲シ易キ地方ニ行ク事 自身ハ來ラシトテ希望シ若クハ自身
ハ事業ヲ爲スニ特便アル地方ニ行クハ名チ社會ニ現ハスハ一策ナル
ヘシ事業家ナレハ行テ其事業ノ先鞭ヲ着ケ工業家ナレハ行テ其工事
ヲ卒先シテ始ムヘシ 楷据經營セハ數年其名忽チ現ハレン

今日政治經濟法律學等ヲ學ヘル學生カ卒業後永ク東京ニ留リタリトテ東京ハ人才ノ淵叢先覺ノ巢窟ナレハ頭ヲ上ル方法ハ立タザルヘシ依テ故郷ニ歸ルカ若クハ自身ヲ希望スル地方ニ赴キ「つまり」名ヲ爲シ易キ所ニ行ケハ其成功甚ク容易ニ勞半ハニシテ功ハ之ニ倍セン

地方ニ行ケハ前ニ述ベタル原則ノ鶏口ト爲ルモノナリ新見識ヲ其地方ニ移植シ若クハ發明シタルモノトモ爲リ得ベク一團體ノ名譽自身ノ周圍ヲ纏フテ万事都合宜シク先ツ地方ヲ堅メ後チ中央ニ入ルハ策ノ上々ナルモノナラン万一進デ中央ニ成功スレバ可ナリ若シ成ラザルモ一敗地ニ塗ル憂ナク退テ據ル所ノ城郭アルベシ一度鋒先ヲ折ラシ、モ之レヲ碎ラシテ上京セバ如何三度衝キ入ラバ如何大概ハ成功セン今日青年ノ針路ニハ最面白キ一法ナルベシ

此策ハ元來其地方ニ名望アリ、財產アル人ニハ甚好都合ナレドモ自身ノ家ニ本來ノ名望ナク資本ナクソバ之レモ亦困難ナルベシ依テ先ヅ

中央ニ在テ少シク名ヲ知ラル、ノ方法ヲ旋ラシ多少ノ勢力ヲ得テ地方ニ行キ漸々成功シテ再度中央ニ出デナハ即チ名ヲ爲スヲ得ン

源頼朝ガ先ヅ地方ヲ堅メ信長ガ尾張ヨリ始メテ後京都ニ入ル亦此策ノ好例トシテ考ヘ見ルベシ隨分味アル方法ナリ

郷邑ニ名ヲ擧グルモ頭角ヲ現ハスナリ

何カ社會ニ頭角ヲ現ハスト云ヘハ甚ク「大げさ」ニ聞ヘ從テ讀者ハ資本アリ從來其家ニ傳ハリタル信用ト地位トアリ又當代勢力アル人ニ特別ノ關係若クハ血縁アル者ニテ先進ヨリ特別ノ推薦ヲ受クルコ非レハ到底爲シ難キ事ト思ハルベシ

如何ニモ尤ナリ社會ニ勢力ヲ振フハ固ヨリ容易ナル事ニ非ス又容易ナラサレハコソ予輩ハ如此辨ヲ費シ筆ヲ勞シタルナリ全ク他人ニ依頼シ只他人ノ恩徳ニ因テ地位ヲ得ルハ固ヨリ難事ニ非レトモ之レハ予カ本論ノ範圍内ニ非ルナリ又如此者ハ地位ヲ得タレハトテ何ノ

愉快カアル如何ナル社會公共的ノ運動ナシ如何ナル利益ヲ社會ニ
與フヘキ只地位アル人ト云フ假面ヲ冒シテ名譽アル人ト云ハルルカ
如キ員ニ備ハルノミ
予輩ハ其難キカ故ニ從テ愉快ハ大ナルヲ信シ又斯ル活氣ハ一國ニ充
滿シテコソ其社會ノ強固繁榮期スヘキヲ信スルナリ若シ何人モ如何
ニ勞シタリトテ^ト第一等ノ人トハナラレマシ左レハ只平凡ニシ
テ安樂ナルニ若カズナド毎日西洋料理ヲ食フ能ハスンハ一週間ニ一
度モ一月月ニ一度モ牛肉ヲ食ハサルニシ美味膏粱ニ飽ク能ハサレハ
寧ロ食セサルニ如カスト云フカ如キ極端ノ議論思想ハ社會ニ頭角ヲ
現ハス心掛ニ於テハ尤モ避ケサルベカラズ
一郷ニ其名ヲ得ルモ社會ニ頭角ヲ現ハシタルナリ其社會ニハ實ニ勢
カアルモノナリ從テ一郷ニ就キ一邑ニ對シテハ其効大ニ公益ヲ爲ス
ト又少カルサルベク愉快モ多ク名譽モ集ルベシ元來一國ハ小村小邑

ノ合体之レガ分子町村ニシテ悉皆完全ナレハ其團體國家モ強固ナラ
サルベカラズ左レハ予輩ハ國家ノ爲メ其郷邑ニ名アル人アルトテ賀
セサルヲ得ス從テ如此人ノ其數多カラントテ望マサルヲ得サルナリ
人心腐敗スレハ一國滅亡ス而シテ人ハ自暴自棄程人心ヲ腐敗スルモ
ハナシ社會ニ頭角ヲ現ハサントセハ誰レカ自身ヲ愚ナリトシ自
ラ捨ツルモノアラシヤ故ニ各人カ社會ニ頭角ヲ現ハサント云フ觀念
ヲ抱クトハ其一人ノ爲ニモ必要ナリ一國ニモ大切ナル以上ノ如シ
予輩ハ一村一邑ニ其名ヲ舉グルモ又社會ニ頭角ヲ現ハス起因根源ニ
シテ而ノ各人ハ先ツ此心ヲ以テ社會ニ頭角ヲ現ハス手始ヲ爲サント
希望シテ止マサルナリ
奇策ヲ得ル根本 猶社會ニ頭角ヲ現ハス手始トシテ述ヘ度キ事モ
隨分之レアレトモ多クハ甚ク危險ナル方法所謂奇策ニシテ茲ニ一定
ノ議論トシテ述ヘ難キ事ナレハ残念ナガラ略シ置キヌ

然レトモ社會ニ頭角ヲ現ハスニハ正奇ノ兩法并ヒ行ハレ双方混用シテ愈其効ヲ見ルヘシ故ニ世渡リニ於テ大ニ成功セントスル諸氏ハ奇策ニ付テモ十分考慮ヲ費スヘク而シテ奇策ノ種子材料ヲ得ンニハ須ク好ンテ傳記ヲ讀ミ殊ニ西洋政治家ノ傳記演說等ヲ熟讀スヘシ日本戰國時代將校ハ政略モ亦參考トシテ一見スルハ價値アラシク元來社會ニ頭角ヲ現ハスニハ十分ノ資本ナカルヘカラス假令十分ト云フ程無クトモ餘裕ト云フ者ハ無論之レナカルヘカラス而シテ單ニ第一章第二章平生ノ心得事業上ノ心得ヲ述ヘタルノミ別ニ生計ノ事モ貯蓄ノ事ヲモ述ヘスシテ直ニ第三章ニ於テ社會ニ頭角ヲ現ハス手段ヲ論スルハ少ク論說ノ序ヲ得サル嫌アリ予モ聊カ之ヲ憂ヒタレトモ去リトテ第三章ヨリ生計貯蓄ノ事ヲ述ヘ遺產ニ説キ進ンテ最後社會ニ頭角ヲ現ハス手段ヲ辨スルモ亦少ク序ヲ失フカ如ク殊ニ頭角ヲ現ハス手段ハ平生ノ心得事業上ノ心得ト非常ニ密着ナル關係アルモ

ハナレハ遂ニ第三章ニ於テ此事ヲ論スル事トハ爲レ而シテ今略終結シタレハ以下類ヲ變シテ生計貯蓄ノ問題ニ及フヘシ讀者見進ンテ結論ニ至ラハ須ク再ヒ目ヲ轉シ本章ヲ參讀スヘシ始テ大ニ得ル所アラ

第四章 生計上ノ事

總論 人ノ此世ニアル飲食以テ飢渴ヲ凌ギ衣服以テ寒暑ヲ防キ風雨ヲ避クルニ家屋ヲ以テシ單ニ今日ノ生活ニ指シタル不都合ナケレバ他ニハ爲スベキナシトテ放心自得シ得ルカ井テ鑿テ飲ミ田ヲ耕シテ食フハ野蠻未開ノ有様ナリ人文日ニ開ケ人ノ私欲モ稍高尚ニ人事次第ニ複雜トナル今日ニアリテハ最早昔日ノ如ク單一ナル生活状態ニ満足スル者ニ非ス文化ノ進歩ニ伴フテ各自其業ヲ取り其進度ニ

相應セル衣食住ヲ營マサルベカラサルハ勿論子弟ノ教育婦女ノ嫁娶
祝式祭典葬儀等小ハ一家ノ細事ヨリ學事ノ振起ヲ謀リ殖産資本ノ融
通ヲ便ニシ運輸交通ノ道ヲ開キ工業ヲ企テ物産ヲ興ス等大ハ社會ハ
幸福ヲ進歩セシムル爲ニ吾人ハ當ニ爲ササルベカラサル個條義務責
任ハ一々數フルニ違アラサルナリ

然レトモ世間斯ル義務責任ヲ少モ盡ササル人アルハ何ツヤ誰レシモ
此義務ヲ盡サスシテ可ナリト思フノ人アラサレトモ今日ノ生計ニ不
足ヲ感シ日々ノ活計ニ逐ハル者ニテハ如何ニ彼此レ思フトモ到底
爲シ得ベキコトニアラズ衣食足りテ禮節ヲ知ル一家ノ生計成立シテ始
テ他人ニ對スルノ義務モ責任モ實行シ得ルナリ故ニ自己ノ所好ニ從
テ其所意ヲ實行シ立派ナル運動ヲ爲サント欲セハ須ク其家ヲ富實ナ
ラシメ其身ヲ高貴ナラシメサルベカラズ之レ人ノ富貴ヲ得ンコトヲ
冀ヒ貧賤ハ誰シモ之ヲ免レンコトヲ欲セサルモノナキ所以ナリ然ルニ

人生ノ幸不幸ハ天命避クベカラサルモノニヤ生レナガラ富貴幸運ノ
人アリ貧賤不幸ノモノアリ幸運者ハ始終安樂逸居シテ人生ノ義務ヲ
モ完クシ人ニモ尊崇セラレ不幸者ハ生涯口中ノ食身上ノ衣住ノ爲ニ
齟齬シ人生ノ義務ヲ行フコトモナラズ甚シキハ他ノ補助ヲ借リテ衣食
ヲ充シ獨立ノ生計ヲ營ム能ハズシテ他人ニ輕蔑戮辱セラルルニ至ル
同シク之レ人類ナリ而シテ其運命ニ斯ル天壤ノ差別アルハ何ツヤ或
ハ人ノ貴賤貧富ハ前世ノ約束事ト思ヒ富貴ハ生レナカラ之ヲ保ツコ
非レハ到底得ル能ハサル者ト歸ラメ貧賤ハ死シテ再生ノ時ニ非レハ
結局免ルベカラサルカ如ク考フル人モ多ケレトモコトハ畢竟事理ニ暗
ク識見ニ狭キモノハ妄斷ニシテ自棄ノ甚シキモノト云フベシ今若シ
細カニ思慮ヲ運ラシ廣ク人事ノ實際ヲ察スレハ生涯ノ運命ハ決シテ
生レナカラノ幸不幸ヲ以テ斷定スベキニ非ズ富貴貧賤ハ只人々質素
儉約ノ主義ヲ守リ之ヲ家政ノ實際ニ履行スルト否トニヨリテ分ル者

ナルヲ認メシ故ニ生來貧賤ナリト雖モ戸内細大ノ家事ニ精密ナル規律ヲ宛テ籍メ一家舉ツテ質素儉約ノ道ヲ履ムルハ一代ノ中ニテモ身ヲ立テ家ヲ興シ得ベク家事ハ鎖末ノ事男子ノ齒牙ニ掛クルモ「ものうし」トテ之ヲ等閑ニ附シ去ラハ遂ニ出世ノ期ナキノミナラズ如何ニ富貴ノ者モ忽チ貧困ノ慘淵ニ沈ムベキナリ

財産ハ額ノ汗ノ結果ナリ勞苦ヲ惜マズ家業ヲ勉ルハ富チ得ルノ道ナリ然レモ雷ニ刻苦勉業勞働シタリトテ家政ハ如何チ顧ミザルキハ恰モ底ナキハ桶ニ水ヲ盛ルカ如ク到底其効果ヲ見ルベカラズ入ル者ト出ル者ト同一ナラシムハ何レノ時カ餘殘ノ存留スベキヨシ一家ノ主人タルモノ非常ノ才能ト學識ヲ兼有シ戶外百般ノ職務ニ勉勵ナルモ一家生計ノ方法ヲ等閑ニシテハ大ニ富資ヲ作ルテ到底覺束ナク假令一時富チ得ルアルモ之ヲ永遠ニ維持スルハ愈難カルベシ故ニ永久ノ富貴ヲ欲セバ先ヅ一家ノ桶ニ質素儉約ノ底ヲ籍メ而シテ後ヲ注

クニ勤勞ノ結果ヲ以テスベシサレハ初テ思ハシキ好果ヲ見ラルベシ其進捗甚タ遅々タルガ如シト雖モ塵積テ山ヲ爲シ點滴江河ヲ作シル節儉ノ効力ハ案外ニシテ實ニ莫大ナルモノナラン

今試ニ一市邑若クハ一町村ニ金滿ノ名アル富家ニ就キ如何ニシテ富貴トナリタルヤ之ヲ維持スルニハ如何ナル方法ヲ以テセシカチ問ハハ蓋シ大ニ悟ル所アラシ其家累代ノ主人必スシモ衆人ニ卓ヘテ事ニ敏捷ナルニ非ズ又他人ニ擢テ、勉業ナルニモアラザレトモ唯祖先以來質素儉約ノ方法ヲ立テ代々能ク其志ヲ繼承シタルカ然ラサレハ當代ニ至リ家政ヲ改良シテ非常ノ節儉ヲ行フタル結果ニ非ルハナシ

世間富家ノ倒ルル古來其例ニ乏シカラズ而シテ其原因ヲ問ヘハ決シテ一時ニ非常ノ損耗ヲ醸セシニアラズ只家政ノ不始末ヨリ漸次ニ家産ヲ消耗シタルナリ何時盡キルトナク消へ去リタルナリ蟻穴能ク堤防ヲ潰シタルノミ家政不取締ノ弊實ニ恐レサルベカラズ新ニ家ヲ興

シ又ハ昔日ノ富有ヲ維持シ益々之ヲ増殖シタルモノト雖モ前ト同様
俄ニ多分ノ利益ヲ占得セルニ非ズ只始終怠ラス微村頭尾家業ヲ勵ミ
節儉ヲ守リ所謂勤儉ノ功ヲ積ミタル迄ナリ然ラバ即チ一家貧富盛衰
ハ分ルル所ハ只家政ノ一事家事經濟ノ一點ニアリト云フモ誣言ニ非
ルベシ

世間多少ノ學才ヲ備ヘ稍事理ニ明カナル人ニテモ兎角右ニ述ヘタル
眞理ト事實ヲ了リ得ズ家政ヲハ實ニ瑣末ノ事トシテ輕率ニ看過シ質
素儉約ハ到底大富ヲ作シ能ハサル者ト誤想シ貧富ハ全ク先天ノ幸
不幸ト信シテ怪マズ自ラ奮發シテ富ヲ握ラントハ企テサル者多シ或
ハ偶々之ヲ了知スル者アレハ則チ其進歩ノ緩慢ナルニ耐フル能ハス
一擢千金一時万金ハ僥倖ヲ恃ミテ輕薄者流ノ浮言ニ惑ハサレ不熟練
ノ投機ナドニ從事シ却テ非常ノ損失ヲ招キ遂ニ一生ノ目的ヲ誤ル者
蕩々タル天下比々皆之レナラサルハナク幸ニ運強ク冒險偶中スルモ

速ニ得タル富ハ身ニ附カズ只一夜ノ春眠ニ佳人ト際會シタルヲ夢ミ
タルト同一般唯一時ノ富豪ヲ蒙ルニ過キズ忽チ舊時ノ狀態ニモ立
チ超ヘタル貧困ニ陥ルハ免ルベカラサルノ事實ナリ左レハ富貴ヲ作
リテ之ヲ維持シ増殖セシムルノ道ハ質素儉約ノ外ニ其法アルマシク
質素儉約ニ由テ積ミ上タル富貴ニ非レハ一朝ニ土崩瓦解シ去リテ到
底永久ニ富貴ノ德澤ヲ蒙ル能ハザルベシ
抑一家ノ費用ハ番ニ衣食住ノ入費ナルノミナラズ交際臨時費用等無
益ナルカ如キノ費用モ多クナラシト雖モ質素儉約ヲ爲シテ實際
ニ其効ヲ見ルベキ重ナル者ハ衣食住ノ費途ニアリテ存ス衣食住ハ人
生ノ必要ナル所ニシテ一日モ欠クベカラサル者ナレトモ家事ヲ取ル
モノノ練巧ト注意ニヨリテ其費額ニ非常ノ減省ヲナスベキナリ臨時
其他ニ費ス所ノ者ハ假令一時ニ多額ヲ要スルモ稀有ノ事ニシテ而モ
其多費ニ懲リ之カ爲メ却テ可成丈ハ是等ノ冗費ヲ省略スベキノ念慮

ナ發シ且ツ他事ノ省クベキハ之ヲ減シテ前ノ費用ニ補償スルヲアリ
 テ左程恐ルベキ者ナラシ
 然レトモ衣食住ニ關スル小費ニ至テハ即チ然ラズ殆ト日々ノ事ニシ
 テ其度數ノ多ク爲ニ其費用ノ一目ヲ見レハ實ニ些少ニシテ意ニ介ス
 ルニ足ラサルモ百ト積リ千ト嵩メハ其費額實ニ驚クベキニ至ルモノ
 ナリ左レハ假令一握ハ消炭一椀ハ冷飯モ之ヲ疎略ニセズ山間ニ住ヒ
 テ薪炭ハ入用ヲ儉約シ河邊ニ居テ水ハ用量ヲ省略スル程ハ心掛ヲ以
 テ細大一切ノ家事ニ注意シ冗費ヲ省キ濫用ヲ節シ質素儉約ノ主義ヲ
 取リテ一家ノ財政ヲ整理スルキハ生レナガラノ不幸者モ忽チ幸福ノ
 佳域ヲ占テ富貴ノ樂園ニ逍遙スルニ至ルヘシ
 然ルニ若シ點ニ心付カス只妄リニ當世ノ風潮ニ浮サレテ質素儉約ノ
 主義ヲ忘レ徒ニ一朝ノ富貴ヲ求テ家事ヲ省ミサルトキハ結局其目的
 ニ達セサルノミナラズ且初メハ富貴ナリト雖モ瞬時ニシテ難澁ノ巷

ニ沈ミ貧賤恢復スヘカヲサルノ深淵ニ陥ルヘシ實ニ人ノ貴賤貧富其
 地位ヲ換フルハ十數年ニ過キス知ラズノ間後ヨリ願ミレハ驚ク
 ヘキ變更ノ形蹟アルヘシ社會ニ立テ立派ナル運動ヲ爲ス者ハ其用意
 トシテ資本ヲ作ル爲メ先ツ其微ヲ慎ミ注意ノ上ニ注意ヲ加ヘ綿密ノ
 上ニ綿密ニ爲シ細大ノ家計ニ組漏ナカラント務ムヘシ
 最後ニ一言注意シ置カサルヘカラサルヲハ他ニ非ズ吝ト儉トノ區別
 之レナリ已ニ反覆陳辨セルガ如ク節儉ハ富貴ヲ爲スノ道ニシテ人ノ
 尤貴重スベキヲナレドモ兎角實際ニ真正ノ節儉ヲ履行スル人ハ少シ
 偶々節儉ノ大切ナルヲ悟リ自ラ儉約ヲ勉ムル積リナル人ノ所爲ヲ視
 ルニ往々節儉ト吝嗇トノ分界ヲ誤リ衣食住ノ必要欠クヘカラサル者
 迄チモ省略シ只一心ニ金錢ヲ囊底ニ蓄積スルヲニノミ熱心シ少シモ
 有益ナル事ニ使用セントハセズ甚シキハ貯金ノ漸次増殖スルニ從ヒ
 貧慾益增長シ遂ニ内ハ家族ノ凍寒飢渴ヲ省ミ外ハ世間ノ義理人情

生計上ノ事

ヲ捨テ恬トシテ顧ミサルモノアリ世ニ吝嗇家守錢奴ト稱スルモノ即チ之レナリ此等ハ假令何程富有タリトモ只一己ノ卑劣心ヲ満足セシムルニ過キズ世ニ利益ナキハ勿論人タルノ義務ヲモ全ク忘却シタルモノト云フヘシ

然レモ真正ノ節儉ナル者ハ如此變屈ナル者ニ非ルナリ不都合ナル者ニ非ルナリ先ツ自家ノ地位ト家産ノ如何ヲ省ミ衣食住ノ費用其他ノ事項ニ付キ其當ニ費スヘキ者ト費ヤスニ及ハサル者トチ分別シ身分ニ應セル衣食住費ハ勿論其他ノ必要費チハ支出シテ毫モ之チ吝ムナク不急不用ノ冗費ナレハ厘毛タリトモ之チ省キ且ツ徒ラニ時間ヲ費スル常ニ無用ノ物ヲ轉シテ有益ニ之チ利用シ同一ノ事ヲ爲スニモ他人ノ之ニ費スヨリナルタケ寡少ノ時間ト金額ヲ以テ能ク爲シ遂クルチ云フナリ決シテ利慾ニ耽リ私情ヲ逞クシテ唯金錢ヲ貯フルノ謂ニ非ルナリ

生計上ノ事

以上予輩ハ勉テ茲ニ節儉ノ必用ヲ辨シタレトモ集ムルハ散スルノ基本集メテハ散シ散シテハ集ムル之レ經濟ノ要旨予ノ意志固ヨリ集メ集テ只堆積スルヲ望ム者ニハ毫末之レナケレハ讀者又此點ニ注意シテ吝嗇ノ混合ナカラソ一切望ニ堪ヘサルナリ

今少ク項目ヲ分テ生計上ニ于テ注意ヲ述ブヘン

自己ノ收入總額ヲ知ル必要 吾人が日常細大ノ費目一切ノ仕拂ハ皆吾人ノ收入ヨリ拂出スモノナリ人ニヨツテ其費用ノ差收入ノ違コソアレ所得ヲ以テ支出ニ充テサル者ハ天下一人モ之レナカルベシ

或一種ノ定職ニ從事シテ若干ノ月給ヲ受取ル者ハ別ニ收入ノ高ト云フ程ノモノハナク只月給何圓トアレハ收入モ其月給限リナリ年俸若干圓ナレハ又其レ丈ナリ別ニ諸方ヨリ彼此ノ收入アルベキ者ニ非ス

從テ收入額ハ一目瞭然タルベシ

乍去若シ其人ニシテ一方ヨリハ何圓他方ヨリハ若干土地ヨリノ收入

生計上ノ事

幾何公債証券ヨリ家賃ヨリ何程ト色々分レ居タランニハ先ツ其收入
 總額ヲ知ル一ハ大必要事件ナラン若シ收入ニシテ其額分明ナラズン
 ハ從テ幾何ヲ生計ニ費シ幾何ヲ交際ニ幾何ヲ何々ニ投ズベキヤ少シ
 モ目宛ナシ預算ヲ立ツル一ハ到底出來難カルベシ
 兎角人生ハ贅澤ニ流レ易キモノナレバ若シ其收入額ノ果シテ幾何ナ
 ルヤヲ知ラズ只妄リニ若干額ナラント預想シテ生計ヲ爲シ交際ヲ行
 ヒ居タラシニハ必ス使ヒ込ミトナリ忽ニシテ不足ヲ來シ大ナル不都
 合ヲ醸スニ至ラン
 總テ收入額ヲ勘定スルニハ現ニ入り來ル者ノミニ限ルヘシ若シ未來
 ニ取り得ルト云フカ如キ不確實ナル金額迄其内ニ計算シタランニハ
 計ヲサル喰違ヲ生スル一アルヘシ
 収入ノ種類如何ニヨリテ家計ヲ異ニス 先ツ現收所得高ヲ精査シ
 次ニ未來ノ收入ヲ計算スル一モ亦甚必要ナリ而シテ人々ノ收入中ニ

生計上ノ事

ハ永久變動少キ者ト變動測ルヘカヲサル者トハ二種アルヘシ故ニ其
 性質ノ如何ニヨリテ又其心得ナカルヘカヲス若シ其收入ニシテ何時
 變更スルヤモ計リ難キ者多キカ或ハ其類ノ收入ノミナラシメバ家計
 モ亦大ニ節減シ收入多キ間ニ貯蓄シテ收入大ニ減スルノ日ニ備ヘカ
 ルヘカヲス全ク收入之レナキニ至ラバ如何トハ覺悟迄モ爲シ置カカ
 ルヘカヲス又收入ニシテ大概確實其財產モ不動産ニシテ年々一定ノ
 收入アラシニハ左程嚴シク節減主義ヲ取ラストモ之ヲ投シテ以テ自
 己周邊ノ物品器械費等ヨリ書物費等ニ充テ若シハ交際費ナドニ投シ
 テ全ク地位ヲ高ムル一ニ尽力スルモ妨ナカルベシ
 要スルニ自身ノ能力學術腕前ニヨリテ得ル收入ハ随分變動勝殊ニ官
 吏ノ俸給ノ如キハ餘リ頼ミトスルニ足ラス危險ノ分子多キ者ナレバ
 此類ノ收入ニ食ム人ハ收入多キノ日ニ何心ナシ驕リ散ラサバ一朝電
 線斷切シ去リテ收入ノ源泉全ク乾涸シ一家又饑餓ニ瀕スルノ「うき目」

ヲ見ルコト無シトモ云ヒ難シ平生用意シテ貯フル所ナカルベカラズ
生計費預算方法 土地ト云ヒ家屋ト云ヒ公債証書銀行會社ノ株券
ト云ヒ貨物貨弊各其品種コソ異ナレ之ヲ所有スル人ノ利用如何ヨ
リテ年々多少ノ收入アラサルハナク全ク財産モナク收入モナキ者ニ
テモ日々受クル所ノ給料若クハ日々ノ賃銀ハ其人ノ收入ナルヘシ吾
人ハ此收入ニヨリテ若干ノ支出ヲ爲サザルヘカラス收入幾何アレハ
支出若干昨年ノ支出ハ幾何ナレハ今年ハ幾何圓ヲ用スルヤチ定ムル
即チ之レ預算ナリ

元來收入支出ハ一年內ト雖モ時ニヨリ多少ノ増減アル者ナレバ年首
ニ於テ一年中ノ出入金額ヲ若干ト確定スルハ少ク困難ナルヘケレト
モ從前來數年間ノ出入ヲ計算シテ一ヶ年收支ヲ平均算出セハ大概ハ
目安ハ立ツチラシ之ニ加フルニ今年ハ猶若干ノ收入アルヘキニ付キ
內幾分ノ積立金ト天災疾病死亡等臨時ノ豫備費ヲ引キ去リ支出幾何

ト限ラサルベカラザルヤ大凡ノ預算ヲ立テシハ容易ノコナルヘシ然
レドモ此預算モ時ニ間違ナキヲ保スヘカラサレハ寧ロ前年ノ收入ヲ
根據トシテ今年ノ支出ヲ限リ今年ノ收入ニ由テ明年ノ支出ヲ立ツル
トトモハ實ニ萬全ノ策ナルヘシ若シ夫レ斯ル預算案ナク欲スル儘ニ
支出シテ年末ニ至ラバ必ス負債ヲ生スルカ所有財産ヲ減スルニ至ル
家政整理ニ於テ先ツ一着歩ニ注意セサルベカラサル者ハ精密ナル預
算案ナルベシ

衣食費 今日ハ日進文明ノ世ノ中ニテ事々物々雜々極メ殊ニ先進
者有力家ハ交際モ頻繁ナレハ後進者ノ能力如何ヲ知り之ヲ使用スヘ
キヤ否ヲ定ムルニモ一々丁寧ニ交際シテ後チ之ヲ決スル者ニ非ス先
ツ見掛ニヨリテ一概ニ判斷スル有様ナレハ外觀モなか／＼其人ノ品
位ヲ左右スル程勢カアル時代ト云フヘク外貌ヲ維持セシムルハ後進ニ
取リテ大切ナル事柄其影響ハ蓋シ少クニ非ルヘシ

衣服ハ實ニ人ガ他人ニ接シテ第一ニ目ニ觸ルルモノナリ感スルモノナリ其餘リ醜キハ何ントナク先方ノ感觸ヲ害シ嫌惡ノ情ヲ引キ起スベケレハ策ノ得タル者ニハ非ルベシ然レモ吾人ハ固ヨリ外貌ノ犠牲トナリ衣服ノ奴隸トナルベキ者ニ非ス收入ノ過半ヲ投シテ之レカ爲メ只狂奔スベキ者ニ非サルナリ殊ニ從來交際シタル人若クハ餘リ外貌ノ美ヲ好マサル人モアルベケレハ妄リニ裝ハハ却テ擯斥ノ源トモナルベシ又如何ニ繕タリトテ腦中ノ空虚ヲ掩蔽シ得ル者ニ非スいつしか破綻ヲ現ハスノ時アリ却テ愈不信用トナルベシ

蓋シ外貌ヨリ生シタル信用ハ淺はかナリ頼ムニ足ラサルベシ然レトモ他人ノ信用ヲ得ンニハ必ス其人ニ觸レサルベカラス假令其人ト共ニ居リ共ニ働ク程ノ事ナキモ共ニ語り共ニ談スル位ノ事ハナカルベカラス共ニ談スルニハ其人ニ近寄ラサルベカラサルハ勿論近寄ンニハ先ツ當初先進者ニ近寄ルモ先方ノ心持ヲ害セサル程ノ身持風儀ナ

カルヘカラス壘々乎トシテ喪家ノ狗ノ如キ体裁ニテハ何人モ面會スルニ於テ己ニ快カラサラン况ンヤ胸中打解テ信用ノ成リ立ツオヤ兎角相方ノ間ニ不快ノ感アリ輕蔑ノ念横ハリテハ信用ノ成立望ミ難シ此點ニ於ル掛引又難哉

然ラハ収入ノ幾分ハ衣服ニ投スルモ不都合ナキモノナルガノ間案起ラン然レモ之ハ今一言入下ニ定ルモノニ非シ各人ノ狀況ニ因リテ大ニ差別アルベク要スルニ先方ノ位地ト氣風如何ニヨリテ衣服モ美ナラサルベカラサル様ニモナリ自身ノ財囊ト自ラ執ル事業ノ如何ニ由リテ別ニ立派ナル衣服ニ非ストモ不都合ナキ事トナルナリ或ハ政略アリテ大ニ美ヲ飾ル者モアラン或ハ後日ノ盛飾ヲ望ンテ今日ハ粗服平氣ニ擔ヘ込ム人モアラン其詳細ハ讀者ノ方寸ニ殘シ置クベシ

食物ニ至テハ別ニ他人ニ關係アル者ニ非レハ只身体ヲ養フニ足ラハ其レニテ差支ナカルベシ

此點ニ關スル費用ノ議論ハ要スルニ各人ニ由テ差別アルヘキモノノ衣服身ありノ説ト大差ナカラシテ讀者參考スル所アルヘシ
●不用ノ物品 ●一切必用ニ非ルヲ省キ徒ニ消費スルヲ止メ分外

ノ華美ヲ避クルハ節儉ナリ買フ物ノ如キハ用ニ供スレバ足レリ餘分
ヲハ要セザルナリ縦ヒ之ヲ買フ價ハ廉ナルモ不用ナル物品數額迄餘
計ニ買ヘハ即高價ノ物ニ當ルナリ少シク不用ノ物ヲ買フニ始リ大ナ
ル贅澤ニ至ル差シ當リ入用ナラサル物ヲ買フ積ンテ癖習トナレハ
一種ノ奢侈ト云フヘシ謹マサルヘケンヤ

西哲シセロハ曰ク

物ヲ買フ狂癖ナクンハ利息ヲ有スヘシト

蓋シ世ニ物ヲ買フ癖好アル人アリ常ニ曰ク茲ニ驚クヘキ廉價ノ物アリ買ハサルヘケンヤト而シテ何ノ用ニ供スルヤト問ヘハ即チ曰ク目下入用ナルコハ非ズ然レモ他日必ズ之ヲ要スルノキアルヘシ云々ト

蓋シ又物ずきノ限リト云フヘシ甲ハ支那ノ古器ヲ買ヒ集メ其室恰モ
店舗ノ如ク乙ハ書畫ヲ好ンテ費ス所萬金終ニハ他人ノ金ヲ借ルモ猶
古物骨董ヲ弄ハントスルニ至ル
或曰ク古器類ハ大ニ人心ヲ愉快ナラシムト
予輩ハ如此人ニ向テ又説ク予輩ハ欲セサルナリ人生ノ快樂豈斯ル古物
ヲ眺メテ古器ヲ愛玩スルノ外他ニ之レ無ルヘキカ考ヘノ据ヘ様思ノ
置キ加減ニヨリ人生百般ノ事皆之レ快樂ナラサルハナシ然ルチ只今
日數万ノ財ニ誇リ器物以テ他人ニ驕ラントスル者ハ如キ殆ント談ス
ヘキノ限リニ非ルナリ只予輩ハ兎角世ノ富豪家ニ如此キ類ノ人物多
キチ社會ノ爲メ殘念ニ思フ而已人間高尚ノ快樂ヲ知ラサルチ其本人
ノ爲メ氣ノ毒ニ感シテ止ム能ハサルナリ
若シ青年ニシテ一旦斯ル變癖ヲ生センニハ自家百般ノ改良ヲ施スヘ
キ様ナク地位ヲ高ムルナドハ思ヒモ寄ラヌ事トナルヘシ

虚飾ノ弊 風俗流行ヲ追フハ世上一般ノ有様ニテ甚シキハ只此
 事ノミニ狂奔スルモノアリ風俗ト云フ者ハ之ヲ能ク々々考フレバ實
 ニゆわれナキ者ナレトモ其勢力甚大ナル者ニシテ人間許多ハ尊貴
 ナル志向ヲ息メ節儉ハ行爲ヲ妨ゲ自任獨立心ヲ減損スルヲアリ蓋シ
 自己ノ眼ヲ用ヒスシテ他人ニ見ラルル如何ヲ問ヒ自己ノ心ニ謀ラス
 シテ他人ノ心ニ如何ニ思ハルルヤ如何ニ批評セラルルヤヲ問フノミ
 自ラ立ツチ恐レ自ラ考ヘ自ラ行フチ恐レテ已カ後ノミヲ顧ミ前ニモ
 進マス上チモ望マス自己ノ精神ハ全ク消ヘ去セ身ヲ舉テ風俗ノ奴隸
 ト爲シ流行ヲ逐フニ日モ亦足ラサルハ實ニ憐レナルヲニシテ笑フヘ
 キノ沙汰ト云フヘシ
 虚飾ノ節儉ニ背キ實利ニ合ハサルハ勿論ナリ青年カ立身ノ當初要ス
 ヘキノ費多ク尙研究スヘキノ學術事業モ少カラサルヘシ然ルニ其収
 入チハ少シモ此點ニ投入セズシテ全ク流行費ニ投シタランニハ如何

自己ノ學識増加セサルハ勿論次第ノ退歩スルニ至リ殊ニ流行チ
 逐フノ人ハ其心意ニ甚タ卑劣ナル所アリテ已ニ獨立心ヲ害シ不羈ハ
 氣象ヲ失ヒタルモノナレハ到底發達ノ望ミナカルヘシ
 予輩ハ常ニ虚飾ノ弊ヲ忌ンテ止マサルナリ此頃之ヲ矯正スルノ方法
 ハナキヤト思案中一策ヲ得タリ則チ他ニ非ス其人ノ財産収入ヲ額上
 ニ明記シ若クハ門戸ニ張ルヲト爲サハ如何咄又快ナラスヤ
 現金仕拂ノ利 冗費ヲ節セント欲セハ總テ買物ハ現金仕拂ト爲ス
 ヘシ方今世間ニ行ハルル便法通帳ヲ以テ買物ヲナスハ此原則ニハ反
 シモノナリ
 現金仕拂ノ利一ニシテ足ラス
 第一金錢ニハ必ス利子ハ添フモハナリ誰レカ無利息ニテ之ヲ他人ニ
 貸スモノアラフヤ貸賣ノ物品ヲ購求セハ必ス此便利ニ對シテ償フ所
 ナカルヘカラス借リタル代價ハ即仕拂期限迄或ル金額ヲ借リタルト

同様ナレハ商人ハ必ス利子ヲ執ラサルヘカラス從テ貸賣ノ物價ニハ相當ノ利足ヲモ含ミ居ルモノナルヘシ左レハ現金仕拂ト爲スニ從テ此利子ヲハ全ク仕拂ハスシテ可ナルモノト知ルヘシ

又現金ヲ以テ物品ヲ購フキハ商人モ其仕入直段迄ハ薄利ナリトモ賣捌クヘク時宜ニ依リテ金融ノ都合ヲ計リ原價ヲ欠クモ賣捌クヘシ故ニ掛買ニ比スレハ大ヒニ廉價ヲ以テ購求スルノ利益アリ

第二無用ノ物品ヲ購求セサルノ利アリ通勘定ナレハ其當時金ナクモ買ヒ得ルト云フ自由ナル點ヨリ必用欠クヘカラサル程ニ非ル物モ之レハ便利ナリ之レハ面白シナト云フテ遂ニ無用ノ貨物ヲモ買フヘシ商人ガ通勘定ノ危険ヲ冒シテ猶貸シ賣リスルモ花主ガ冗品ヲ購得スルノ多キ利アレハナリ

又物ヲ買フ必ス現金ヲ以テ仕拂フトセハ常ニ其價ノ高キヲ思ヒテ容易ニ買ハントモセズ且ツ現金ニ拂ヒ出スヲナレハ物品ヲ求メントス

ルニ當リ其要否ヲ調査スル正確ニ且ツ物品ノ可否ヲ吟味スルニモ注意厚カルヘシ

又今日ノ諸入費ヲ今日ニ償ハスシテ之ヲ異日ニ延ハスノ不可ナル言ヲ待タスト雖モ殊ニ今日奢靡ノ費ヲ將來ノ負担ニ歸センノ不利ハ甚シト云フヘシ人ノ費用ハ地位ノ高マルニ從テ次第々々ニ増加スヘキモノニシテ將來ニハ又其時ニテ負担スヘキ費多カルヘケレハ今日ノ費ハ今日ニ於テ必ス拂ヒ置カサルヘカラス

殊ニ掛買ハ人ノ心ヲ害スルモノナリ心配ヲ増スモノナリ期限ニ於テ之ヲ返却シ得ルモ猶我心ニ介ン我意ヲ累ハスヲ少々ニアラザルナリ思ヒ寄ラサル時先方ヨリ要求ヲ受クレハ已ニ折角企テタルノ業ヲモ抛棄敗滅セシムルノ憂ヲ免レ難ク或ハ難苦勉勵ノ蓄積モ一朝奪ヒ去ラルルノコアレハ蓄財ノ銳氣ヲ害スル又少カラサルヘシ

掛買ト雖モ亦決シテ輕蔑スベカラス之ヲ等閑ニ付スレハ次第ニ堆積

シテ一家傾覆ノ端トナリ根虫能ク樹幹ヲ枯朽セシムルヲアルヘシ通帳ヲ利用シテ定リナク貨物ヲ購ヘントスルハ己ニ自家ニナキ資力外ニ飛シテ不相應ノ買物ヲ爲サントスルモノ贅澤ノ沙汰ナリ若シ自身カ自身ノ分限ニ應スル買物ヲ爲スモノナレハ手元ニ資本ノナキ筈モナケレハ從テ通帳ニテ買物ヲ爲シ惜財スルノ必要ナカルヘシ現金ニ購求スル人ハ蓄積スル人ナリ克己ノ念アル人ナリ遂ニ富裕ニ達スヘキ人ナリトハ吾人ヲ欺カザルノ言ナルヘシ

●小買ノ不利 ●家費ノ幾分ヲ節スルニ甚タ容易ノ法アリ即問屋ハ卸賣物ヲ買フ之レナリ吾人日常要スル所ノ雜品ハ毎日之ヲ小賣商人ニ命シテ時ヲ違ヘス吾カ家ニ持テ來ラシムレハ便利ハ即チ便利ナリト雖モ彼往復ノ勞自ラ其價ヲ貴フセン商人ハ何ノ利益モナキニ存んやり車輛ヲ備ヘ手代ヲ雇テ商店ヲ開キ貨物ノ運送ニ奔走スルモノナランヤ市内ハ遞送費申シ請ケズ御命次第物品差出スベシ手代ヲ遣ハ

スナド云フハ徒ニ花主ヲ誘フノ甘言ニ過キサルノミヨシ別ニ遞送費若干トテ金圓ヲ求ムルヲナキモ貨物ノ代價中ニ隱然加ヘ置クヤ必然ナリ故ニ各種ノ貨物殊ニ要用ナル物品ヲハ一度ニ其機ヲ見テ卸賣商ヨリ購求スルトセハ小賣商ヨリ求ムル代價ヨリモ幾分カ減スベク然ラサルモ多少ノ差アルベキハ明白ナル事實ナリ

然ラハ此方法ニヨリテ生スルノ餘金ヲ轉シテ儲金銀行ニ貯蓄セハ年期毎ニ利ニ利ヲ加ヘテ知ラズ々々ノ間資本増殖ノ一快事ヲ得ヘシ卸賣物ヲ買フノ利未タ之ニ止マラサルナリ多額ノ金圓ヲ一度ニ費スハ人ハ熟考スルトニシテ之ヲ購フハ必ス緊急ナラサルヘカラス加之卸賣物ハ即時拂チ要スルカ故ニ之ニ拂フヘキノ金員ヲ用意セサルベカラズ之ヲ備ヘンニハ先ツ其他ノ諸費ヲ節セサルベカラズ之レ又一ノ利益ト云フベキナリ

或ハ云ハシ今日一己ノ少年ガ僅ニ家族的ノ生活ヲ爲スニ至リ家計モ

豊ナラサルノ際一度ニ卸賣物ヲ買ハバ望ムベクモアラズト如何ニモ尤ナル言ナリ然レトモ予ハ此等ノ人ニ向テ強テ小賣物ヲ廢シテ卸賣物ヲ求ムル様勸告セントス其利ハ己ニ述フルカ如ク殊ニ卸賣物ヲ買ハントスレハ其金員ヲ預備スル爲メ平生心掛テ無用ノ費ヲ省クハ即チ所謂節儉ノ方法ヲ教ユルモノハニ貯蓄ヲ實行スルモノハ間接ニハ其功實ニ少カラサレハナリ

買物ノ時機 百般需用品ノ價ハ時々浮沈アリテ而モ各品其昂低ノ時節ヲ異ニスルモノナレバ常ニ市場ノ景況ヲ察シテ之ヲ買込チ時機ヲ誤ルベカラズ固ヨリ腐敗スベキ損耗スベキ品或ハ然ラサルモ其價格ニ非常ノ變動アル物ハ入用毎ニ買入ルベシト雖モ總テ必用ニ切迫シテ俄ニ之ヲ求ムレハ物品ノ良否ヲ見分ル違ナク價モ亦不廉ナラン且ツ前ニモ述ベタル如ク小買ハ多量ノ買入ニ比スレハ幾分ガ其割合高價ナレバ必要品ニシテ多量ヲ要スル米穀薪炭等ハ其價ノ尤低落セ

ル時機ヲ察シテ多少買ヒ置クヲ宜シトス

仮令米穀ハ保存方ニヨリテハ幾分ノ損耗ヲ生シ且其價モ變動常ナケレトモ平年ナレバ收穫末秋ヨリ來春二三月頃迄ハ通例低價ナレハ此際少ク買ヒ込マハ可ナラン梅雨ノ候ヲ貯へ越ササレハ左程虫ニ食ル様ノ事モナカルベシ

薪炭ハ冬寒已ニ去リ温暖ノ候需用漸ク減スル頃買入ルベシ左スレハ夏期ヲ經過シテ十分乾キタルモノヲ用ヒ得ベシ

衣服ト雖モ亦然リ炎熱ノ夏日ニ際シテ急ニ單物ヲ造リ寒風肌ヲ裂クトテ綿入ノ支度ヲ爲シテハ不經濟ノ至リナリ其時候ニ先ツテ能ク用意スル所ナカルベカラズ

其他百般ノ器械等亦然リ徒ニ倉卒ノ買入チ爲サスシテ成ルベク徐ニ其代價ヲ尋チ諸所ノ價格ヲ對照シテ何處ノ果シテ廉ナルヤチ知り且ツ時機ヲ察シテ買ヒ込ムベシ

然レモ購買ノ時機察セサルヘカラズトテ只買置クハ一方ニ偏シ徒
 ニ多量ノ物品ヲ貯ヘ或ハ事業ノ資金迄ヲ殺キテ之ニ充テ金利ノ如何
 ニモ拘ハラズ澤山ノ買物ヲ爲シ之ヲ据ヘ置キテハ其損失大ナルヘシ
 故ニ買置ヲ爲スニモ其品現價ト後日上ルヘキ大概ノ價格トノ差違ト
 金利ノ割合トヲ對照シテ考フル所アラサルヘカラス
 買入ノ場所 物品ノ買入ヲナスルハ企業者ノ多キ場所ニ於テ購求
 スヘシ企業者ノ多キ場所ハ互ニ競争シテ品物ヲ撰ミ直段ヲ勉強スヘ
 シ
 物品ヲ求ムルニハ其地ニ於テ十數年營業セル有名ノ店舖ニ付テ爲ス
 ヘシ品物ノ數額ノ多クレハ之ヲ擇ムニ自由ナルヘク價格モ確然一定
 シ居レハ詐偽ニ遇フノ憂ナク信用之レ重ンスレハ決シテ不都合ナル
 所行ハ爲ササルヘシ
 之ニ反シ只賤價ニ戀々シテ競市露店行商等信用モナク身元不憚ナル

者ヨリ物品ヲ求ムレハ騙欺ノ奸策ニ陥ル危險アルヘシ殊ニ金銀珠玉
 等ノ如キ高價ナル者ハ眞價ヲ判定スルニ於テ十分注意スル所ナカル
 ヘカラス
 適當ノ價格 物品ヲ買フニ念ヲ入レテ吟味スヘキハ勿論其價ハ果
 シテ其貨物ニ適當スルヤ又考フル所ナカルヘカラス世人ノ物品ヲ求
 ムル其品ノ世間相場モ其眞價モ知ラス只代金ノ高低多少ニヨリ物品
 ノ良否ヲ臆測判斷シ或ハ我意ニ適シタリトテ妄リニ買込ミ或ハ其直
 段ヲ敵シカ如キ買方ヲ爲スモノモアリ何レモ其宜キヲ得タル者ニ非
 ルナリ
 固ヨリ日用品ハ千種万類ニシテ且毎時價ニ浮沈アルモノナレハ一品
 一物ヲ買フ毎ニ其代價ノ當否ヲ檢算スルハ甚タ煩シク又實行シ得ベ
 シモ非レドモ平生心掛テ何品ニ限ラズ貨物ノ精粗良否ヲ鑑定スベキ
 眼力ヲ備ヘ事ノ序ニハ諸方ノ市店ニ付テ相場ヲモ聞キ折ニ觸レテハ

生計上ノ事

他人ノ買ヒ收メタル物ノ直段ヲ問合セ彼此對照シテ世間普通ノ價格
 ナ心得居ルコトハ大切ナル事柄ニシテ左スレバ買ヒ被リ等ノ弊ヲモ免
 レ得ベキナリ
 買物ヲ爲ス時ノ心得 買物ヲ爲スニ二度考フベシトハ多クハ冗費
 ナ免ルル規則ナリ市中へ買物ニ出掛クル前ニハ先ツ買入用物品ヲ定
 テ行クベシ決シテ瓢然通行中見付タル物ヲ直ニ買フベカラズ物ヲ買
 フニモ其物ニシテ貯へ得ベクンバ一度ニ澤山買フモ可ナリ幾何カ價
 安カラン
 自身ノ爲メ或ハ一家ノ爲メ何品ニテモ買ハントスルキハ先ツ此品ナ
 シテハ問ニ合ハヌヤト自ラ自心ニ問ヒ見ルベシ左スレハ往々今買ハ
 ントセシ品物モ不用トナリ些少ノ面倒サへ忍ベバ其用モ從前ノ品物
 ニテ十分ナルコトアリ此自問法ハ殊ニ品物ノ廉ナルヲ見テ切りニ買ヒ
 度シト思フキ試ムベシ殊ニ貨物ノ價非常ニ低廉ナル場合ニハ其質ノ

生計上ノ事

不良ナル事多シ如何ニ商人ノ口上ハ甘ケレバトテ左様ニ安ク賣リ得
 ルモノニ非シ
 反物ノ色合織方等ハ容易ニ似セラルル所ヨリ外見ヲ立派ニシ專ラ廉
 價ニ賣ラントスル者ナレバ真正ノ品ヲ得ルニハ十分注意スル所ナカ
 ルベカラズ
 又度量衡ノ器械ニヨリテ賣買スル物品ハ購買ノ際往々詐欺ヲ逞クス
 ル商買アルガ故ニ能ク注意シテ奸策ニ陥ルベカラズ繁忙ナル商家ニ
 アリテハ假令有心故造ノ詐欺ヲ爲ササルモ取扱ノ混雜ヨリシテ多忙
 ノ際過誤失錯ナキヲ保セズ故ニ賣買約定ノ結了スル前ニハ必ズ其品
 ノ種類多寡等ヲ點檢スベク其精否ヲ吟味シ見ルベシ
 受取証 總テ金圓ノ仕拂ヲ爲スキハ拂ヒ出ス前ニ先ツ其金額ノ多寡
 ナ調へ間違ナキヤ否ヲ儘メテ渡シ一般ニ受取証ヲ取ルコトナスヘシ
 又金ヲ受取ルキハ先方ノ目前ニ於テ貨幣ノ眞價數額ヲ計フヘシ已ニ

其座ヲ離ルレハ如何ナル事アリトモ到底先方ニ取り買チ求ムヘカラ
 ス爲ニ意外ノ損失ヲ蒙ルコトアリ
 又端書手紙等ノ類ニテモ受取証ニ類シタルモノ若シハ品物掛買ノ代
 價等總テ證據類ニ屬スル者ハ其用ノ終ル迄大切ニ保存シ置クテ宜シ
 トス
 ●●●
 日記 日記ト云フモ毎日起リタル方般ノ出來事ヲ記録スルト云フ
 ニハ非ス茲ニ只日々ノ費用ヲ記録スルモノト知ルヘシ
 日記ヲ記スルニ一ノ要旨アリ其精確之レナリ若シ折角之ヲ記載スル
 モ事實其眞ヲ保タズンハ何ノ功カ之レアラン間ニ合セ体裁繕ヒノ物
 ハ殆ント無用ナリ
 而シテ其精確ヲ保ツニ法アリ何ゾヤ曰ク金錢授受ハ際ハ何程繁忙ナ
 ルモ如何ナル用事アルモ其都度先ツ金錢ニ手ヲ觸レサル前ニ之ヲ記
 録スルコト之レナリ昨日受取リタルヲ今日ニ記入シ午前ニ仕拂フタル

チ午後ニ記載スルガ如ク後ヨリト次第ニ記憶ヲ逆起シテ之ヲ記
 録スルコトセハ其眞正ハ保シ難ク疎略脱漏ハ免レサルヘシ之ヲ延ハ
 ス人ハ事業ノ眞先ニ之ヲ記スルハ煩シトノ口實ナランナレトモ寧ロ
 煩ヲ除カントシテ煩ヲ重ヌルモノト云フベク殆ント自記ノ功テ欠ク
 モノナリ
 斯クシテ一家費用ノ出納ヲ確實ト爲セハ一家ノ整理ニ自ラ便利ナル
 ノミナラズ己ノ收入ニ不相當ナル贅澤奢侈ヲ爲シ度シトノ慾念モ自
 然抑制セラレ勢ヒ節儉トモナリ行衛知レサル浪費ヲ爲スコトハ勿ルベ
 シ
 兎角世人ハ帳簿ノ肝要ナルヲ知レトモ其煩ヲ厭ヒテ之ヲ等閑ニ付ス
 ルモノ多シ惜ミテモ猶餘アルコトナリ社會ニ立テ活潑ナル運動ヲ爲
 シ高尙ナル地位ヲ占ン爲メ素力資本ヲ貯ヘントスルモノ此點ニ欠ク
 ル所アリテハ万般節儉ノ實行モ擧ラズ財政ノ困頓引テ活潑ナル精神

ナ攪乱スルニ至ルベシ能ク注意スベキ事ナリ
結算精確ナルベシ 日記ノ煩ヲ厭フナク録スベキハ以上ノ如シ

然レトモ猶云ハサルベカラサルヲアリ如何ニ日記ハ精密ナリトモ其
計算ニシテ精確ナラス從テ如何ナル費ニ幾何ヲ費シ何等ノ項目ニ若
干ヲ費シタルヤ各費目ヲ計算シテ其鈞合ヲ知リ必要費何程贅澤費若
干ト其現象一々精密ニ知ル事ナクハ日記ハ効亦擧ラサルナリ只日
ヲ逐フテ次第ニ記入シタリ其寫真一覽要領ヲ作クリ自ラ後日ノ
爲ノ考フル所ナク屢計算シテ記憶ヲ新ニシ注意ヲ憾起スルヲナク
バ日記ニシテ而モ日記ニアラサルナリ

余輩ハ日記ヲ實行セサルノ人多キヲ知ル日記スルモ只記シタルノミ
ニテ其決算ヲ爲ササル人亦多キヲ知ル日記ハ無用ナリト云ハ予輩
ハ又何ヲカ云ハ予輩ハ只日記ノ一部ヲ爲シテ一部ヲ欠キ計算精確
ナラサル人ヲ憾マサルヲ得テ兎角此類ハ人山間僻邑地方ニハ尤多キ

ガ如シ爲ニ少ク決算ヲ實行セラルル様勸告セサルヲ得サルナリ
僕婢雇入及取扱法 僕婢ハ直接ニ主人ノ命ヲ奉シテ一家日用ノ事
務百般ノ執行ニ當ルモノ殊ニ下婢ノ如キハ飲食物ノ取扱庖厨ノ世話
ヲ爲スモノナレハ其人ヲ得ルト否ハ大ニ一家ノ經濟ニ關係アルベク
先ツ之ヲ雇フニ於テ大ニ撰擇ニ注意シ決シテ其出生由來ノ詳カナラ
サル者ヲハ雇ヒ込ムベカラズ

- 一 本人ノ性質
- 二 父母ノ性質
- 三 父母ノ業務
- 四 其家貧富ノ度

等ハ宜ク預メ知ルベキノ條件ナラン僕婢ヲ雇フモノハ先ツ精々手ヲ
盡シテ右ノ諸點ヲ慥ムベシ
本人ノ性質善良正直ナラザルベカラザルハ勿論ナリ父母ノ性質ハ遺

傳ニ由リテ子孫ニ傳フルモノナレハ之レ又知ラサルベカラズ父母ニシテ盜僻アレバ兒女又其惡癖アルハ予輩ノ日常經驗スル所ナリ父母ノ業務ノ如キハ固ヨリ重大ナル點ニハアラン然レトモ人ノ習慣ハ又業務ニ由リテ形作ラサルモノニテ細密ナル注意ヲ用スル事業ヲ取ルモノハ自然注意深カキ習慣ヲ得從テ其子女ガ粗漏ナルヲ誠ムルハ自然ノ事實ナレバ聊カ注意スベシ

貧乏ノ度ト云ヘハ少ク奇怪ナルカ如ク人ノ僕婢ヲラントスル者カ其家ノ貧窮ナラサル筈ハナシ然レモ貧ニモ其度アリ非常ニ赤貧ニシテ洗フカ如キ者ハ大ニ排斥セサルベカラズ

元來人ノ性質ハ其人周邊ノ狀況ニ由テ變化淘汰セラル、者ナルカ故ニ貧ニ生活スレハ又自ラ貧乏臭ク其心行キモ惡クナリ不都合ナル癖習ヲ生シ手癖ナドモ兎角宜シカラサルモノナレバ餘リ困窮者ノ兒女ハ避ケサルベカラズ

殊ニ下女ノ如キハ主人ノ不在中ハ一人ニテ家ニ留ルヲモアリ百般賄上ノ費用ヲ預カルヲモアレバ心バハ正直ニシテ品行嚴確ナラサルヘカラズ然ラサレハ經濟主義ニモ合ハズ又一家ノ面目ヲ失スルガ如キ不都合ヲ引起スヲアルベシ然レモ本來他人ノ僕婢トナル程ノ者ガ財ニ裕ニ性質ノ善良ナラシハ容易ニ望ミ得ベキ事ニアラザレハ之ヲ取扱フニ其宜キヲ得テ以テ満足スル所ナカルヘカラズ

僕婢ヲ取り扱フニ其要訣アリ思ひやり之レナリ力ヲ以テ人ヲ服スル者ハ心服スルニ非ス力足ラサレバナリ徳ヲ以テ人ヲ服スルモノハ中心恬テ其命ニ奔ル威服ハ一時ナリ目前体裁上ノ從服ノミ恭順ノミ永久ノ真相ニ非ルナリ

主人ニシテ其主人タルノ威ヲ借リテ只不都合ナリ不注意ナリト譴責シタラシニハ僕婢ハ心服セサルヘク主人ノ前ニ額首シテ他方ニ懶惰ナルヘシ殊ニ心小キ婦人ナドヲ餘リ叱咤シテ其考ノ序ヲ失シ愈惑乱

シテ沈着スル所ヲ知ラサシメ過失ヲシテ愈多カラシムルハ策ノ得
 タルモノニ非ルナリ僕婢ニ對シテハ十分ナル所爲ヲ望ムヘカラスト
 ハ主人ノ宜ク銘スヘキ言ナルヘシ

若シ僕婢ニシテ其性戻リタラシムルハ譴責セラレタルヲ遺憾ニ思ヒ立
 腹ノ餘殊更ニ過失錯誤ヲナシ懈怠シ不注意ヲ働クナキヲ保セス爲ニ
 非常ナル不都合ヲ生シ結局主家ノ損失ニ歸スルモノナリ

僕婢ヲ取り扱フニハ須ク十分寛大ナルヘシ其惡ヲ懲サシヨリハ善ヲ
 勸メ其失ヲ責シヨリハ其得ヲ賞シ罪ノ疑ハシキハ決シテ問フナク
 功ノ疑ハシキハ擢シテ之ヲ賞スヘシ要スルニ彼等ヲシテ常ニ愉快
 ナル心持ニテ働キ得ル様取り扱フヘキナリ

其他云フヘキ注意猶之レアレバ數限リナキコナレハ茲ニ筆ヲ擱クヘ
 シ要スルニ節儉ト云フコト標準トセハ足ルナリ十分ナリトス

第五章 日用簿記

●日用簿記ノ必要 計入限書ノ趣旨ニヨリ家政ヲ管スルニ尤肝要ナ
 ル者ハ家内日用簿記ナリ此帳簿ハ即細君カ時々良人ヨリ受取リタル
 金額ト其仕拂額及仕拂ノ摘要ヲ帳記シ又其費目ヲ類別シテ一ヶ月又
 ハ一ケ年間出納ノ實際ヲ明瞭ナラシムルノ法ニシテ家計上一日モ無
 ルベカラサルモノナリ

尤少年世渡リノ始ニテ未ダ妻モナク兩親ヲ養フニモ及ハサル獨身者
 ハ全一ヶ月ノ収入ヲ以テ細君ガ良人ヨリ受取リタル金高ト同一様ニ
 取扱ハバ不都合ナカルベシ

前月又ハ昨年ノ資金收入若干ニシテ其費途幾何先月ノ出納ハ如此前
 年ノ出納ハ如此クナレハ今月本年ハ斯ク爲ササルヘカラストナド既往
 ノ出納如何ヲ省ミテ將來ノ方針ヲ定ムルニハ日用帳簿ニ依ラズンバ
 爲シ能ハサルナリ

已ニ日記即日用帳簿ノ大切ナルハ前章ニ於テ纒陳^{ちん}シタレバ茲ニ其實^{じつ}例ヲ舉クヘシ

日用簿記實例

家費日記帳

月日	摘要	金額	合計
二月一日	玄米	二石拾圓廿錢	
二同日	醬油	三升	
五同日	足袋	十足壹圓九十八錢	
七同日	小鯛	五尾	
十同日	拾藏 斬髮代	十錢	
計		拾三圓十九錢	
十同日	坐敷修繕大工手間代	七日分 三圓五十錢	拾三圓十九錢

日用簿記

同同日	同木材	壹圓十二錢	
同十五日	白木綿	壹反	
同十五日	堅炭	十俵	
同十七日	中皿	五枚	
同十九日	洗濯石鹼	壹箱	
同二十日	拾藏 學校用紙	十帖	
同同日	障子紙	五十枚	
同同日	計	拾圓	
同同日	牛肉	壹斤	
同同日	ねぎ	二錢	
同同日	坂本氏へ出産見舞紅木綿壹反	九十五錢	
同同日	下女給料	當月分 七十五錢	
計		八十九錢	

日 用 簿 記

同	廿一日	牛肉	一斤	二十錢	十一圓	三十一錢
同	同	ねぎ		二錢	十一圓	三十三錢
小	計			十一圓	三十三錢	十一圓
						三十三錢

百二十八

日	月	住	費	金	額	合	計
十二	月	座敷修繕大工手間代並材木		四	圓	六十二錢	四
同	十五日	堅炭	十俵	四	圓	八十二錢	九
同	十七日	中皿	五枚		二十錢	九	圓
同	二十日	障子紙	五十枚		八錢五厘	九	圓
同	廿五日	下婢給料	當月分		七十五錢	十	圓
同	同	區入費	當月分	壹	圓	二十錢	十一
小	計			十一圓	六十七錢	五厘	十一圓
							六十七錢
							五厘

日 用 簿 記

日	月	交	際	費	金	額	合	計
廿二	月	杉本氏出產見舞紅木綿				九十五錢		九十五錢
小	計					九十五錢		九十五錢

日	月	臨	時	費	金	額	合	計
廿八	月	藥代			三	圓	卅	錢
二	月				二	圓	卅	錢
小	計					二	圓	卅
								卅

日	月	教	育	費	金	額	合	計
廿二	月	學校用半紙				廿三錢		廿三錢
同	月	同	月謝			五十錢		七十三錢
廿八	日					七十三錢		七十三錢
小	計					七十三錢		七十三錢

百二十九

記簿用日

月日	雜費	金額	合計
一月	拾藏 斬髮代	十錢	
二月	洗濯石鹼	二十五錢	
三月			
四月			
五月			
六月			
七月			
八月			
九月			
十月			
十一月			
十二月			
合計	計	卅五錢	卅五錢

明治何年々未表

記簿用日

月日	教育費	臨時費	交際費	住費	賄費	衣費	費
一月							
二月							
三月							
四月							
五月							
六月							
七月							
八月							
九月							
十月							
十一月							
十二月							
合計	錢七十三	三二〇圓	錢九十五	六七一圓	三十一圓	八二四圓	

差引	元受取高	合計	雜費
一三五圓	三十三圓	二十九圓八五	錢三十五

實例説明

● 第一日記帳
 日記帳ハ日々金銭仕拂ノ都度直ニ之ニ記入シ其摘要ハ十分精密ナルヲ要ス

● 日記帳中小計ノ如キハ必スシモ十日毎ニハ限ルモノニアラズ一日ノ出納甚タ頻繁ニ其月夥多ナル所ニテハ毎日之ヲ計ルモ可ナリ隔日ニ算スルモ妨ナシ五日若クハ月ニ二回ニテモ不都合ナシ只費目ノ多少如何ニヨリテ期限ヲ伸縮スルノミ但シ餘リ永クシテ費目ノ數五十以上ヨリ何百ト云フ程ニ上レバ其計算聊カ面倒ナレバナルベク費目ノ

賄費教育費交際費等何レモ前例ニ同シケレバ又賈スルニ及ハザルベシ

日 用 簿 記

シ
 雜費トハ字ノ如ク何々費トテ別ニ類別スルニモ及ハス月ニ一度若クハ二ヶ月ニ一度許リノ費ヲ雜駁ニ記載スルモノナリ
 第四年費表 是レハ一ケ年間家費出入ノ景況ヲ一見判然タラシムルモノナリ其方法ハ前例ノ如キ表ヲ作クリ各目欄下ニ其月各目合計費ヲ記シ次第ニ記載シ進ンテ其合計高ヲハ合計欄内ニ記スベシ之レ取リモ直サズ其月諸仕拂總高ナリ
 次ニ其月ノ元金受拂帳ノ受取金高項内比較總計ノ部ニ記載シアル金高ヲ元金受取高ノ欄内ニ記シ差引ノ欄内ニ元金受拂帳差引殘金ヲ記スルモノナリ
 斯クシテ該年十二月末ニ至リ各目欄内ニ出テタル合計高ハ即其費目一年内ノ總金高ニシテ合計欄内ノ合計額ハ十二月間ノ總費用ナリ

日 用 簿 記

而シテ十二月ノ元金受取高ヨリ十二月ノ月費合額ヲ引キ去リタル差引殘金ハ翌年ニ廻ス線越高ト知ルベシ
 第五財産帳 以上日用帳簿類ノ外別ニ財産帳ヲ製シ食物薪炭等ノ消耗品ヲハ全ク之ヲ除キ既有又ハ次第ニ購求スル地所家屋公債証書等大額ノ諸財産ヲ類別シテ明記シ之レヲハ全ク日記帳簿ト別物ト爲シ此帳簿ニ記スルモノハ別ニ日記ニハ記入セサルトシ年末別ニ計算シテ其後額變動ヲ見ルベシ
 右ノ諸帳簿ハ總テ現金ヲ以テ買物ヲ爲スノ趣伺ナリ然レドモ若シ止ムトナリ得ズ債買ヲナストアラハ其價銀ヲ仕拂フタル日附ヲ以テ記入シ置カハ不都合ナカラシム
 或ハ云ハシ 如此日用簿記ハ簿記ノ原則ニモ適セス精確モ保シ難ケレハ其功益ハナカルベシト
 如何ニモ尤ナル攻撃ナリ予輩ト雖モ簿記學ノ原則ニ適セストノ攻撃

日 用 簿 記

ハ避クベカラサルヲ知ル然レトモ不慥ナリト云フニ至テハ何故ニ然ルヤチ知ル能ハサルナリ予輩ハ複式簿記ノ實ニ緻密ニシテ精確ナルヲ知り又政府用銀行會社用ニハ甚タ適當スルヲ知ル然レ之ヲ民人普通ノ日記ニ充テハメタレハ如何衣食住雜記ノ用ニ供セバ如何世間一般ノ女子ニ扱ハシメバ如何予輩ハ其容易ニ解シ難キヲ知リテ到底日用ニ供フル能ハサルヲ信スルモノナリ

予輩ハ固ヨリ前例ヲ以テ簿記ノ原則ニ叶ヘルモノトモ完全ナルモノトモ思ハサルナリ然レトモ其原則ニ叶ハズシテ不完全ナルコト却テ女子日用ノ實際ニ適スルヲ信スルナリ寧ロ簡單ニシテ行ハレ易キヲ信スルナリ世間實ニ簿記ノ原則ヲ知リ完全ナル記録ヲ作ラント思フ人アラバ外ニ相當ノ書籍アルベシ予ハ只家政上婦人カ日用ニ供シ得ベク些少ノ出入ヲ記スルニ利便ナル簿記實例ヲ取テ此法ガ世間普通ニ行ハレシテ希望シタルナリ完全ナルモノカ少數ノ人ノ間ニ行ハ

邸

宅

第六章 邸宅

ルヨリ少ク足ラサル氣味ニテモ實用ニ不足ナキモノ多數人ノ間ニ行ハルル方社會ノ爲メ甚便利ナルヲ信スルナリ論者以テ如何ト爲ス

● 自宅所有ノ損益 十分ノ資力アレハ自宅ヲ有スルニ優ルヲナシ便ニシテ快樂モ多シ加フル借家ハ家賃甚タ多シ自宅ナレハ租稅諸般ノ掛リ修繕費等ヲモ要スレトモ家賃ノ半分許リニテ大概可ナラシ今日通常二年三年若クハ四年位ノ屋賃ヲ合算スレハ其家ヲハ自ラ建築シ得ル代價トナル有様ニテ家賃ハ其割合甚タ高シト云フベシ殊ニ邸宅ヲ有スルモノハ常ニ之ヲ修繕スルノ重荷アリ自ラモナルベク手ヲ盡シテ体裁ノ宜カラシムヲ欲スレハ他ノ請賣ヲ節減スルトモ家屋ノ改良ニ之ヲ投センヲ欲シ從テ無形の節儉ノ良習慣ヲ得ヘシ

邸

宅

加之家宅ヲ有スレハ其心常ニ安泰ニシテ定期ニ家賃ヲ拂フノ煩ナク
 家主ニ壓制セラルル心配モナク不意ニ轉居ヲ命セラルルノ恐レモナ
 シ一修ヲ施シ一繕ヲ加フル毎ニ皆己レノ有ナレバ家宅ヲ裝飾スルハ
 勿論家宅ヲ有スル爲ニ人ノ信任ヲ厚クシ品位ヲ崇ムルハ直打アルハ
 ク殊ニ商業社會ナトニテハ信用ハ初トナルヘシ世間百般保証人ニ家
 宅ヲ有スル者云々ノ語アルヲ見テモ知ルヘシ
 然レ氏幾何ノ收入アレバ自宅ヲ有スヘキカ收入ノ幾分ヲ割テ家屋ノ
 費ニ投スヘキヤ其標準ハ容易ニ立テ得ヘカラサルナリ外面ヨリ一寸
 考フレハ邸宅ヲ買フヘキノ資金ヲ別ニ有シ他ニ負債ノ係累ナキ者ハ
 之ヲ買フノ資格アル如シト雖モ之レ決シテ然ラズ單ニ負債ナクシテ
 些少ノ餘金アリトモ一朝災害ニ遭遇セハ如何此際其餘資ヲハ全ク家
 宅ニ投シテ不意ノ手宛トモ云フヘキモノナクシハ甚タ憐レナル状態
 トナリ或ハ朝ニ之ヲ買ヒ夕ニ之ヲ賣ラサルヘカラサルヲナキヲ保セ

邸

宅

サルヘシ餘裕ノ全部ヲ投シテ直ニ邸宅ヲ求ムルハ少ク大早計ト云ハ
 サルヲ得ス
 殊ニ自宅ヲ有スレハ又火災風害ノ虞アルヲ豫算セサルヘカラス保
 險會社ニ加名スレハ若干ノ辨償ハアルモノノ其幾分ニ過キス其他一
 切ノ資財器具擧テ灰燼トナリ烏有ニ歸ス其損害ハ又現然ト目ニ見ヘ
 サル所ニ於テ著大ナルヘシ故ニ能ク此災ニ堪ヘ且ツ其他疾病等不意
 ノ出來事ニ關スル用意モ備ハリ多少ノ災難アリタリトテ容易ニ家宅
 ヲ賣リ拂ハストモ維持シ得ル者ニテ初テ家宅ヲ有スヘキ資格アリト
 云フベシ
 猶自宅ヲ有スルニ於テ心得サルベカラサル要件アリ 家宅ヲ求ム
 ル爲メ自己事業ノ資本必要ノ財産ヲ減少スベカラサルヲ之ナリ兎角
 社會出陣ノ初青年ハ資本少クシテ己ガ意志ヲ満足セシムル能ハサル
 一多シ一方ニ伸レハ他方ニ縮ミ東ニ擴張スレハ西ニ屈曲ス唐突家ヲ

百四十
 求メテ自己出精ノ方便ニ供スヘキ資本ヲ減シ一騎當千ノ功ヲ立ツヘ
 キ機會モ些少ノ資本ナキ爲メ見スノ失ヒタル例少シトセズ家宅ヲ
 求ムルニハ頗ル熟考スル所アルヘシ從テ予輩ハ些少ノ餘裕ヲ全然投
 入シテ家宅ヲ求ムルノ危殆ナルヲ勸告セサルヘカラス
 月賦購求ノ利否 尙一層危險ノ甚シキモノアリ即チ家宅ヲ求ムル
 二月賦ヲ以テ代價ヲ償却スルノ法之レナリ此方法タル金錢ヲ得レハ
 得ルニ從テ浪費シ兎角貯蓄スル能ハサル人ニハ好方法ナラン速ニ返
 却シ終ラントスルノ心ト事業ニ勉勵スルノ念節儉ノ志ヲ刺衝シテ止
 マサレハ浪費ヲ節シ儉約蓄積スルノ習慣ヲ引キ起サシムベシ假令中
 途ニシテ己ミ己ニ拂ヒ込タル金ヲ失亡スルモ唯浪費スル者ヲ止メテ
 家宅ニ使用シタル者ニテ餘計ニ損失ヲ爲シタル譯ニハナク若シ幸ニ
 償還シ終レハ實ニ無キ以テ有ト爲シタルモノト云フベシ
 然レドモ常ニ節儉ノ習慣ヲ有シ前ニ述ヘタルカ如キ壓制ノ誘導ヲ用

セスシテ儲蓄スル人ニハ此方法ハ宜キヲ得タルモノニ非ルナリ此法
 ニヨリ自宅ヲ求メ初メタル中途自ラ死亡スルカ或ハ自己ノ收入全部
 若クハ過半ヲ減シ到底月賦金支出ノ法ナキハ己ニ拂ヒ込ミタル金
 ナ捨テ面シテ其家ヲハ求メ能ハサルベシ但シ死亡シタル場合若シ生
 命保險會社ニ同盟シ居レハ其收得ニヨリテ拂ヒ得ルカ如クナレ其
 收得ハモト遺族生計ノ手宛ナレハ之ヲ以テ家ヲ買フ譯ニモ行カサル
 ベシつまり損失ニ歸スルヲ免レヌ要スルニ危險極ル方法ナリ
 家宅ノ場所 各人ノ身分ト職業トニ由リテ異ナレドモナルヘク高
 燥ニシテ濕氣ナキ土地ヲ撰ムヘシ若シ濕地ナレハ第一健康ニ害アリ
 其他柱根ヲ腐ラン壁面器什ニ黴ヲ生シ衣類ニ汚點ヲ發スル等永年ノ
 損害幾許ナルカ知ルヘカラス
 飲水ノ可否ハ又非常ニ衛生ニ關係アルヘケレハ其宅地近傍ニ清水ア
 リヤ否ヤ之レ又知ラサルヘカラス

邸

宅

人ハ隣人ニヨリテ淘汰サレ變化サルルヲモアリ殊ニ兒童ナドハ近隣ノ風習ニ染ムモノナレハ孟母三遷ノ例ニ從テ不都合ナル風俗厭フヘキ習慣アル所ハ又之ヲ避ケサルヘカラス爲ニ其近隣ノ風俗職業等ヲ知ルハ大切ノ事柄ナリ、

水難火難又察セサルヘカラス一旦ノ暴雨ニ流漲スル如キ河川ノ近傍ハ尤宜シカラス近隣火ヲ失スレハ茅屋軒ヲ並ヘ瞬間數百戸ヲ延焼スルカ如キ地方ニテハ假令自宅ハ堅固ニ土造煉瓦造ト爲スモ時々類焼ナキヲ保シ難ケレハ可成如斯危險ノ場所ヲ避クヘシ

家宅ヲ求ムルニ付テノ諸心得 尙注意ヲ要スルハ將來價格ノ増加スル望アル地ヲ擇ムベシ主人没シ宅地賣却ノ必要起ルヲモアリ假令死去セザルモ不意ノ出來事ニテ之ヲ所有シ難キヲモアレハ之ヲ賣却スルニ價昔日ニ倍スレハ大ニ都合宜ク或ハ遺族ヲ憐恤スルノ一助トナルベシ

邸

宅

家宅ノ場所ハ若シ次第ニ隆盛ニ赴キ市區増加スル傾キアル都會ナレハ市外若干ノ距離アル地ヲ占ムベシ市ノ中央ハ其價已ニ高點ニ達シ之ヨリハ下落スルトモ騰貴スルヲハナカルベシ市場ノ變遷市區ノ改正ナドニヨリテハ隨分下落スルヲアルハ吾人ノ日常實見スル所ナラズヤ然ルニ都市近傍ニテ其價モ廉ニ未タ世人ノ餘リ氣付カザル所風光ノ宜キ地又タハ運輸ノ便宜シキ場所ナドヲ買ヒ置ケハ後日大ニ利獲アルベシ商業家製造家代言人等凡テ早晚富貴タラントスルモノ競フテ購買スルニ至リ地價ノ騰貴スルハ必然ナリ

斯ル土地ヲハ手廣ニ之ヲ求メテ他日分割スルニ妨ナキ様家屋ヲ建設シ置クベシ左スレハ別ニ家宅地全体ヲ賣ラズトモ其一部ヲ割キ賣ルヲ得ヘク又便利ナルヘシ

家屋ヲ修繕シ又ハ新築スル場合ノ心得 家屋ヲ修繕シ又ハ新築スルニ當リ職工ト爲ス所ノ約束ハ極メテ確實ナラザルヘカラス然ラサ

レハ計ラサル損失ヲ釀スヲアルヘシ其約定方法ニ二種アリ
 第一種ハ先ツ初ニ作爲スヘキ工事ノ區域ヲ定メ職工ニ全任シテ若干
 圓ト限ルヲ俗人ニ渡シト云フモノナリ
 第二種ハ工事ノ區域ニ拘ハラズ唯若干ト定メタル日給ヲ以テ工人ヲ
 雇入ルナリ俗人ニ之ヲ入リト云フ
 今兩法中何レカ尤可ナルヤト云ヘバ蓋シ一得一失相互ニ殆ント相似
 タリ之ヲ約束シテ渡シ爲セバ豫算ノ費額ニ超過スルヲ少ク且工夫
 ノ勉業ヲ勵ミテ速ニ竣工セシムルヲ得レトモ兎角工事ヲ疎略ニスル
 ノ弊アルヲ免レズ之ニ反シ入リト爲セバ工事ニハ念ヲ入レテ疎略ニ
 スルノ憂ヒナシト雖モ往々怠惰ニ流レ其上大ニ豫算額ヲ超過スルヲ
 アリ之ヲ要スルニ其時ハ模様假令工事ヲ急シトカ又餘リ急成ニハ及
 ズト云フ如キ狀況ト職人ハ氣風性質如何ニ應シテ能ク其損得ヲ比
 較スベキナリ

第七章 貯蓄

着々論シ來リテ最早貯蓄ノ問題ニ及ビヌ
 貯蓄ノ要 人生ノ世ニ處スル平生ニ於テ臨時非常ノ用意ヲ爲シ置
 カサルベカラズ一時ニ繁榮ノ身トナリタリトテ貧困ナル時ノ事ヲ忘
 レ無事息災ノ日ニ疾病災害ニ罹ルヲ思ハサルハ「淺ハカ」ナル人情ノ
 免レ難キ所ナレトモ若シ眞ニ其心掛ナケレハ一朝不幸ニ際會シ災害
 ニ罹ルキハ其手當ト云フモノハ少シモ之レナク疾病モ治療スル能ハ
 ス手ヲ拱テ死ヲ待ツカ親類知人ニ救ヲ求ルカノ外ナカルベシ斯クテ
 ハ人ノ人タルニ耻ルヲナキヲ得ルカ吾人ハ實ニ平生此日ニ充ツルノ
 用意支度片時モ忘ルベカラサルナリ
 其心掛ハ種々アルベケレトモ先ツ第一無事ノ日刻苦勞働シ平生節儉

ノ美擧ヲ實行シテ稼キ儲タル其内ヨリ少ニテモ貯蓄スルノ外他法アルマシ

貯

右ノ心掛ヲ以テ始ムレハ塵積爲山其初ハ實ニ些少ニテ覺束ナキ事ノ如ク見ユレトモ不知クノ間ニいつしか多額ノ金高トナリ不時ノ用意費ハ愚カ老後ノ快樂自由一方ヲズ他人ノ災害ヲモ救ヒ得ベク次第ニ社會公共ノ事ニモ關係シテ世ノ爲トナリ信用モ得ラレ人望モ集リ次第ニ勢力ヲモ振ヒ得ベシ

蓄

然ルニ世間多クハ其心掛ナク只今日アルヲ知リテ明日ノ事ヲ思ハス得ルニ從テ費シ少モ永遠ノ計ナキヨリ一時金融閉塞スルコトアルキハ忽チ其運轉ヲ失シ復タ如何トモスベカラズ明ル年モ來ル年モ年々歳々只之レ貧ノ一字ヲ以テ身ニ纏ヒ付タル看板トナスニ至ル痛ク戒ムヘキコトナリ

聞ク歐洲ニ在テ獨逸佛蘭西等ノ人ハ概チ安樂ナル生活ヲ營ミ他人ノ

貯

蓄

救助ヲ乞フ者杯ハ殆ント稀レナル程ナリト又米國ノ如キハ新開國ナルヲ以テ貧富變遷ノ度非常ニ活潑ニシテ毎年破産スルモノ其數數萬戸ナレト多クハ投機又ハ事業上ノ損失ニシテ決シテ贅澤奢侈ノ爲メ破産スルモノハ嘗テ一人モナシト然ルニ我日本人ノ如キハ起業心ニ乏シク其破産零落スルモノハ多ク家政ヲ治ムルノ力ナキニヨルモノトス豈ニ慨嘆ニ堪ヘザラヤ抑其國ノ地味日本ノ如ク肥沃ナルニ非ス又氣候温和ナルニ非ス然ルモ猶如此立派ニ獨立ノ生計ヲ營ミ其國ノ繁榮進歩スルハ專ラ勤儉ノ心強クシテ他國人ノ及ハサル勞動ヲ爲シ勞後ノ爲ニ節儉貯蓄スルノ風盛ンナレバナリ

夫レ佛蘭西獨逸ノ人民モ同ク之レ人類ナリ米國人モ同シク人類ナリ天ハ人ノ上ニ人ヲ造ラズ人ノ下ニ人ヲ造ラズ幸福モ富貴モ奮勉強シテ吾人ノ取リ次第勝手タルナリ天ハ善ク勤ムル者ニ福ヲ與フ別ニ一方ニ厚ク他方ニ薄クスルノ惡意アルモノニ非ルナリ故ニ吾人ハ宜ク

貯

蓄

此點ヲ顧ミテ他人ノ世話厄介ニナラザル様平生貯蓄セサルベカラズ
 以上ハ一己人トシテ觀察シタルモノナリ今再ヒ社會公共ノ點ヨリ論
 セハ如何又前者ニ劣ラザル必要アルヲ見
 貯蓄ハ經濟上實ニ重要ハ地位ヲ占ムルモノハニシテ資本ハ根源實ニ貯
 蓄ニアリト云ハザルベカス何トナレハ貯蓄ハ資本ヲ生シ資本ハ事業
 ヲ起サシメ事業ハ資本ヲ殖シ此三ツノ者相依リテ初テ其用ヲ爲スモ
 ノニシテ貯蓄ハ實ニ其基初ナラサルベカラザレバナリ然ルニ我國人
 ノ短ナル所ハ此重要ナル質素儉約ノ風ニ乏シク彼ノ諺ノ如ク所謂宵
 越ノ錢ヲ持タヌト稱シテ誇ル程ノ事ナレバ士ハ妄リニ驕奢ノ念ヲ發
 シ農ハ米價ノ騰貴ニ由テ次第ニ贅澤トナリ商工又冒險投機ノ弊習ア
 リ昨ハ富ニシテ今日ハ貧ナリ斯ル主義ヲ以テ社會ニ生活セントスレ
 バ幸ニシテ得ルキハ盛ニ不幸ニシテ失フキハ衰へ盛衰變轉極リナ
 ク社會ハつまり衰態ニ陥ルベシ

貯

蓄

蓋シ今日ノ不景氣ニ陥ル此弊習ノ與ル所實ニ少カラサルベシ故ニ如
 何ナル妙計秘訣アリテ能ク現時ノ不景氣ヲ救濟シ得ルトスルモ惟是
 外貌ハ修飾一朝風雨ハ吹降ニ逢遇スルヤ忽チ舊態ヲ現ハササルヲ得
 ハ相變ハラズハ不景氣ヲラサルヲ得サルナリ
 故ニ經濟ノ要旨タル勤儉貯蓄ノ念慮ヲ養成セステ國力ノ強盛ヲ望
 ムハ尙滋養ノ食物ヲ與ヘスシテ血液ノ欠乏ヲ咎ムルト一般何レノ日
 カ能ク其目的ニ達スルヲ得ル之レ予輩が一己人ノ爲メ社會ノ爲メ貯
 蓄ノ必要ヲ説キ國民ヲシテ先ツ不羈獨立ノ地位ニ立タシメント欲ス
 ル所以ナリ
 青年ガ僅少ナル收入ノ一部ヲ殺テ貯蓄スルハ仲々困難ナレトモ又自
 身ノ決斷次第決シテ爲シ難キニアラズ貯金銀行ペンニ銀行郵便
 貯金銀行等ハ如何ナル小額ニテモ預ルベシ
 生計ヲ爲スノ始メ自身ニ餘財アルト他人ヨリ借金シテ爲ストノ差ハ

非常ニ大ナルモノナリ若シ全ク負債ノミニテ始メタラシニハ其收入モ亦重ニ他人ノ手ニ返ヘササルベケレハ自然勉強心ヲ減シ遂ニ負債ヲ濟シ終リテ自由ノ日ニ至ル迄忍耐永續シ能ハサラマシ故ニ少年ニシテ特別ノ遺産若クハ他ヨリ受取ル金アリタラシニハ決シテ浪費スルコトナク全ク資本トナスベキハ勿論ナリ

或ハ節儉ト吝嗇トヲ混シテ少ク節儉スレハ吝嗇ナリト排斥スルモノアレハ其間自ラ別アリ節儉ノ美德タル又疑ヒナシ

友人ト借貸スベカラズ 友人ノ都合ヲ助クル爲ニモ金ヲ貸サストハ随分意地悪ルキ仕打ノ如クナレハ借手トモ爲ラズ貸方トモナルトトハ至極安全ナル規則ナリ此際遂ニ貸ササレハ借手ハ又如何コカ工夫シテ金ヲモ造リ仕事ヲモ見出スナラシト心易ク交際シタル友人モ金錢上ノ干係ヨリ全ク不和ト爲ルコトアリ尤謹ムベキ事ナリ若シ少年ニシテ止ムヲ得ス金錢ヲ要セハ通常友人ニ行クヨリ而親後見人其

他親戚等總テ關係アル人ニ付キ明白ニ事情ヲ述ヘテ金ヲ借ルコトスベシ然ラハコハ甚タ卑劣ナル獨立心勇氣ナキ仕打ナレハ平生期ル場合ノ用意ヲ考ヘ如何ニ少額ナリトモ節儉シテ銀行等ニ托シ置キマサカノ時ニ用立ツベシ

自ラ受取ルベキ金 給料ニモ貸金ニモセヨ自ラ取ルベキ權利アル者ハ其期限ニ後レサル様屹度催促スベシ世ニハ催促ナトヲ爲ササルヲ以テ太ニ善良ナル事ト思フ者アリ又性質ノ柔弱ニテ催促ヲ爲シ得サル者アレトモ少年ハ宜ク此勇氣ヲ養フベシ假令ハ物品ノ賣價ヲ取リ立ツルトセンモ其期限ニハ大概ノ人ハ用意シ居レハ大ニ取り易カラン又ハ情トシテ永ク期限ヲ隔テ若クハ物品全ク消費シ勞力ノ効能モ全ク忘レタル後ハ却テ金錢ヲ出シ難シ如此勇氣ナキ者ハ常ニ損スルトモ得ルコトハアラシ假令此勇氣アル人ハ直ニ富貴ト爲り得ベシト斷スル能ハサルモ此勇氣ニヨリテ富貴トナルヲ助クルコトハ實ニ少カ

貯

蓄

ラザルナリ
 貯蓄スベキ時期
 世ニハ隨分奇体ナル人モアリ得ル所ハ悉皆之ヲ
 消費シ去リテ其上ニ出來ベキ丈ノ負債ヲ爲シ恬トシテ顧ミル所ナク
 説ヲ作シテ曰ク徒藏ノ金銀ト用ヒサルノ信用ハ自ラ天賜ノ恩惠ヲ棄
 ツルニ異ナラズト是ヲ以テ終身其主義ト爲スモノアリ
 然レモ之レ社會通常人ノ爲ス所ニ非スシテ一般ニ云ヘハ我所得ヨリ
 其幾分ヲ殺テ之ヲ儲蓄シ退テ富者トナリテ人望モ得一市一邑ニ其名
 ナ揚ケ尙ナルベクンバ巨萬ノ財ヲ以テ社會ニ其名隠レナキ運動ヲ爲
 ントノ念慮ナキモノハアルマシ然シナガラ此ノ如キ希望ヲ有スル人
 ノ實ニ夥多ニシテ達スル人ノ實ニ稀ナルハ何が故ゾヤ蓋シ之ヲ遂ク
 ルノ方法ヲ知ラサレバナリ誤レバナリ
 第一儲蓄ノ時期ヲ知ラサルノ之レナリ人常ニ云ヘラク今日ハ未タ窮
 困中ナレハ貯蓄スルトハ到底及ハサレトモ永ク如此クニ窮スルモノ

貯

蓄

ニモアラサルベケレバ何レ其内ニ貯蓄セン數月ヲ經ハ剩餘ヲ爲ス
 少カラサルベシト
 之レ實ニ夢想ナリ誤謬ノ起因ナリ今日之ヲ行フノ難キヲ知リテ他日
 之ヲ爲スノ易キヲ思フハ常人ノ情ニシテ今日ノ窮迫ハ未來ノ窮迫ニ
 比スレハ甚タ急ナル様ノ思ヲハ兎角免レ難シ然レトモ之レ誤リナリ
 將來ノ憂ハ人豫メ之ヲ知ル能ハズ其時ニ至リ其急ニ遭フテ始テ之ヲ
 覺ユルノミ未タ其期ニ至ラサレハ後日ニハ如何ニモ安樂ニ爲ルカノ
 如クニ見ヘ後其實際ニ接スレハ前日ト同様其困難ノ甚シキヲ感スル
 ナリ徒ラニ貯蓄シ得ベクモアラサルナリ如此次第ニ未來々々ト明日
 ニ讓ルノ風習ヲ生スレハ怠慢ノ癖漸ク長シ遂ニ到底貯蓄ノ實行ヲ見
 難カルベシ
 然ラハ即節約ヲ行フニ時アリ目今之レナリ儲蓄ノ必行ヲ期スル者ハ
 必ス今日ヨリ始メ日夜心ヲ蓄積ニ用ユベシ今日之ヲ怠リ明日之ヲ行

貯

蓄

ヒ得ルト思フベカラズ躊躇事ヲ未來ニ延スハ即万事失敗ノ起ル原因ニシテ貯蓄ヲ爲サンニハ奮然果敢ノ氣ナカルベカラズ屢々述ヘタル如ク些少ノ收入ヲ以テ今日ヲ送クル少年カ又貯蓄ヲ爲サントセハ無論嗜欲ヲ節シ快樂ヲ殺カサルヘカラス只一通リノ心持ニテハ出來難カルヘシ予輩少年ガ生涯ノ貯蓄預算ヲ事業社會ニ出ツルノ初既ニ立ツヘシトハ云ハサルナリ何ントナレハ未タ何レノ點ニ漂着スルヤ明ナラサル人ニ漂着後ノ相談ヲ爲スハ少ク迂遠ナレハナリ予輩ハ只ナルヘク完全ナル立派ナル彼岸ニ達スル爲メ贅費ヲ除キテ有用ノ資、ま、さか、ハ場合ニ用立タシム資本ヲ作ラレシムヲ希望シテ止マサルナリ貯蓄スヘキ場合 將來ノ爲メ儲蓄ノ要ヲ感シテ而モ之ヲ行ヒ難キ所以ノモノ其理猶存ス

少額ノ金銭ヲ忽ニスルノ之レナリ囊中數錢ヲ餘スノ此僅々タル數額貯蓄トスルモ面倒ナリ寧ロ手數損ナリ之レ許リノ金ヲ殘シタリト

貯

蓄

テ何ニカアラランちと云ツテ之ヲ捨ツルハ實ニ誤リナリ吾人ニハ實ニ毎月毎日百圓二百圓ノ金ノ手許ニ安然ト残り居ルモノニアラス時々一寸不用ナリト感スル金額ハ何レ二三圓若クハ五十錢以上ノ事多カルヘシ然ルチ之レハ甚々僅少ナリ貯フルモものうし」トテ問フ「ナリ去リ」トテ大額ノ存留スル「ナシ」ハ何レノ場合カ能ク貯蓄シ得ル時ナルゾ須ク如何ニ少額ナリトモ手許ニ残りシ次第之ヲ貯蓄スヘシ

古來蓄積勤儉ヲ以テ富ヲ致スモノ皆些少ノ額ヲ積ンテ其効ヲ奏シタルモノニアラサルハナシ貯金銀行郵便貯金局預金ノ狀況ヲ察スルニ其額ノ少ニシテ其口數ノ多キ實ニ驚クニ堪ヘタリ銀行者カ細少ノ預金手數多クシテ其利子ノミハ別ニ割ニモ合ハサル報酬ナリトモ喜ンテ之ヲ預リ預金ヲ獎勵勸告スルモノ實ニ貯蓄ノ原則タル細微ノ金員ト雖モ忽諸ニ附スヘカラサルノ理ヲ悟リタレバナリ社會公共ノ爲メ

貯

蓄

盡ス所アルナリ
 節儉ノ方法 以上ニ述ヘタル所ハ貯蓄ニ于スル一隅ノ議論ナリ今
 再ヒ小額ノ金員カ貯蓄ノ上ニ於テ如何ニ大切ナルカヲ述ヘン
 抑少額ノ金員ハ常ニ輕視シ易シト雖モ實ハ緊要ニシテ忽ニスヘカラ
 サルナリ少額ノ金員ハ多額ノ金員ニ比スレハ手許ニ殘ル度數モ多ク
 之ヲ貯蓄トシテ財囊中ヨリ引キ去リ若クハ其額丈ニテ爲シ得ル便利
 物品ヲ買フトナ止メ自家從來ノ物ニテ間ニ合セ置クモ別ニ苦ナク不
 都合ナク貯蓄スルヲ得ヘシ一年ノ歲計出入帳ヲ見テ巨額ノ費目ヲ檢
 査シ何レノ項目カ能ク明年ヨリ除キ得ルヤヲ見ントスルモ元來大額
 ナ要スルノ事ハ之ヲ行フノ節已ニ十分之ヲ除クヨニ勤考シタルモ猶
 止ムナクシテ投シタルモノナレハ再ヒ之ヲ節約シ得ル苦ハナカルベ
 シ如何ニ浪費ノ癖アル人ニテモ何十圓若クハ何百圓ト嵩リタル出費
 ナハ少ク考ヘ見ルベシ從テ其帳簿ニ記載セラレタル項目ハ何ノ用モ

貯

蓄

ナキニ投シタル者ニハ非ルナリ
 然レモ日常些少ノ出費ニ於テハ然ラズ只少許リナレバトテ勤考スル
 一モナク氣ノ弛ミモアリ何ノ氣モナク支出シテ遂ニ巨額ニ至ルナリ
 而シ其品ナクシテ如何ニ不便ナルヤ其事ヲ行ハスンハ他ニ工夫ハナ
 キモノニヤト能ク探索スレバ必スシモ左様ニ緊急ナル出費項目
 ニハ非ルナリ己ニ之ヲ費スニモ何ノ氣ナク平氣ニテ知ラズノ間
 ニ費シ積ンテ驚クベキノ額ニ達スルモノナレハ此状態ハ禍ヲ轉シテ
 福トナスノ諺ニ從ヒ些少ノ費ハ其度毎ニ之ヲ除キテ何時貯ヘタリト
 云フ一ナク片々タル積雪能ク山嶽ヲ崩スカ如ク根氣ヨリ蓄積シタラ
 ノコハ數十年一日ノ如ク遂ニ巨萬ノ富ヲ得ベケン
 小額ノ金員ヲ貯蓄スルハ多額ノ金員ヨリ爲シ易キノ理尙一アリテ存
 ス甚タ小ナル快樂奢侈ハ之ヲ節減スル易ク甚タ大ナル快樂奢侈ハ之
 ナ抑制スル甚ダ難シ蓋シ快樂奢侈ノ大ナル者ハ之ヲ欲スルノ念甚タ

貯

著

重キヲ以テ之ヲ制スルハ道德ノ勇氣常人ニ卓越スルモノニ非ルヨリ
 ハ爲シ能ハサルナリ然ルニ其奢侈ノ小ナルモノニ至テハ一時ノ遊嬉
 慰樂ニ過キズ故ニ無用ノ冗費ヲ節制シテ將來ノ隆盛ヲ計ル心掛次第
 出來難キ事ニアラサルナリ
 猶一層精細ニ之ヲ講究スレハ節儉ヲ行フノ方法ハ左ノ四法ニ出テザ
 ルベシ
 其一 汝ノ儲ケタル所ヨリ少ク費ヤスベシ
 其二 物ヲ買ヘシキハ速ニ其代價ヲ拂フベシ
 假令如何様ノ事アリトモ決シテ借財ヲ致スヲナカレ借財ヲ爲ル人ハ
 意ハズモ偽ハリチ好ミテ正直ニ陥ルヲアリ慎シムベシ諺ニ曰ク借
 リタルモノハ還ス人ハ自ラ其身ヲ富スト云ヘリ
 其三 儲ケナラサル利得ヲ前ヨリ當ニシテ金錢ヲ使ヒ込ムベカラズ
 其四 帳簿ヲ作クリ金銀ノ出入ヲ明細ニ記スベシ

貯

著

要スルニ一家經濟ノ主ニ當ル者ハ空ク一物ヲリトモ失ハヌ様ニ目ヲ
 配リ并ニ何物ナリトモ當然ニ用ヒ順序ヲ混雜セザラシムル等大切ナ
 リ
 節儉ノ度 節儉ノ度ハ荒積リニ定ムルヲ得ベキノミ「ベイコン」氏ハ
 出費ハ入金ノ半ニ越ユベカラズト云ヘリ家内ノ人數多ケレハ節儉ヲ
 務メ成ルベク金錢ヲ貯ヘ後日ニ備ヘサルベカラズ仁心アリテ施ヲ好
 ムモ又ハ兒子ヲ教育セント欲ストモ節儉ヲ務メサレハ爲スト能ハサ
 ルベク万事破壊ノ源ナルベシ
 時借ヲ爲スベカラズ 吾人カ日常必用起リテ手許ニ其資金ナキハ
 ハ之ヲ隣人若クハ知人ヨリ四五日ノ間ニ返濟スルトテ暫時借用スル
 モノ之ヲ時借リト云フ
 已ニ述ヘタル如ク吾人ハ平生心掛テ若干ノ必要預備金ヲ置クハ勿論
 ナルベシ左スレハ特別ノ大事不慮ニ越レバ「いざ」知ラズ先ツ大概ナレ

百六十

ハ左程ニ時借ノ必要アルモノニ非ス時借ヲ折々行フハ不注意ノ徵ナリ必要ナリトテ左程必要ニモアラサルニ確カナル吟味モ熟考モ爲サズ思付クニ從テ毎々之ヲ隣人ニ借ルハ甚不都合ナルベシ用意ヨキ人ナレハ時借ノ要ナカルベシ大金ヲ用スルヲ起レハ貯蓄ノ一部ヲ殺テ充ツベク左程ニアラサレハ臨時ノ用ニ供スル様平生所有シ居ル金錢ヲ以テ充ツベシ若シ其レニテモ足ラサレハ時借ヲ爲スハ止メテ買フモノハ買ハズ爲ス事ナレハ延ハスベシ或ハ考一考シテ暫ク經過セハ其事ヲ爲スニモ及ハサルヲアラフ又必ス爲ササルベカラサルモノナレハ自ラ資本ヲ用意シ出來上リテ後着手スベシ殊ニ屢々時借ヲ爲ササルヘカラサル様ニ立チ至ル人ノ如キハ又尤心掛テ時借ヲ爲スベカラズ時借ヲ重スル程卑劣ナルモノハナク不注意ノ極度ヲ表シ不見識極マルモノハアラザルベシ

第八章 貯金利用法

貯金ハ利用シテ増殖スヘシ 予輩ハ痛ク貯蓄ノ必要ヲ辨シタリ然レトモ之レ只貯ヘ置ケハ宜シト云フニハアラサルナリ如何ナル事ヲ行フニモ財ナクンハ行ヒ難ク其財ハ天ヨリ降ルモノニモ地ヨリ湧クモノニモアラサレハ先ツ平生心掛テ少シニテモ餘裕ノアリタランコハ之ヲ貯蓄シ後々ノ用ニ供スベシト云フナリ猶一步ヲ進メテ云ヘハ一家ヲ安樂ニ送り遺産ヲ造ルハ勿論義理モ仁行モ之ニ由テ行ヒ社會ニ頭角ヲ現ハス手段モ亦之ニ由テ立テ社會公共ノ事業ヲモ取り世ニ隠レナキ人トモナラレヨト勸告スルナリ

貯蓄ハ人生ノ目的ニ非ルナリ金ヲ得ルハ吾人ノ希望ニ非ルナリ如何ニ貯蓄シタレハトテ利用セスノハ瓦石ト同一般之レナキモ同然ナリ吾人ハ貯蓄スルト同時ニ又之ヲ利用スルノ方法ニ於テ考フル所ナカルヘカラズ先ツ利用スルノ前之ヲ増殖セザルベカラズ増殖ハ即利用

ノ一端ト爲ルコトモ往々之レアルナリ
貯蓄セラレタル餘財ガ實際ニ働キテ其功ヲ現ハス順序ニ二種アリ
其一 直接本人ノ手ヲ經テ利用サルハモハ
其二 他人ノ手ヲ經テ利用サルモノ
直接本人ノ手ヲ經ルコト尤多キハ商人ナリ餘財アレハ其全部ヲ投シテ
商業ノ擴張新企ノ事業ニ投スルハ事業家商人ノ常ナリ然レトモ予ガ
此著ハ商業家事業者ト有限内ノ人ノ爲ニ設クルモノニ非ス殊ニ商家
ノ餘財運轉ニ付テハ已ニ前編金ニ於テモ述ヘタルコトナレハ知ラント
欲スル人ハ其書ニ付テ見ルベシ
吾人ニシテ社會ニ其地位ナク生存スルモ生存セサルモ世ニ何等ノ關
係ナキ者ナランコトハ人生何ノ愉快ガ之レアララン吾人が社會ニ少シニ
テモ其地位ヲ占ントスルハ又偶然ニ非ルナリ從テ予ハ貯金ハ三分ハ
一位迄ハ直接間接ニ社會ニ頭角ヲ現ハス手段ニ用テ妨ナキヲ信スル

モハナリ要スル餘金ハ一方ニハ其一部ヲ費シ他方ニハ其一部ヲ増加
スル様利用スベキモノト知ルベシ而シテ之ヲ費シテ地位ヲ高ムル手
段ハ已ニ前論シタルハ茲ニ利用増殖ノ方法ヲ講ズベシ
●金●錢●活●用●ニ●當●リ●第●一●ノ●要● 多少ノ餘財アルモノ其人ノ鈍ニ非ル以
上ハ左思右考其増殖方法ヲ考フベシ然レモ之ヲ人ニ問ヘハ其說區々
ニシテ標準トスベキモノハ見出シ難ク疑念愈加フ蓋シ何人ニモ適合
ナル規則ト云フ者ハ容易ニ之レアラザルナリ
只夫レ貯蓄ノ場合ニ於テ如何ニ些少ナリトモ貯フベシト論シタル如
ク少額ノ貯金ニテモ之ヲ其儘ニ捨テ置クナカレトハ固ヨリ新説ニモ
アラザレト表シテ通規ト爲スベキモノナランカ
世ニハ金錢ヲ運用スルノ利ナルヲ知リテ而モ之ヲ運用セサルモノア
リ甚シキハ只妄リニ蓄積シテ毎日庫中ヨリ取り出シテハ算ヘ算ヘテ
ハ又納メ其實物ヲ見其數額ヲ知ルヲ以テ無上ノ快樂トナスモノアリ

貯金利用法

論外ナリ無法ナリ何トモ此輩ニ付テハ云フニ及ハサルナリ之ヲ運用スルノ利ヲ知ル人モ利子ノ多少ニヨリテ彼此述ヘ立テ少ケレバ寧ロ貯藏スルニ如カサルモノノ如ク思ヘリ然レモ之レ誤リナリ吾人ハ食物ヲ喰フノ必要ナルヲ知ル誰レカ其量少シトテ食ハサルニ勝ルト云ハンヤ抛棄スルモノアランヤ六米ノ薄利モ之ヲ据ヘ置ケハ孫兒ノ成年ニ達スル比ニハ元金ノ二倍トナリ一年ニ二回元利ヲ合算シテ改メ儲フルトトセハ三倍トナルベシ預金ノ小ナルモノ寧ロ利アリ何時幾何ハ金ヲ預クル爲メ個様ハ不便ヲ犯シタリト云フ事モナク次第ハ巨額ニ至ルベシ殊ニ貯藏銀行ニテハ半年毎ニ元利改算シ且ツ奇零ハ日數ニ由テ利ヲ附スレハ至極便利ナリ貯金運轉ノ遲速實例 貯金運轉ノ遲速ニヨリ資本増殖ニ大關係アルハ又改メテ云フ迄モナキ事ナルベシ今予ハ簡短ニ其實例ヲ示シテ其影響ノ如何ニ大ナルヤヲ説明スベシ

貯金利用法

●●●●●貯金引出シノ難易何レカ尤利アル ●●●●●貯金ヲ委託スルニハ之ヲ托スルノ後引キ出シ易クシテ手數ヲ要セズ時日ヲ費ササルモノヲ擇ハシカ之ヲ引キ出スノ難クシテ手數モ掛リ且手間取ル者ヲ擇ハシカニツノモノ惟委託者ノ性質ト事情ノ如何ニアルノミ若シ儲蓄ノ念薄クシテ浪リニ費シ易キノ人ハ種々ノ細則アリテ假令入用ノ時ニ際スルモ已ニ一度托シタルモノハ再ヒ之ヲ得ルノ難キ手續アルモノヲ擇ムベシ以上ノ外大概ハ引出シノ容易ナルヲ宜シトス若シ急用アリテ手元金ナク之ヲ仕拂フニ苦ムキ儲金ノ引出シ又難クレハ到底他人ヨリ之ヲ借ラサルベカラズ面倒手數從テ無用ノ消費アルベシ殊ニ儲金ハ利子ハ借りタル金ヨリ割合ハ少キハ勿論ナルベケレハ爲ニ損失スルハアルベシ能ク注意スベキ事ナリ然レトモ世間多數ノ人ハ貯蓄ヲ實行シ難キモノニシテ引出シ方容易

法 用 利 金 貯

ナレハ預ケタル金モ亦忽チ引出スベケレハ儲金銀行ハ大概其引出シ
 方嚴重ナルコト委托者ニモ又利便ナラン
 高利ヲ生スル者ハ危険ナリ
 常六歩五歩ノ薄利ニ甘ンセシテ多額ノ利アル方法ヲ求ムベシ而シ
 テ公債証書府縣公債諸會社株券等ノ如キ一割ヨリ一割五分ノ高利ヲ
 約スルモノアリテ仲買人ノ家ニ彙集ス兎角利ノ多カランヲ欲スルハ
 人情ノ常ナレハ賣手ノ美言ヲ以テ吾慾情ヲ誘導スルアレハ忽ニ眩惑
 サレ之ヲ買ハント欲スルノ念ヲ生スルヤ必セリ
 蓋シ公債株券ヲ廉價ニ求メテ利ヲ得ルハ疑フニ及ハサル如クナレト
 モ社會普通ノ利子五六分ナルキニ際シ八分一割乃至一割二分等ハ高
 利ヲ拂フテ借ザルベカラザル官廳又ハ會社ハ必ズ元金拂ヒ戻シハ確
 ナラズ從テ不信用ニシテ之ニ資本ヲ投スルハ不利ナルハ自ラ明ナラ
 ン若シ斯ル高利ヲ附シテ而モ其事業安全ニ信用厚カラシムハ資本ヲ

法 用 利 金 貯

甘ク投入セント常ニ待チ構ヘ居ル資本家ノ之ニ資本ヲ投セサル理由
 ハナカルベク從テ左様ニ高利ヲ付セストモ信用サヘ立チ居レハ自由
 ニ借り得ベキ筈ナリ
 然ルニ如此高利ヲ付スルハ事業安全ナラサレハナリ世間ノ信用ナケ
 レハナリ故ニ如此公債株券等ハナルベク資本ヲ投スベカラズ
 投機ニ關係スベカラズ 投機ノ危険ナルハ予ノ贅辨ヲ待タサルベ
 シ日々公債株券等ノ賣買ニ從事スルモノ今度ハ十分喰違ナカラント
 信シテ之ニ從事スルモ成効スルハ實ニ甚ク少ク十中八九ハ失敗ス
 ルモノナリ况ンヤ普通ノ商人チヤ况ンヤ普通ノ人々チヤ決シテ成功
 スベキモノニアラサルナリ思ヒモ寄ラヌ無謀ノ舉ト云フベシ
 元來投機ナル者ハ天幸時機重リ來ラヌニハ正中セサルモノナリ文明
 日ニ進ミ社會ノ事物漸ク複雑トナルニ從ヒ貨物市場ノ變動ヲ引起ス
 原因モ繁多ニシテ株券公債ノ昇降變動極リナキ有様ハ到底尋常人ノ

貯金利用法

能ク知り得ル所ニ非ルナリ之ヲ行フテ成功セント欲セハ貨幣ノ理論
モ外國爲替ノ事モ知ラサルベカラズ一國物産其年ニ於ル多少諸般殖
産事業ノ盛衰ヲモ知ラサルベカラズ租税ノ影響モ考ヘサルベカラズ
「あかあか」容易ナラサル事ト云フベシ
猶普通ノ人ニテハ成功シ難キ所以アリ平生此事ニ従フ者ハ常ニ此水
ヲ飲ミ此氣ヲ吸フモノ如何ニカシテ一舉大ニ利スル所アラント四方
八面ニ睨ミ居ルモノナリ其技ハ熟練ヲ極メ其腦ハ非常ニ鋭敏ナルベ
シ此間ニ「う」つかり儲ケ口ハナキカナド稱シ錢ヲ囊ニシテ行クハ恰モ
稱入雜沓ノ間ニ財囊ヲ暴露シテ立ツモノハハ如ク難ナク其間ヲ經過シ
得レハ却テ不思議ナルベシ周圍ノ狡利者流カ飼トナリテ失敗スルハ
必然ナリ
予輩ハ之ヲ聞ク 素人ニシテ投機ニ干係スレハ最初小額賣買ノ節成
功利ヲ搏セシメテ先ツ其心ヲ釣リ次回ニハ一層巨額ヲ投セシメ力ヲ

貯金利用法

盡シテ之ヲ煽動シ而シテ後一握シ去ルト如何ニモ個様ナル事ハ随分
有リ勝ナルベシ
其他投機ニ從事スルノ弊一ニシテ足ラズ先ツ必ず損失スルハ前ニ述
ブル如ク其他投機ニ干係スレハ思ヒ寄ラサル事ヲ爲スモノカナトノ
疑惑ヲ世間ニ引起シ不信用ヲ招クベシ 又投機ニ干係スレハ其干
係シタル間自己正當ノ事業ヲ執ルヲ妨グルハ少カラサルハ妨害ナ
ルニ其他前以テ投機ヲ爲ス勤考用意セサルベカラズ失敗ノ後ニハ相
當ハ始末ヲ付サルベカラズ此間心配少カラシ爲ニ心身ヲ害シ活潑ナ
ル精神ヲ妨ケ自己ノ専門事業ニあきぬけ下ナリ此レヨリシテ又一層
ノ損害ヲ生スベク折角自家ノ事業ニテ儲ケ得ベキ機會ヲモ失ヒ去ル
トアルベシ
殊ニ主人ノ家ニ使用サルル間斯ル事ヲ爲シタランニハ粒々ノ辛苦積
ミ上タル財ヲ失ヒ主人ノ目ニ知レサル様之ヲ隠ス爲メ其上ノ心配一

層甚ク爲ニ主人ノ命令スル仕事ハ甚々忽カトナリ結局發覺シテ不信
 用ノ極主人ヨリ立退チモ命セラルルニ至ル痛ク誠メサルベカラズ商
 業ニ從事シ居ル者ト雖モ投機的ノ事業ニ干係スレハ失敗チ死レサル
 ベシ况ンヤ普通ノ職業アル平人チヤ
 元來投機ニ關係スルモノハ急ニ奇功ヲ奏セシトスルモノ予ノ所謂塵
 積主義ヲ奉セサルモノナリ其心バヘ甚々忌ムベキヨシ株券公債ノ投
 機ヲ爲ササルモ此心ハ遂ニ能ク此人ヲ殺スノ毒水ヲ流ス源泉ナルベ
 シ塵積主義ヲ思ハサルハ事業ニ眞面目ナラサルナリ熱心ナラサルナ
 リ何事カ能ク成効セン
 投機ハ實ニ能ク瞬間奇功ヲ奏セントスル意馬心猿ノ狂奔セル結果ナ
 ルハ一度失敗スルトモ到底其レニテハ落付カズ悟リノ付カサルハ愚
 ヤ再度試ムベシ三度始ムベシ以前ノ失敗ヲ取り返ヘシ猶利セントテ
 一層大額ヲ取り扱フベシ愈進ンテ愈深淵ニ入り全ク溺レ死シテ而シ

テ後止ムノミ財産ノ全部盡キ去ラサレハ底ル處ヲ知ラサルベシ身ニ
 纏フノ襁褓ナク家ニ妻子ヲ養フノ糧ナキニ至テ始テ目ノ覺ムル者ナ
 リ非常ナル克己心アルニ非レハ一度此事ニ關係シタル上ハ赤貧地チ
 掃フニ至ル迄ハ止マサルベシ
 投機ノ貯金本旨ニ背クハ勿論一家轉覆ノ原ナルハ以上述ベルカ如シ
 投機ニ失敗シテ其金額ガ全ク損失ニ歸スル未タ些少ナル害ナリ其弊
 ノ引テ及ス所信用ヲ害シ人心ノ平易ヲ妨ゲルヲ實ニ尠少ニアラザル
 ナリ
 投機ハ決シテ正業アル人ノナスベキコニアラズ又假令巨萬ノ財產家
 ニシテ時機失フベカラサル好機會ト見留ルモ一時ニ自家財產五分ノ
 一以上ヲ擧ケテ機ニ投スルハ實ニ危險ノ極ト云フベシ投機ハ權道ナ
 リ社會ノ變遷物價昂低チ先知スベキ單見ナキモノハ遂ニ破産流浪ノ
 人トナラン恐ルベキコトコソ

貯金利用法

是ヨリハ以下少ク今日一般ニ民間ニ行ハルル貯金利用方法ヲ列舉シ

テ批評スベシ
●土地買入 ●貯金ノ一部ヲ殺テ土地ヲ買フハ又貯金投入ノ一法ナル

ベシ尤土地ハ其收穫純益甚僅少ニシテ國稅地方稅協議費ナド種々負擔ノミ多ク利益少キモノナリ

只其利トスベキ所ハ地勢宜ク別ニ河川ニ瀕シ山麓ニ連ル等ノ事ナク
●山崩ノ難水流暴漲ノ害ナカルベク收入確實ニシテ至極安全ナル事之ナリ

但シ些少ノ餘資アリタリトテ安リニ進ンテ土地ヲ買フハ不可ナル
●土地ナルモノハ本來其近邊ノ人ニハ甚タ大切ナル財産ナレトモ

遠方ノ人ニハ餘リ利益ナキモアリ從テ需要制限セラル、所アリテ
之ヲ賣ルニ少ク都合悪ク急ニ金ヲ要スル時ナドニハ間ニ合フ機賣レ
ズヨシ賣レタリトモ急ナレハ善キ賣レ口ヲ見出スニ由ナク其價ハ必

貯金利用法

ス安ク從テ損失スベシ去リトテ其土地ヲ賣ラス他ヨリ借財スレハ又
高キ利子ヲ拂ハサルベカラズ之レモ多少其人ノ損失トナラン

要スルニ些少ノ餘資ナレハ土地ヲ買フ事迄進ムベカラス多額ハ餘財
アリテ日常普通ノ必要些少ノ出來事ニハ土地ヲ賣ルニ及ハサル人ニ
シテ始テ買入ルベキナリ

●公債証書 ●資本投入中公債証書ハ完全ナルモノナルベシ昔時ニア
リテハ政府公債ヲ募リテ後返却セサルナド隨分不信用ヲ働キタルコ
アレトモ文明ノ今日ニ至リテハ一國滅亡スルカ若クハ政府全ク轉覆

スルノ日ニアラサレハ別ニ左程ノ心配ハ無用ナリ年々一定ノ利子ヲ
受取り且ツ元金ヲ償却スルト云ハ受取ルノミ利子ヲ改ムルト云ハ
ハ其レニ從フノミ從フハ損ナリト思ハハ元金償還ヲ求メハ可ナラン
●實ニ取扱ノ手續ハ簡單ニシテ且安全ナルモノナリ

但シ其利子ハ少ク普通ノ相場ヨリ少カルベシ此點ハ其安全ナル特別

百七十四

チ以テ差引シ置カサルベカラズ又一國ノ金融非常ニ逼迫ナラサル以上ハ買賣甚タ容易ナレハ早速現金ニ引換ヘ得ベク至極便利ナルベシ諸會社株券 是レハ一概ニ論スベカラズ會社ノ安全ト信用如何ニアリ安全ナレハ其株券ヲ所有スル人ニハ利子モ相當ニ來リ「まさか」ノ時ニモ會社ハ倒ルルノ憂ヒナク解散スレハ資本ノ戻ルハ勿論相當ノ割賦モアリ急ニ金ヲ要スル「ア」リ之ヲ賣ントスレハ買手多少高價ニ賣レテ利益アラン實ニ些少資本アルモノガ之ヲ投シテ利子ヲ取り年内ノ諸入費ニ充テタルニハ尤都合ヨキモノナルベシ

然レトモ會社ハ民間ノ自由事業ナレハ安リニ信スベカラズ或ハ假面ヲ被フリテ安全ヲ術フモノアリ景氣ヲ裝フテ花主ヲ釣ラントスルモノアリ殊ニ新企ノ會社ナトハ盛ニニさわけども其實様子ノ知レサルモノ多クレハ些少ノ餘財ヲ投シ其利子ニ食マントスルハ危險ノ沙汰ナカベシ

百七十五

日本モ如何ナル風ノ吹キ廻ハシニヤ此頃ハ數限リモナク共同結社流行シ昨起リ今倒ルルモノアリ株金ハ募リシモ其儘事業ヲ始メサルモノアリ一旦廣告ハ爲シタレハ株券モ集ラヌ跡方ナキモノアリ出沒變幻鬼神ノ測ルベカラサルカ如ク世間投機家山師ノ運動ハ吾人ニハ一向分ラズ勝ナレハ如此有様ニテハ會社ニ餘財ヲ托スルニモ即株主トナルニモ十分注意セサルベカラズ

先ツ務テ世間ニ評判ヨク安全ニシテ且ツ需要廣キ事業ヲ爲ス會社ハ株券賣レ口宜キ者ヲ買フベシ左レハ利益モアリ之ヲ賣テ正金ニ引換ニルニモ利便ナラン

貸金 少年カ貯蓄シヌル收入ノ殘額ニテハ自ラ貸金商賣ヲ爲ス程ノ額ニハ上ラサルベク且ツ知人若クハ止ムヲ得サル關係アリテ貸付シル「ア」ラソカナレトモ先ツ貸金ト云フ事ハ稀有ニシテ又宜ク爲スベカラサル事ナリ

貸金ハ總テ危険ナリ知人ナレハ其狀態ヲ知リ居ルカ故ニ至極安全ナルカ如クナレトモ其實然ラズ時ニ必要アリ若クハ返却スベキ節償還セサレハ遂ニ不和ノ原因トモナリテ德義上不都合ナルコトナリ又他人ニ抵當貸スルモ其抵當ハ果シテ信實ナリヤ其レ丈ノ價值アリヤナド一々検査明知セサルベカラズ何用ニ供スル金ナリヤ又聞キ置カサルベカラズ面倒至極ナリト云フベシ又大抵ノ貸金ニハ一年二年若クハ半年ト云フ定期アリ急用間ニ合ハサレハ貸方ニ取リテハ不都合ナリ餘資僅少ナル者宜ク爲スベキ事ニ非ルナリ

然レトモ萬止ムチ得ズ貸金セハ其返却期限利子ヲ儲メ果シテ先方ハ定期ニ返却スル方便ヲ有スルカ真ニ其意志ナリヤヲ探クリ抵當ヲ確實ニシテ又實檢シ且ツ證書ハ合法ニシテ証券印紙公証手續等宜ク借用證書ニ要スベキ件々ニ欠クル所アルベカラズ文言ハ自ラ熟讀シテ曖昧ナル言辭ハ一切之レ無キ様爲シ置クベシ

又先方ノ性質悪キ人ナトハ、貸スベカラズ法律上ノ關係ニ於テ間違チ生スルコトモアルベシ從テ訴訟沙汰トナリ時間ヲ費シ金錢ヲ失ヒ餘リ名譽ニモアラサル上ニ或ハ訴訟ニ失敗スルコトアリタラハ如何爲ニ大損失ヲ受クルニ至ル能ク、注意セサルベカラズ

地方ニヨリテ貯金投入ノ法ヲ異ニス。是レハ後章ノ地方ニヨリ遺産ノ種類ヲ異ニスル所以ト同一ナレバ略シ置キヌ

要スルコ貯金ヲ利用スルニハ安全ニシテ其利益多ク且ツ正金ニ交換シ易ク手數少キモノヲ宜シトス

左ニ遞信省爲換貯金局ノ表ヲ掲ケテ貯金者ノ便覽ニ供ス

貯金利息積算表

貯金ノ心得

一貯金ハ一人一度ニ拾錢以上又一日ニ五拾圓迄ヲ預ルヘシ

但五拾圓以上預ケントスル者ハ貯金預所ニ申出認可願書ヲ差出

法 用 利 金 貯

スヘシ

一人ノ預ケ高千圓迄ハ一年四分二厘千迄以上ハ三分
但預リタル月ト拂戻シタル月ハ利子ヲ付セズ

一利子ハ毎年六月十二月ノ兩度ニ計算シテ元金ニ組込ムヘシ

一貯金ヲ預ルキハ爲替貯金局ヨリ貯金領収通知書ヲ預ケ人ニ送ルヘ
キニ付預ケ金ヲ爲シタル日ヨリ數ヘテ東京ハ十日東京ヨリ百里以
内ノ地ハ三十日東京ヨリ百里以外ノ地ハ六十日ノ内貯金領収ノ通
知書到達セサルキハ其日限ノ翌日ヨリ日數十五日ノ内又右通知書
到達スルモ預ケ金高等ニ違ヒアルキハ到達ノ翌日ヨリ日數十五日
ノ内ニ其譯柄ヲ認メタル申告書ヲ爲替貯金局長ヘ差出スヘシ

但申告書ハ郵便局ヘ差出シ其受取證書ヲ受取置クヘシ

一貯金ニ關スル事柄ニ付差出ス書面ニハ郵便切手ヲ貼用スルニ及ハ
ス

法 用 利 金 貯

月次	一	二	三	四	五	六	計	元利合計	月次	七	八	九	十	十一	十二	計	元利合計
預ケ金	〇圓	三圓	七圓	拾圓	拾圓	拾圓	拾圓	六拾圓	預ケ金	六拾圓	五拾貳錢	五圓	拾圓	拾圓	拾圓	拾圓	百廿圓
利息	〇厘	五厘	五厘	五厘	四厘	七厘	五厘	五厘	利息	五厘	五厘	五厘	五厘	五厘	五厘	五厘	五厘
元利合計	〇圓	三圓	七圓	拾圓	拾圓	拾圓	拾圓	六拾圓	元利合計	六拾圓	五拾貳錢	五圓	拾圓	拾圓	拾圓	拾圓	百廿圓

但封皮上ニハ必ズ貯金事務ト記載スヘシ

遞信省爲替貯金局

一月ヨリ十二月マテノ預ケ金元利合計ヲ示ス

數年間毎月預ケ金ノ元利合計ヲ示ス

年數及種別	預 高		每月拾錢宛		每月五拾錢宛		每月壹圓宛		每月五圓宛		每月拾圓宛	
	元	利	元	利	元	利	元	利	元	利	元	利
初 年	〇・〇〇〇	〇・〇〇〇	六・〇〇〇	六・〇〇〇	六・〇〇〇	六・〇〇〇	六・〇〇〇	六・〇〇〇	六・〇〇〇	六・〇〇〇	六・〇〇〇	六・〇〇〇
五 年	六・六五二	六・六五二	六・六五二	六・六五二	六・六五二	六・六五二	六・六五二	六・六五二	六・六五二	六・六五二	六・六五二	六・六五二

法 用 利 金 貯

年數及種別	十 年 目		十 五 年 目		二 十 年 目		廿 五 年 目		卅 五 年 目		四 十 年 目	
	元	利	元	利	元	利	元	利	元	利	元	利
拾圓據置	110.000	2.833	140.833	1.800	180.000	1.400	220.000	1.000	260.000	700.000	400.000	130.000
五拾圓據置	500.000	1.942	740.242	900.000	1,100.000	660.744	1,500.000	1,860.744	2,200.000	3,570.242	4,550.000	6,150.000
百圓據置	1,000.000	3.885	1,400.885	2,200.000	3,000.000	3,700.885	4,500.000	5,300.885	6,100.000	7,400.885	8,800.000	10,700.000
五百圓據置	5,000.000	1.942	7,400.242	9,000.000	11,000.000	13,700.744	15,500.000	18,607.744	21,000.000	25,350.242	29,550.000	34,700.000
千圓據置	10,000.000	3.885	14,008.885	18,000.000	22,000.000	27,407.744	33,000.000	39,215.488	46,000.000	54,700.488	64,400.000	75,400.000

一度預少金額數年間据置ノ元利合計ヲ示ス

法 用 利 金 蓄 貯

年數及種別	初 年		五 年 目		十 年 目		十 五 年 目		二 十 年 目		廿 五 年 目		卅 五 年 目		四 十 年 目	
	元	利	元	利	元	利	元	利	元	利	元	利	元	利	元	利
拾圓據置	100.000	3.877	110.387	2.258	121.576	3.546	133.528	3.215	146.243	2.884	159.722	2.553	173.895	2.222	187.722	1.861
五拾圓據置	500.000	1.942	551.942	1.338	611.338	2.508	679.212	2.177	755.569	1.846	841.417	1.515	937.764	1.184	1,045.011	852.359
百圓據置	1,000.000	3.885	1,083.885	2.663	1,171.663	5.098	1,264.441	4.437	1,362.219	3.776	1,465.006	3.115	1,572.561	2.454	1,684.816	1,797.011
五百圓據置	5,000.000	1.942	5,519.42	1.338	6,113.38	2.508	6,792.12	2.177	7,555.69	1.846	8,414.17	1.515	9,377.64	1.184	10,450.11	11,797.01
千圓據置	10,000.000	3.885	10,838.885	2.663	11,716.663	5.098	12,644.441	4.437	13,622.219	3.776	14,650.006	3.115	15,725.561	2.454	16,848.816	18,797.011

第九章 遺產

遺

產

以上生計ノ事ヲ論シ貯蓄スベキ所以餘財ノ始末利用方法ヲ述ヘタリ
 顧ミルニ最早筆ヲ置クモ不都合ナキカ如シ讀者又貯財シ利用シ財積
 ンテ山ノ如キ際中社會ニ頭角ヲ現ハス手段ヲ見バ茲ニ奮發シテ大ニ
 運動ヲ始ムベク又考フル事ヲモ要セサルカ如シ然レトモ猶物足ラヌ
 心持セリ然ラバ如何ナル條目ヲ存スル曰ク遺產ノ問題是レナリ
 今少ク筆ヲ拭フテ遺產ノ問題ヲ講スベシ
 遺產ノ種類ハ受産者ニ由テ變更ス
 死後ニ存留シテ與フル財産ナリ左レバ遺產ハ遺產トシテ子孫ニ傳ハ
 ラサルベカラズ從テ子孫ノ性質如何ニ由テ遺產ノ種類ヲ變更セサル
 ベカラザルナリ只遺產澤山ナレバ可ナリトテ妄リニ金銀寶玉ヲ殘シ
 タリトテ何ノ益カアラン忽ニ消費シ數年ヲ出テスシテ遺產ノ功能ハ
 盡キ去ルベシ

遺

產

子孫ニシテ兎角勤儉ノ風ナク贅澤勝ナレバ使用セントスルモ容易ニ
 消費シ得ヘカラル様ノ遺產ヲ殘スヘク又節儉勤勉ナルハミナラズ
 能ク事業ヲ企テ益資本ヲ増加スルカ如キ傾アレバ運轉自在ナル様ニ
 爲シ置クヘシ其受産者ノ性質如何ニアレバ一言ニ論シ難シ今少ク思
 ヒ付タル所ヲ述ヘテ大方ノ評覽ニ供セン
 ●正金 是レハ尤自由ニ消費シ得ル遺產ナリ物ヲ買ハント欲スレバ
 直ニ出シテ買ヒ得ヘク人ニ與ヘント欲スレバ直ニ與ヘ得ヘク正金ノ
 程遺產中運轉ノ自在ナルモノハナク從テ受産者ノ尤早速勝手ニ消費
 シ得ヘキモノナリ然レバ此類ノ遺產ハ其受産者カ極テ嚴格ニシテ品
 行方正事業ニ勉勵スル氣風ナルキハ甚タ利便ニ之ヲ受タル人ハ取テ
 以テ事業ノ資本トモ爲シ又貸付金トモ爲シ得ヘシ進退自由ニ其人ノ
 氣量次第愈増加シテ都合モ宜シカラシ
 然レトモ若シ受産者カ性質懶惰無頼漢ナルキハ此種ノ遺產ハ少シモ